

平成29年度中小企業等支援人材育成事業 (中心市街地活性化普及促進事業) 報告書

2018年3月

株式会社野村総合研究所

目次

事業の全体像

(1)まちづくり人材育成研修

(2)まちづくりオープン会議

(3)委員会の開催

(4)ポータルサイトの運営／維持・管理

(5)事業の効果測定

事業の全体像

本事業の目的（仕様書からの抜粋）

- 中心市街地活性化をはじめとするまちづくりでは、産学官金労言等を含めた多様な主体の参画、連携、協働のもと、まちを経営するという視点にたって、まちを牽引し、プロデュースする組織や人材が不可欠であり、地域自らが、このような組織・役割の一翼を担うリーダー人材を育成することや確保することが重要である。
- 本事業では、地域における人材の育成・確保の一助となるよう、まちづくりの人材を育成するための研修、シンポジウムの開催等を行うとともに、関連サイトに、まちづくり関連イベント、取組事例、調査・統計データ、施策動向等を掲載し、まちづくりにとって有益な情報の集約、発信、交換等の場の提供を行うものとする。

本年度実施した事業内容の一覧

■ 本事業の背景と目的を踏まえ、本年度は、以下の事業を実施した。

■ まちづくり人材育成研修

- 座学研修
- インターンシップ型実地研修
(および事後集合研修)
- フォローアップ研修
- 特定テーマ型実地研修
- まちづくり次世代会議

■ まちづくりオープン会議

■ 委員会の開催

- スキルマップの開発

■ ポータルサイト(街元気サイト)の維持・管理・運営

- 今年度の運営状況(会員登録状況)
- 今年度の運営状況(訪問者数・ページビュー数)
- まちづくりに関する各種情報提供
- SNSを活用した情報提供
- マチイベ(街のイベント情報)の登録・公開
- コラムの掲載
- 統計情報の掲載
- 街元気サイトの確実な管理運営
- 無効メールアドレス対策

■ 事業の広報活動

- SNSの活用

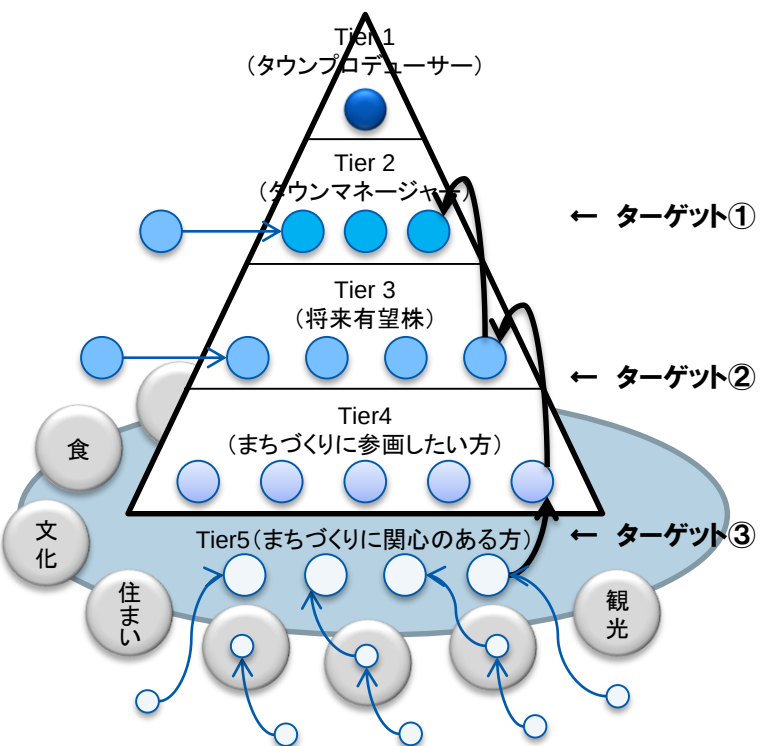
■ 事業の効果測定

昨年度レビューと事業のKPIに対する実績

- 昨年度は、研修事業の充実を図り、タウンマネージャー等の育成を進めてきた。また、HPやSNSをフックにまちづくりに漠然と関心のある層を拡大してきた。
- なお、今年度は、まちづくり人材に関するスキルマップ(案)を作成し、参加者の属性や身につけたいスキルも意識しながら研修を企画・実施した。

H26年度実績 H27年度実績 H28年度実績 H29年度実績

インターン型実地研修	16人(5地域)	17人(5地域)	14人(6地域)	20人(5地域)
フォローアップ研修	3人(3地域)	6人(4地域)	5人(4地域)	2人(2地域)
まちげんきフェス	10地域	16地域	20地域	—
次世代会議	—	—	10人	9人
特定テーマ型研修	84人(9地域)	50人(6地域)	65人(4地域)	62人(4地域)
座学研修	41人(1地域)	283人(2地域)	268人(2地域)	244人(2地域)
オープン会議	236人(2回)	130人(1回)	95人(1回)	140人(2回)
会員数	5,529人	5,732人	5,891人	5,977人
Twitterフォロワー	996人	1,130人	1,270人	1,383人
HP月間訪問数	3.5万人 (PV:15.9万)	3.5万人 (PV:17.3万)	3.6万人 (PV:20万)	4.4万人 (PV:24万)
FBいいね!(全体)	—	1,302人	2,230人	2,519人
FBフォロワー(全体)	—	—	—	2,537人



(1)まちづくり人材育成研修 ①座学研修(I)

研修事業(座学研修)概要

■ 回数: 東京で2回開催

- 第1回座学研修: 平成29年8月1日(火)～2日(水)
- 第2回座学研修: 平成30年2月20日(火)

■ 各コマに様々な分野が含まれるよう配慮

- 実践的な取組を中心に構成。
- 上記の他、まちづくりに関わる各分野の専門家からの情報提供も実施。

■ 参加者の受講満足度向上に向けた、プログラム構成上の配慮

- 昨年度と同様、基本的に1コマ70-90分程度で実施。
- 第1回(夏)は、まちづくり初心者も対象とした講義を中心に実施。
- 第2回(冬)は、まちづくりの「事業」、「経営」の観点に絞り、専門性の高い講義として実施。

■ 告知の実施

- 街元気サイト、メルマガ、SNSの他、各組織(自治体、商工会議所、まちづくり会社等)に対して書面にて郵送案内。
 - ・ 書面には当日のタイムスケジュールを加筆するなどサイトアクセスの誘引を図った。

■ 応募者数

- 244名 (内訳: 第1回181名 第2回63名)

研修事業(座学研修) 第1回座学研修:スケジュール

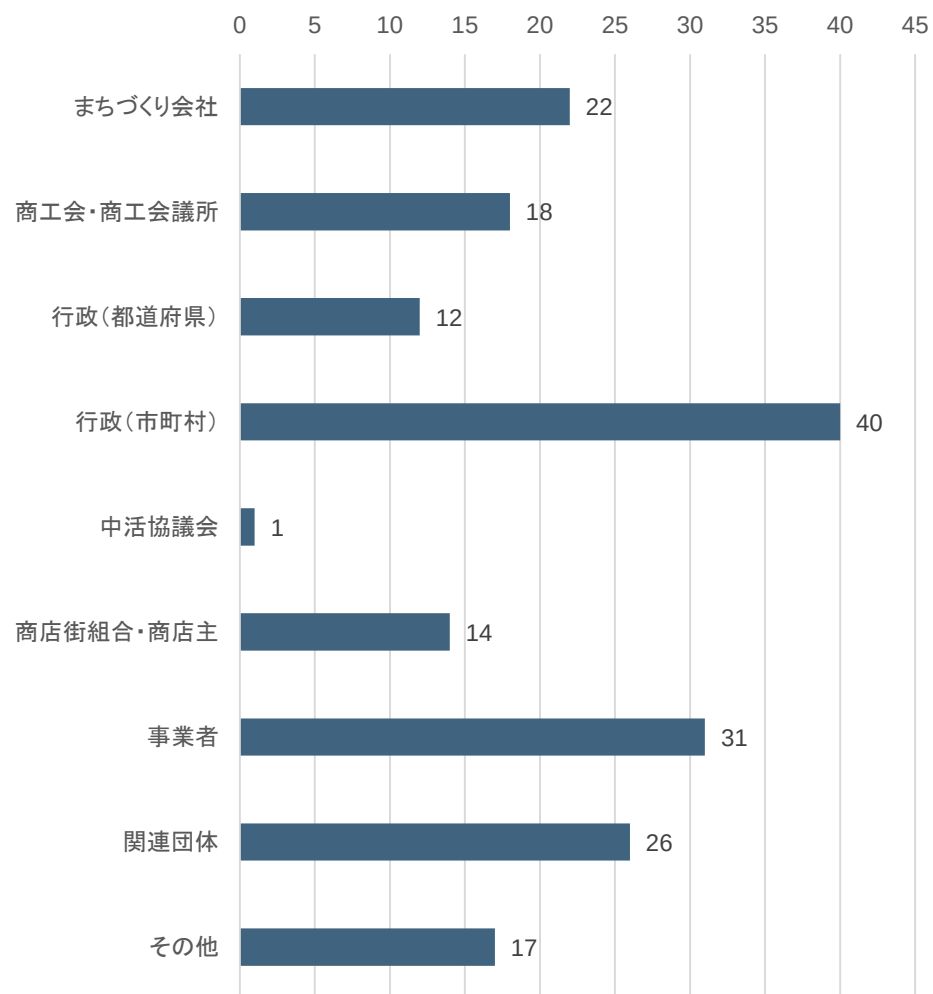
8月1日(火)	内容
12:00-	開場
13:00-13:05	あいさつ(経済産業省)
13:05-14:15	人材育成・参加の場としてのイベントの企画・運営 させば四ヶ町商店街協同組合 理事長 竹本 慶三 氏
14:15-15:25	商店街での創業・企業誘致 日南市油津商店街(元テナントミックスサポートマネージャー) 木藤 亮太 氏
15:40-16:50	ワイワイコンテナを活用した新しい事業創造 株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役 西村 浩 氏
17:05-18:15	まちなか再起動計画 富士山まちづくり株式会社 代表取締役 佐野 荘一 氏
8月2日(水)	内容
09:00-10:10	全国300地域に広がる“まちゼミ” ～新しい個店の創出と、既存個店の経営革新～ 岡崎まちゼミの会 代表 松井 洋一郎 氏
10:25-12:00	ライトニングトーク 一個別分野の専門家によるショートプレゼン
13:00-14:10	まち歩きマップづくりを起点とするまちづくりの展開 まちとひと感動のデザイン研究所 藤田 とし子 氏
14:10-14:50	クロージング・情報提供

研修事業(座学研修) 第2回座学研修:スケジュール

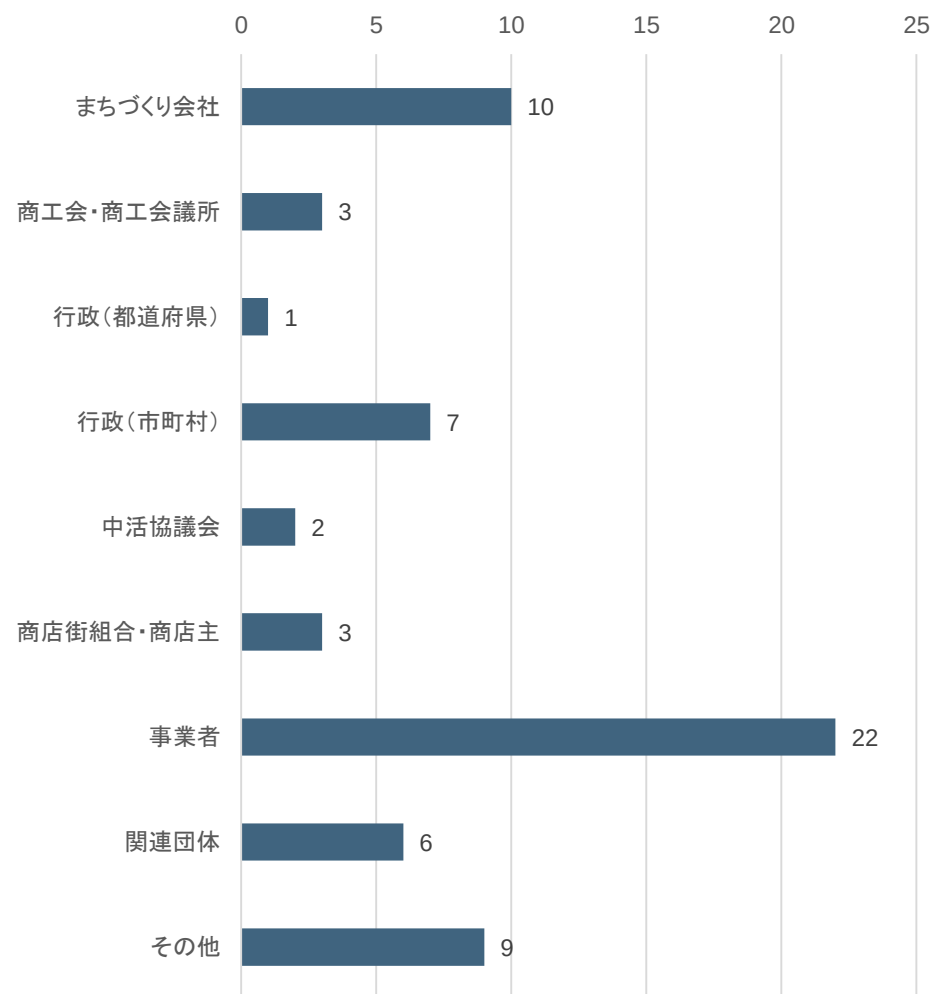
2月20日(火)	内容
09:00-	開場
09:30-09:35	あいさつ(経済産業省)
09:35-10:45	(まちづくり事業の作り方①) 事業化のための市場・事業環境の見方、事業構築のポイント 株式会社事業開発推進機構 代表取締役 土肥健夫 氏
10:45-11:05	経済産業省からのお知らせ
11:20-12:35	(まちづくり事業の作り方②) データから興す地域に求められる事業づくり まちづくりプラン研究所 代表 牧昭市 氏
13:35-14:45	(まちづくり会社の経営①) 自立的なまちづくり会社運営に向けた収益事業のあり方 札幌大通まちづくり株式会社 取締役統括部長 服部彰治 氏
15:00-16:15	(まちづくり会社の経営②) 自立的なまちづくり会社運営に向けた財務と組織のあり方 多治見まちづくり株式会社 ゼネラルマネージャー 小口英二 氏
16:30-17:30	ライトニングトーク 一個別分野の専門家によるショートプレゼン
17:30-17:35	街元気事務局からのお知らせ
17:45-19:00	交流会

座学研修参加者属性分析

(第1回座学研修)参加者属性(N=181)

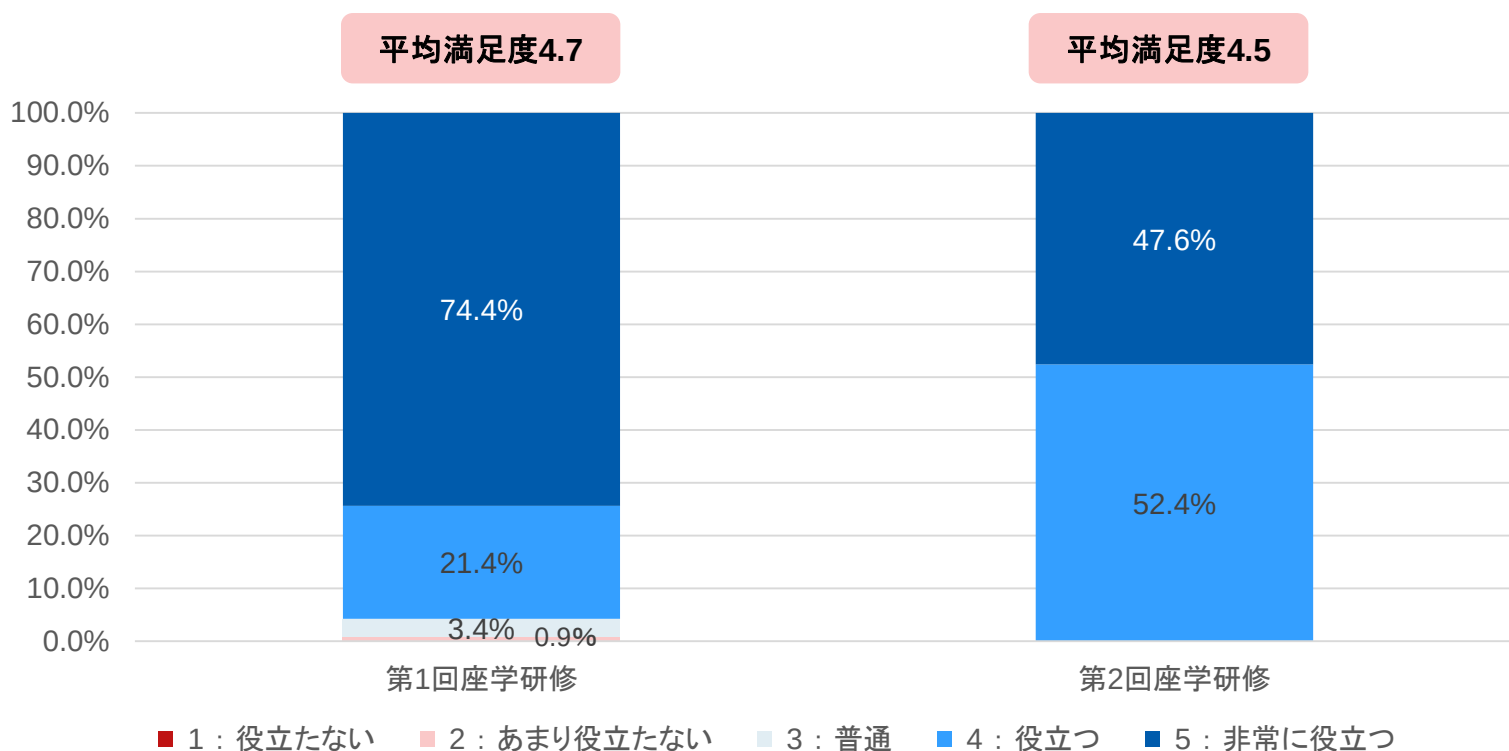


(第2回座学研修)参加者属性(N=63)



アンケート結果：研修の満足度（5段階評価、平均スコア）

- 平均満足度は、第1回「4.7」、第2回「4.5」であった。
- 第2回は、内容を専門的にしたため、理解が難しかった参加者もいたものと考えられる。



アンケート結果：研修の満足度（研修に対する感想・意見）

第1回座学研修に対する感想・意見

（感想）

- ・ 無料受講としては充実した内容。次のステップの研修や実践に役立つものを受講したと思いました。ありがとうございました。
- ・ 空き店舗や通行量の調査結果を踏まえて中心市街地を活性化するためにはどうすべきか、どうしていくべきかを考えるきっかけとなりました。
- ・ 実際に成功している人というか、行動している人の話は説得力がある。自然と耳に入ってくる。

（意見）

- ・ 観光や文化財活用等も絡めた中心市街地活性化についての研修をお願いしたい。
- ・ 次はワークショップなど出席者の方々と情報交換や悩みの共有をしながら色々、考えたり勉強をしてみたいです。
- ・ 出来れば資料は全てのトークであったほうが良い。
- ・ パワーポイントを公開していただけると、ありがたいです（出席者にパスワードを配布するなど工夫）
- ・ 各トークの最後に質疑応答の時間があれば良かった。
- ・ 1h10mのコマが、ちょっと長かったかな。
- ・ 交流会で他の参加者と上辺だけでなく、もっと深く、内容の濃い人脈造りができるような工夫が欲しい。
- ・ スタート時間を、あと30分遅くしてほしい。

第2回座学研修に対する感想・意見

（感想）

- ・ 具体例、事例ともに実践的で参考になりました。ありがとうございます。
- ・ 大変興味深い内容でした。私が担ってまちづくりに展開していきたいと考えています。ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。スタートする前の時点で参加できたことは非常に良かったです。今後も参加します。
- ・ 毎回、「現実」に沿った内容で興味深い内容です。ありがとうございます。シェアリングエコノミー、IoTなども勉強になります。

（意見）

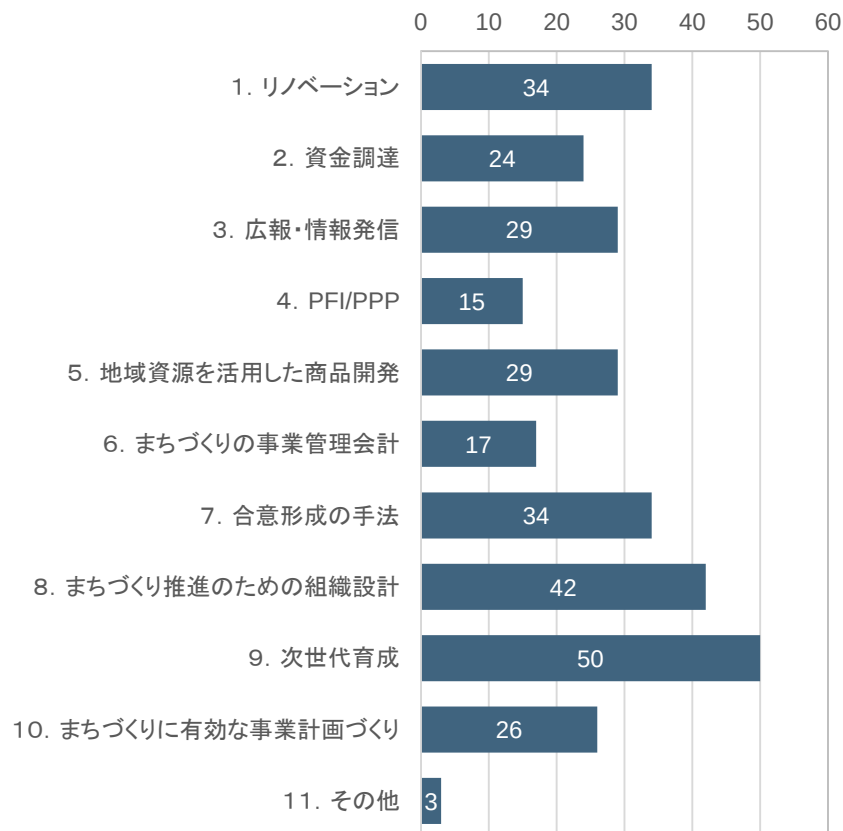
- ・ つぶれてしまった、または失敗例の話を聞いてみたい。
- ・ かなり難しいこととは思いますが、まちづくりに失敗した人の話を聞いてみたいです。
- ・ 今回と同じように多岐にわたる事例紹介をお願いできると参加したく思います。
- ・ 若手世代の人材育成にフォーカスされると、面白い人が増えるのかなと思いました。若手が多ければ、もっとディスカッションできる場があっても良いかと思います。
- ・ 話を聞くだけではなく、能動的にかかわる時間があってもよいと思いました。
- ・ 内容は良かったが、資料があるとよりよい。
- ・ 資料確認がないので不足に気づかない。

第1回座学研修

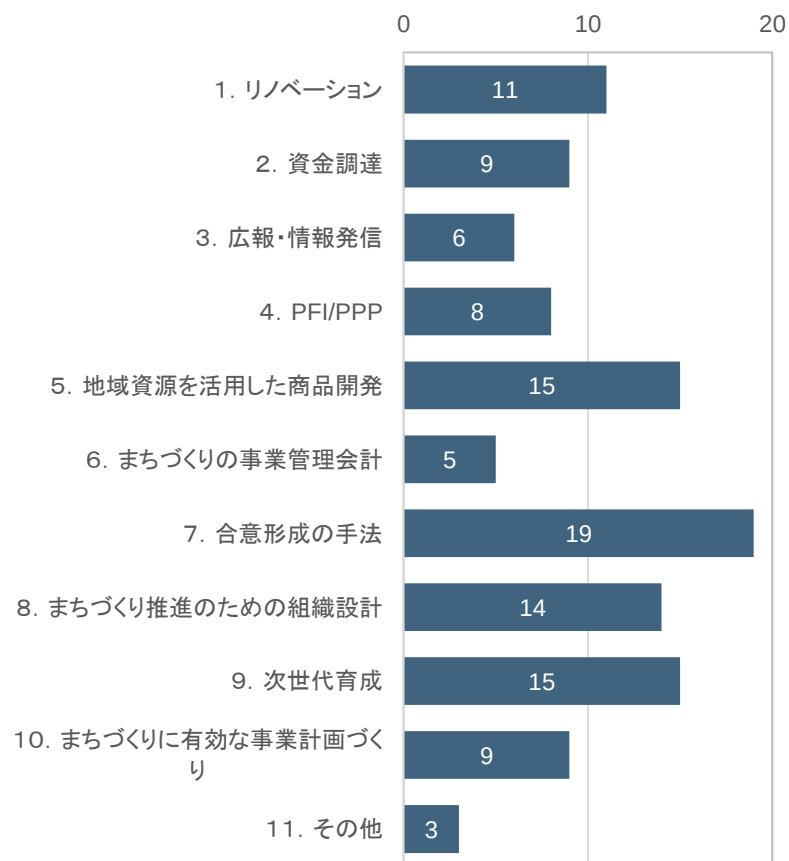
アンケート結果：今後扱ってほしいテーマ

- 第1回、第2回を通じて、「次世代育成」、「まちづくり推進のための組織設計」、「合意形成の手法」、「リノベーション」、「地域資源を活用した商品開発」等が多かった。

第1回座学研修



第2回座学研修

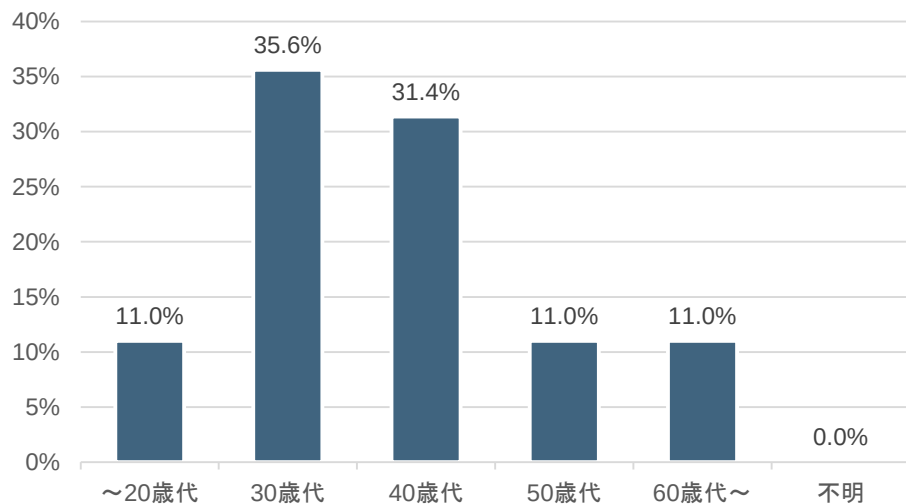


第1回座学研修

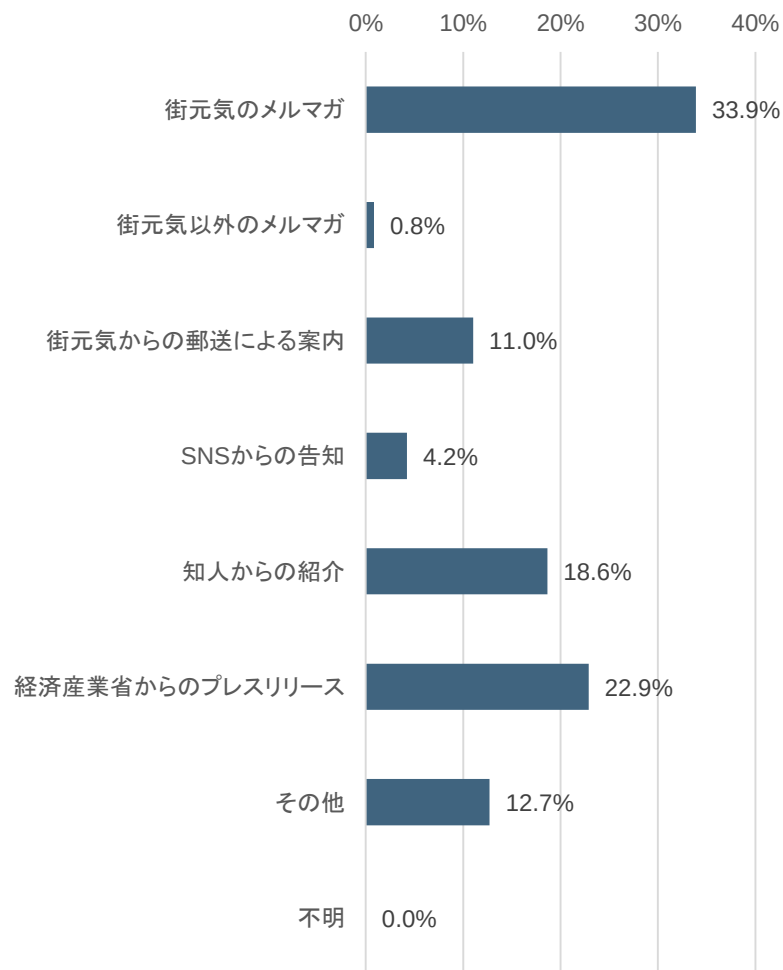
アンケート結果:受講者情報

■ 30代、40代の参加が多い。街元気のメルマガ、プレスリリース、知人からの紹介がきっかけとなっている。

回答者の年齢



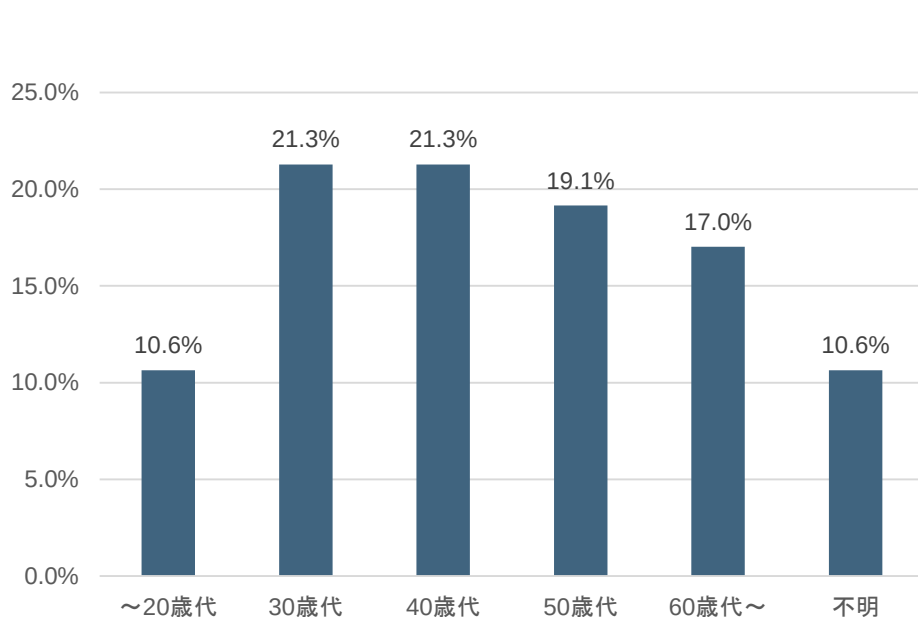
座学研修を知ったきっかけ



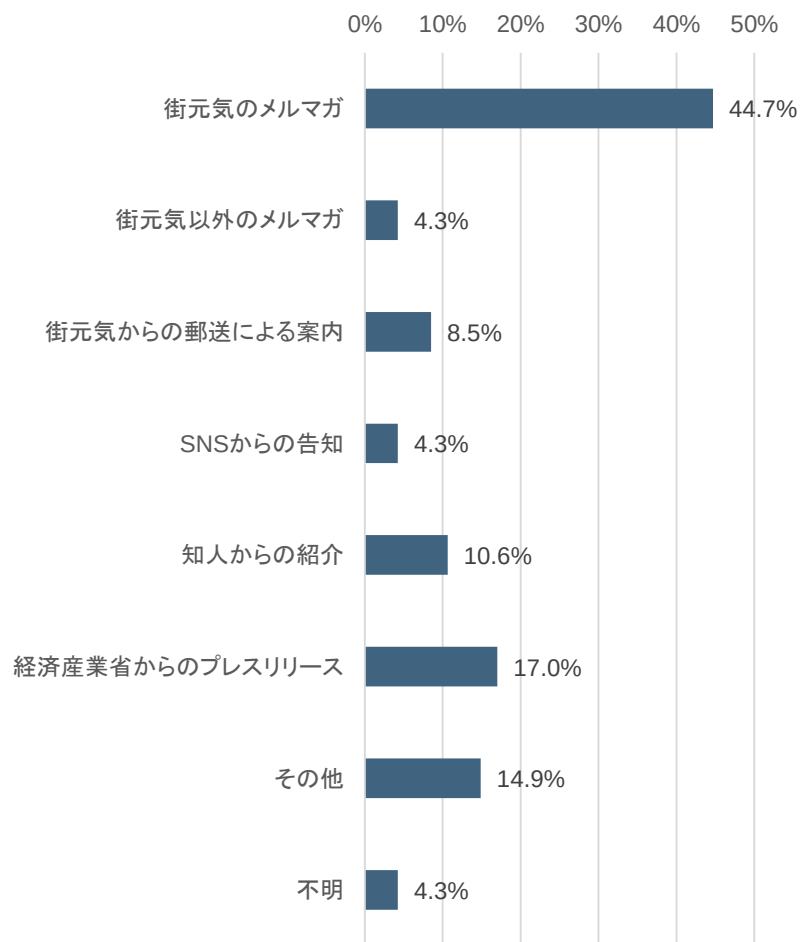
アンケート結果:受講者情報

■ 30代-60代がそれぞれ2割程度ずつ参加。認知のきっかけは街元気のメルマガが4割以上となっている。

回答者の年齢



座学研修を知ったきっかけ



(1)まちづくり人材育成研修 ②次世代会議

次世代会議 スケジュール

1月19日(金)	内容
13:00-13:05	ガイダンス
13:05-13:30	自己紹介
13:30-15:15	これまでの活動内容とTMへの期待(マネジメントオフィスHARADA 代表 原田弘子 氏)
15:30-17:00	質疑・ディスカッション
17:00-17:50	総評・フィードバック
18:00-	交流会
1月20日(土)	内容
10:00-10:25	昨日の振り返り
10:30-11:30	ひととまちをつなげる情報発信(株式会社LIG 代表取締役社長 吉原ゴウ 氏)
11:30-12:00	質疑・ディスカッション
12:00-13:00	昼休憩(バッファあり)
13:30-14:45	まちづくり人材の育成(人財育成会社HumanFreeman 代表 松葉健司 氏)
15:00-16:30	参加者の悩み・課題をもとに松葉氏と意見交換
16:30-16:50	総評・フィードバック
17:00-18:00	振り返り・グループディスカッション
1月21日(日)	内容
10:00-11:30	まちづくりマーケティング(トライバルメディアハウス 地域マーケター 大崎龍史 氏)
11:30-12:30	質疑・ディスカッション
12:30-13:30	昼休憩
13:30-13:40	チェック・イン
13:40-14:15	組織デザイン(楽天株式会社 楽天大学学長 仲山進也 氏)
14:30-15:30	参加者の悩み・課題をもとに仲山氏と意見交換
15:30-15:50	チェック・アウト
16:00-16:30	振り返り・アンケート回答

次世代会議 講師一覧

1月19日(金)

マネジメントオフィスHARADA 代表 原田 弘子（はらだ・ひろこ）

TM心構え

平成17年、中心市街地タウンマネージャーとして広島県呉市に移住。2年の任期終了後、各地の中心市街地活性化や商店街活性化を支援。現在は、広島県の府中市中心市街地活性化協議会タウンマネージャー。まちのイメージを改善し、新しい組織や事業の発掘を通じて自立的なまちづくりに繋げる。地方都市は豊かな自然や歴史、文化を伝える日本の財産。できるだけ良い形で次の世代に伝えたい。

1月20日(土)

株式会社LIG 代表取締役社長 吉原 ゴウ（よしはら・ごう）

情報発信

中学校を卒業後、農家、カヤックインストラクター等を経て、ウェブデザイナーに。その後独立し、2007年に株式会社アストロデオを設立。2012年に株式会社LIGと合併し、代表取締役副社長となる。現在代表取締役社長。WEB業界では知らない人はいないLIG。Web制作を行うクリエイティブ集団であり、ホームページ制作、プロモーション、システム開発、Webマーケティング、シェアオフィス運営などを展開。ソーシャルでバズる仕掛けを用意し、圧倒的な訴求力を誇るオウンドメディア。

人財育成会社HumanFreeman 代表 松葉 健司（まつば・たけし）

人材育成

1967年三重県松阪市生まれ、三重県の県立高校2校で野球部の監督を務める。多くの指導者に「甲子園出場は絶対に無理」と言われた2校の県立高校の野球部を創部以来初の甲子園出場へと導く。教員時代のユニークな指導法と、教育者としての想いやあり方を学ぶため、県内外問わず業界を超えた沢山の指導者や経営者がグラウンドを訪れる。また、その指導法や人としての考え方などを内容とした講演会の講師を務める。2017年3月、教職員を退職、27年間の自身の教員生活で確立した人間の本質的能力を開花・発揮させる人財育成法を基に、「人財を創り出す人財を創る」をコンセプトとした人財育成会社HumanFreemanを設立。

1月21日(日)

瀬戸内サニー株式会社 代表取締役社長 大崎 龍史（おおさき・りゅうし）

マーケティング

1989年兵庫県上郡町生まれ。2008年香川大学教育学部入学、カリフォルニア大学アーバイン校留学、経営学を専攻。学生時代から地域プロジェクトの活動に多数関わる。卒業後、株式会社トライバルメディアハウスに入社、お菓子メーカーや商業施設等のマーケティングを担当。2018年、瀬戸内サニー株式会社設立。インターネットテレビ局を2018年4月10日にスタート予定。

楽天株式会社 楽天大学学長 仲山 進也（なかやま・しんや）

組織デザイン

1973年北海道生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、シャープを経て、1999年に社員約20名の楽天株式会社へ入社。楽天市場の最古参スタッフ。2000年に「楽天大学」を設立、2007年に楽天で唯一のフェロー風正社員（兼業自由・勤怠自由）となる。2008年には仲山考材株式会社を設立、Eコマース実践コミュニティを主宰している。2016年、Jリーグ「横浜F・マリノス」とプロ契約。

次世代会議 参加者・プロフィール

- XXXX（株式会社XXXX）
- XXXX（株式会社XXXX）
- XXXX（XXXX株式会社）
- XXXX（株式会社XXXX）
- XXXX（XX市中心市街地活性化協議会 事務局）
- XXXX（XX市 タウンマネージャー）
- XXXX（XX市タウンマネージャー）
- XXXX（XX市 タウンマネージャー）
- XXXX（XX市 タウンマネージャー）

1. 原田様(マネジメントオフィスHARADA)

(参考になったこと)

- タウンマネージャーは評価されにくい仕事
- 手段(大学で学ぶなど)への自己投資
- 成果の可視化
- 目標をステップに切り分ける
- 中活協議会とまちづくり会社、官と民の役割分担
- 地域マーケティングの手法
 - イメージマーケ、アトラクションマーケ、インフラマーケ、人へのマーケ
- 独立系タウンマネージャーに必要なスキル
 - 戦略的思考(事業、マネジメント、自腹を切る勇氣)、コミュニケーションスキル、提案スキル(事業主体を見つける嗅覚)、お金を出してくださいという勇氣、専門家の人脈、教えてもらいに行くフットワーク
- “評価”をきちんとするため(される)ための準備
- “評価”を意識した目標設定とコミットメントの重要性
- 市民を巻き込んだ取り組みへのシフト
- 自ら積極的に成果を可視化し、文言化する
- ポジティブな情報の重要性(まちづくりから負のイメージを取り除く)
- 自分が頑張ることが重要ではない
- NPOの立ち上げと組織の回し方(組む相手を能動的に選ぶ・ビッグネームの代弁)
- 目指す事業につながる事業の戦略的な展開
- 中心市街地は商店街じゃない
- 首長が指示しないと横断的にできない⇒大きな施策にならない

(今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 評価しやすい計画・指標の作成と明確化、組織内での共有
- 3年間の事業計画の積み重ねを意識した計画づくり
- 会社の事業計画とタウンマネジメント計画の作成
- 役割の違いと明確にする協議会:(エリアマネジメント型)とまちづくり会社(プロジェクト型)
- まちづくり会社のやってきたこと、やっていること、やりたいこと、やるべきことを文言化
- やりたいことができやすくするためのNPOまた一般社団法人の立ち上げ
- 組織として、また個人としてコミットメントする、結果を評価する
- 「誰のために仕事をしているのか」を忘れない
 - 目の前の仕事だけに惑わされない
 - 遠い未来の見据えて行動する
 - 求められないアドバイスは「悪口」と捉えられる
- 定期的に自己評価を実施する
 - 業務の進捗状況の確認
 - 今後の業務の方向性を再確認
- 担い手の発掘を常に意識して、自分がいなくても引き続き事業が実施できる体制を整える
 - 面白そうなことがいつも起きている場所にする
 - 自分の任期が終わっても、自分の行った事業は残る
- まちのセールスポイントは何か(街づくりの視点・市民が持つ視点)
- 自分がフロントに立つことの功罪を理解して動く

2. 吉原様(株式会社LIG)

(参考になったこと)

- 楽しいことをドストレートに伝える
- 楽しいものは楽しい。好きなものは好き。共感と呼ぶ
- ハコのある素晴らしさ: 第三者に目立つ場所で、自分たちが楽しむ
- 営業を楽にするためのネット利用
- 100本のワインの使い道: 八方よし、楽しさのおすそ分け
 - 自ら飲む→見せる→いいなと思わせる
 - 楽しそうだと思うと人は動く、楽しい事は仲間が増える、楽しい事は続けられる
- プロジェクトは自分たちが最初に海に飛び込むことで後が育つ
- ファンをつくることで、他社と比較できない、金額勝負させない
- AKBのファンづくり手法で社員のファンをつくる。誰かのファンに誰かがなる、総体的にAKBのファン
 - LIG社員ブログルール顔出し。記事を書く(まじめ8割、ほか2割)。仕事で学んだことをアウトプットする。他人が読んでためになることを書く。
- 小規模な複数事業を少しずつ被せて芽が出る事業を選別
- 熱量のない企画書は採用しない。
- 数字を追う。昨対で見て、経営の延長不調を見逃さない
- ブラックボックスをつくらない
- 移住成功は、そこに住民票を移してくれた時
- コワーキングスペースの収益性を追求。でも楽しいスペース
- 地域おこし協力隊→教育→3年後雇用、将来が見える、人件費抑えられる、事業が立ち上がる

(今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 楽しさを伝播させてるための遊び心をもつ
- 巻き込み上手になるためにもっと遊ぶ
- 正しい自己紹介を自分でもやってみる
- 続けるための「数字」を追求する
- 「いいオフィス上野」を参考に物件リノベをしたい
- フランチャイズに参加するかは未定
- 苦手分野であるけども、視点を変えて「楽しさのおすそ分け」の精神で情報発信したい
- 仕事を笑顔で楽しむ(実施側が笑顔だと参加者も笑顔になる→共感を得られる)
- 仲間内だけで盛り上がるのではなく、第三者にも楽しいと思ってもらえるような仕掛け作り
- 自分以外に実施できる人材を育てる(後輩がいない現状で事業の引継ぎは現実的ではないが、自分に何かあった場合にすぐに引き継げるような備えは必要だと感じた → 各事業に対する対応マニュアルの作成、保管)
- 情報発信は、小手先のテクニックではなくて、続けることが大事！(毎日やる組織体制。)
 - 情報発信 → 親近感が沸く → 興味を持つ → ファンになる → 相手を理解する(コンセプト・人柄・技術力) → 顧客になる
- 社員のファンをつくるAKB方式。顔と名前を出して情報発信するのはTMのみが担っているが、遠慮がちなスタッフにも表に出てもらう方がよい。

3. 松葉様(人財育成会社HumanFreeman)

(参考になったこと)

- 心のメカニズム 「知性・感情・意欲」知性(知識と知恵)感情(感覚情報と情報反応)意欲(意欲と行動)
- パフォーマンスを十分に発揮させるための集中のコツは、何処(外)に意識を向けるか。何にピントを合わせるか。
- 言ったように体は動く
- 目標設定の重要性
- 自動制御の発動
- 同調と集中(ボルトレーニング)
- エネルギー増幅法 燃えやすいものから 欠点・弱点の克服法より合理的で速く増幅
- 原点回帰 迷ったら・直面したら「マーク」「原点」に戻る
- 習慣化のPDCA
- 組織のヘッドピン(影響力・エネルギーの高い人)を探す
 - スイッチを押しまくる・高くてよりエネルギーが、低くて弱いものをコントロールする。
- 組織づくり 三位一体の法則 嘘も方便
 - 人を叱らずことを叱る 人を誉めない事を誉める
- パフォーマンスを出せるのはZONEに入ったとき
- イメージのコツは置き換える
- 意識の方向は外に小さく
- 習慣が性格を変える

(今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 目標を絞り集中する
- 集中できる時間とスペースを確保する
- 開くときが来るまで、話をじっと聞き続ける
- 過去は見ない、前へ進む習慣づくり
- 心の使い方と身体の使い方 言葉の力を信じる。自分を信じる。
- 迷ったら原点回帰
- エネルギー量の高い人と一緒にいる。低いところにはいかない。
- アウトプットが苦手なため、頭の整理法をもっと勉強したい。
- 「感情」を意識的に向上させる言葉をかける
 - 相手の感情(喜怒哀楽)のうちの「喜」「楽」を引き出すことにより、意欲(元気、やる気)向上をはかる。
 - 感情が向上すると意欲も向上し、結果的に知性(知識、知恵)の向上にもつながる。
- 人と接する際は相手のスイッチ(良い所、好きな所、長所)を見つける。そのためには時間をたくさん使っても構わない。
 - 相手のことをじっくり時間をかけて知ろうとすると、相手も次第に心を開いてくれる。
 - 相手の良い所と悪い所を把握することで、良い所だけを的確に引き出すことができるようになる。
 - 相手の欠点を直そうとするより、長所を発見して伸ばすほうが時間がかからない。
- 事業一つ一つにおける本質を考え直してみる
- 業務に集中して取り組み、成功体験を書き換える

4. 大崎様(トライバルメディアハウス)

(参考になったこと)

- ボトムアップ型のまちづくりがシビックプライドを育てる。
- ソフトマーケティング(魅力を届けるための仕掛けや仕組みをつくること)をつくるのが地域にとって必要
- 地域情報の届け方:「拡散される情報」と「共有される情報」には違いがある。情報の飛距離を考えるWHO文脈(繋がりのある投稿者の情報発信に対して関係者が反応)・WHAT文脈(情報やコンテンツそのものに対して、不特定多数が反応)
- 情報発信の3つ:自分ごと・仲間ごと・世の中ごと(流行常識時間)。を上手に組み合わせた情報発信の実施が大切
- 地域ごと×世の中ごと⇒共感をうむ⇒まちのストーリーを届けるまちのチャームポイントを見つける:シビックプライドが人を動かす
 - ボトムアップ(ネット型 生活者起点・マーケティングPR的)
 - トップダウン(テレビ型 自治体起点・広告的取り組み)
- 東京の資本主義経済から脱却し、人口減少自体において地域と東京が対等であり分散を目指す、地域分権を進める取り組み。
- 多角的起業家が人口減少の解決となる:転職サイト⇒副業サイト
- ローカルアイデンティティ ⇒ 自分ごと化する誰に(全向けでなく明確化すること)・何を・どう仕掛けるか・届けるかポイント
- SNSは無料だけど簡単には広がらない。使い分けが大切
 - YouTube: 動画、話題性
 - Twitter: 趣味、自分ごと
 - Instagram: 写真、観光
 - Facebook: 仲間ごと
 - LINE: 日常のメッセージ配信

(今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 施策の目的、現状を把握する
- 知ってもらって好きになってもらう循環をつくる
- 情報発信のあり方を見直す(行政が表に出ない)
 - アートプロジェクトをローカルファーストで市民共感できるものに再構築
- 震災復興ではない、普遍的な物での地域活性化
- ボトムアップ型のまちづくりを推進するため、民間であるまちづくり会社がシビックプライドを醸成する場づくりをする。
- まちづくりキーマン(若者)が活動できる環境づくりとバックアップをする。
- ベンチャーマインドを育てる⇒ 仕事をつくる。
 - 大学等のITベンチャーとの協働 ボトムアップで取り組むこと。
- コミュニティ・まちづくりビジネスではもうからない。どう回すのか。
- 社会的インパクトや経済効果を数字に出せない。
- 世の中ごとを絡めた情報発信に挑戦してみたい。
- 「情報発信したい内容」と「受け取って欲しいターゲット」にマッチするツールの選定、文章の組み立て、タイミングの検討が必要。
 - やみくもな情報発信ではなく、受け手を意識した情報発信を心がける。
- 複数のSNSプラットフォームを使用した、情報発信の実施。
- 恐れず情報発信する
- 情報発信への指示を明確にする
- 「どの層に」「どんなストーリーで」「どの文脈で」「どんな媒体で」発信するかを定めて、それを伝えて相手に情報発信を依頼する。

5. 仲山様(楽天株式会社)

(参考になったこと)

- 「100本の薪を燃やす」方法 着火・送風・手段・ミスパターンを組織に置き換えて考える。
- 流通・小売りの価値 モノではなくて選ばれた理由に着目する。
→ うまくいっている人の事例で考えさせる。
- 自分軸でやり続けることで、周りが注目しだす。先に仕組みをつくりがち、役割もきめがち。
- 行政の強み: 告知力・信用力・ハコがある・継続力を生かす。
- 全てやるからうまくいかず。強み以外はやらない。頑張りすぎない。
- アーケード商店街の活性化をやるならば、燃えた人をさらに燃やす。その火が燃え移るように風を送る。
 - 湿ってる大きな薪を火の近くに置く(メルマガを送る・情報の共有・風)
 - 事務局がなんでも仕切る(風が強すぎて消える)
 - このやり方がうまくいくことは限らない、万能ではない。環境が違えば火のつけ方も違う。
- 物事が上手く進んだ事例を紹介するだけではダメ
 - 事例通りに実施すれば誰でも成功する訳ではない
 - 成功するためにどのように行動すれば良いかを自分たちで考え結論を出すことにより、力をつけることができる。
- 業務についてわかりやすい例を考え置き換えることにより、つまづいているポイントを洗い出す
 - 例: 焚き火をする場合の準備物、手順、失敗ポイント
- 「成功」を横展開 はしない。
- 抽象度を上げて、みんなにシェアすることはする。手法ベースでは語らない。

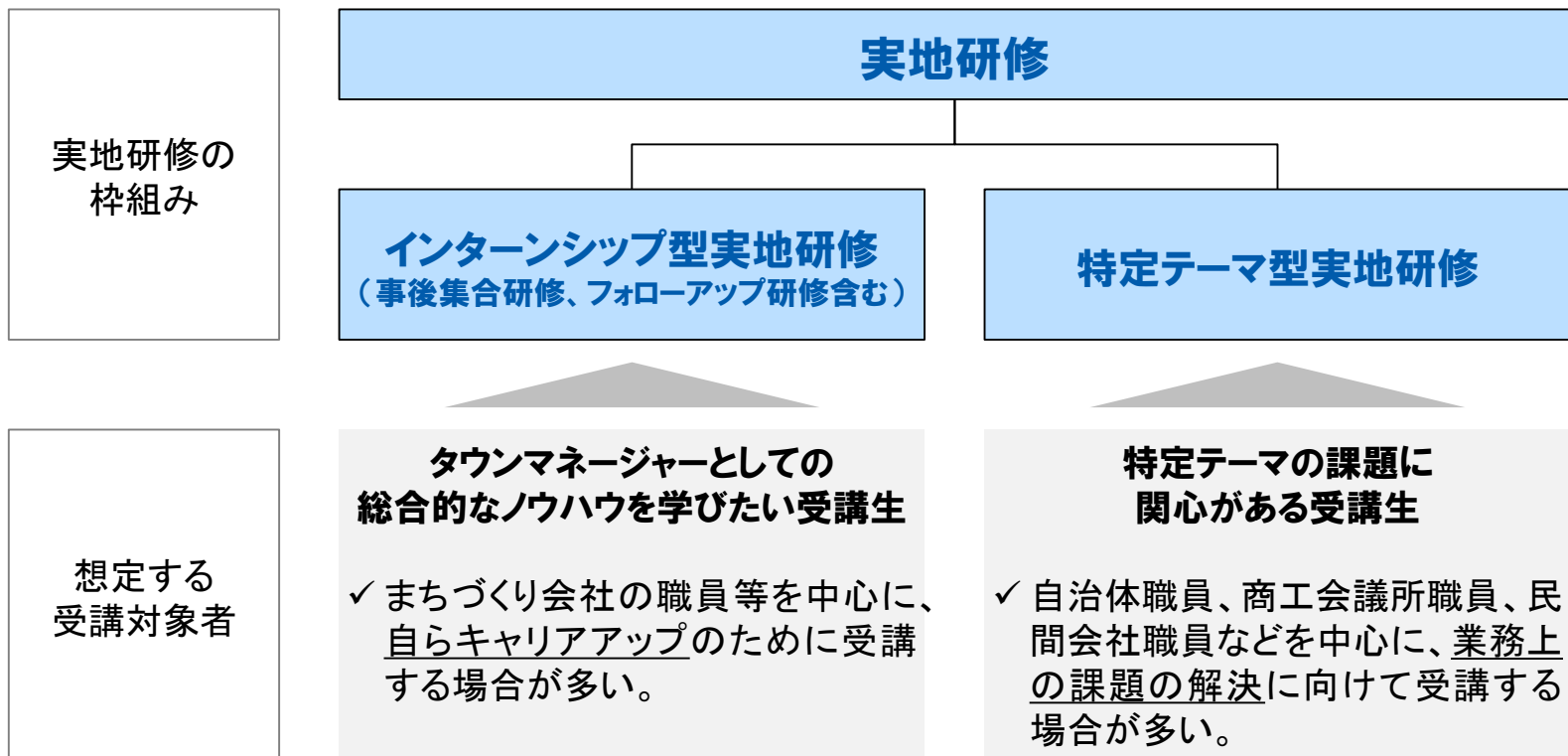
(今後実践したいこと又は事業に取り入れたいこと)

- 組織トップのやってほしいこと・やってほしくないことを明確にしておく。
- 問題解決は共有して、楽しくゲーム感覚で解決する。
- 役割分担をあいまいにすることで、からその人の強みを見出す。
- MTGをできる限りオンライン化します。
- 頑張りすぎない。強みだけを頑張る環境づくりをします。
- お金をとれる“価値”のあることを仕組みをつくります。
- 商店街単位で何かをしない。
- 各店舗のパフォーマンスが成功の秘訣。
- 自走店舗を増やす。
- 相手のことを見分けられたり、チューニングのできる人材を増やす
 - まずは自分が「物事を外から見て、事業が上手くいくように調整できる」人間を目指す。→ その後、同じ事のできる人材を育成する
- コミュニティではなく、チームを作る
- 違う強みを持った人材を掛け合わせた仲間作りを意識する
 - 各々に得意分野を担当させることにより弱点を補う。
 - 可能であれば会議体人に人を当てはめるのではなく、同じ考えの仲間の集まりが今後行動しやすくするために会議体を作りたい。
- 「問い」の設定と「場」の創り方
- 横のつながりを、意識して持つ。
- 続けるのが当たり前。という視点をやめて、行動する

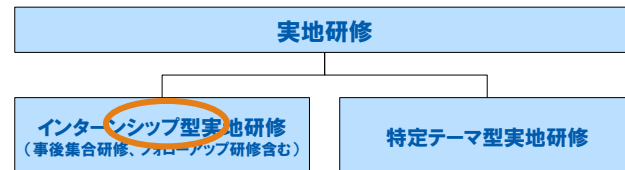
(1)まちづくり人材育成研修 ③実地研修

実地研修のねらい

- 実地研修は、まちづくりの中核人材の育成や、まちづくりにかかる特定分野の専門知識の深化をねらいとして、全国各地の先進的なまちづくり会社等における実務体験の機会を提供する研修である。
- 実地研修の受講生は、「タウンマネージャーとしての総合的なノウハウを学びたい受講生」と「特定テーマの課題に関心がある受講生」に二分される。
- 今年度の実地研修は、前者に対応する「インターンシップ型実地研修」と、後者に対応する「特定テーマ型実地研修」を実施した。



インターンシップ型実地研修の実施



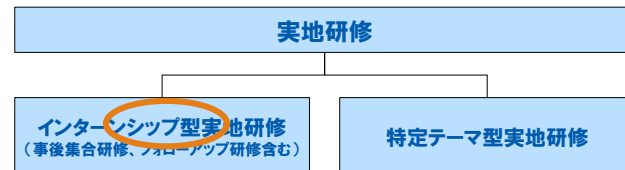
■ インターンシップ型実地研修の特徴

- まちづくりの先進地域において、経験豊富なタウンプロデューサーの指導のもと、現場の実務・体験を通して、実践的なまちづくりの考え方や手法を少人数でじっくり学ぶことができる。

■ インターンシップ型実地研修の実施概要

日程		受入地域	受入機関及び研修講師	参加人数
6月17日(土)－ 6月19日(月)	2泊 3日	愛知県 岡崎市	変化に対応し、自主継続するまちづくり - まちゼミから始まった人材育成、そしてその先にある効果的なまちづくり - 株式会社まちづくり岡崎 代表取締役 松井 洋一郎 氏	8名
10月14日(土)－ 10月16日(月)	2泊 3日	広島県 三原市	事業分野の選択と組立－人口10万人地域のまちづくり－ (株)まちづくり三原タウンマネージャー 原田 弘子 氏	3名
10月30日(月)－ 11月2日(木)	3泊 4日	長野県 飯田市	“身の丈再開発”と“利用と所有の分離” 株式会社飯田まちづくりカンパニー 取締役事業部長 三石 秀樹 氏	3名
11月7日(火)－ 11月9日(木)	2泊 3日	石川県 金沢市	自立経営・自主事業によるまちづくり 株式会社金沢商業活性化センター ゼネラルマネージャー 高本 泰輔 氏	4名
11月20日(月)－ 11月22日(水)	2泊 3日	長野県 佐久市	商店街独自の事業展開 －地域住民の潜在的ニーズを事業・個店として形にする商店街の挑戦－ 岩村田本町商店街振興組合 理事長 阿部 眞一 氏	2名

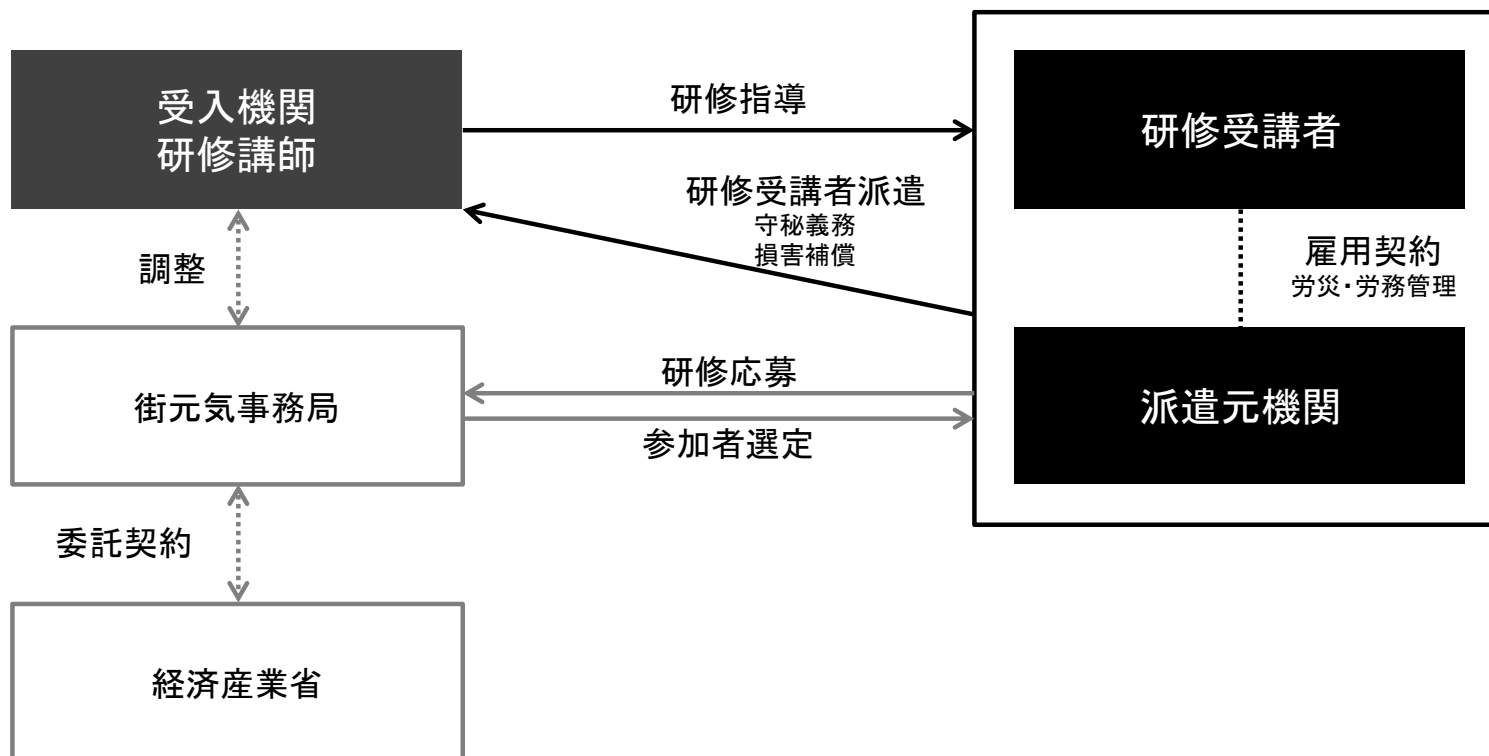
インターンシップ型実地研修の実施



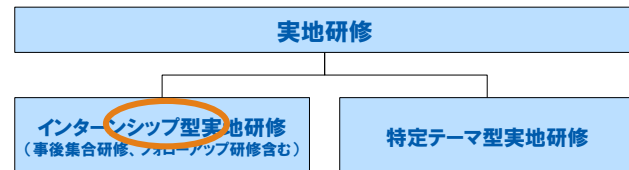
■ インターンシップ型実地研修の受講者の選定

- 街元気サイトでの告知の他、Twitterでのツイート等を通じて広く受講生を募集した。
- 参加希望者は、研修地域別の専用応募用紙に、①現在の組織における役割(最近の取組業務)、②PRしたい実績、③今回の研修で学びたいこと・身につけたいスキルを記入の上、事務局に提出して頂いた。
- 応募用紙受領後、経済産業省並びに事務局で内容を確認し、受講生を選定した。

実地研修事業の実施体制



インターンシップ型実地研修の実施



■ インターンシップ型実地研修の受講者の特徴

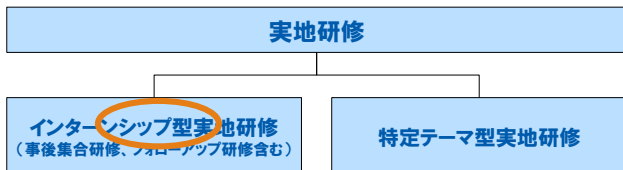
- 参加者は20名。
- 所属は、役所、まちづくり会社、中心市街地活性化協議会、商工会議所、商店街等であった。

■ インターンシップ型実地研修の受講者の一覧(敬称略)

受入地域	氏名・参加者所属組織
愛知県岡崎市	XXXX(XX商工会議所)
	XXXX(XX市役所)
	XXXX(XX市役所)
	XXXX(XX株式会社)
	XXXX(公益社団法人XX)
	XXXX(一般社団法人XX)
	XXXX(一般社団法人XX)
	XXXX(XX)
広島県三原市	XXXX(XX株式会社)
	XXXX(株式会社XX)
	XXXX(XX市中心市街地活性化協議会)
長野県飯田市	XXXX(XX株式会社)
	XXXX(XX市議会)
	XXXX(特定非営利活動法人XX)
石川県金沢市	XXXX(株式会社XX)
	XXXX(株式会社XX)
	XXXX(株式会社XX)
	XXXX(株式会社XX)
長野県佐久市	XXXX(XX商工会)
	XXXX(XX)

実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(岡崎)



プログラム

日程	時間	内容
6/17 (土)	14:00-14:30	集合・自己紹介・ガイダンス
	14:30-16:00	講義「まちゼミの今、意見交換」
	16:00-17:30	現地視察 ～中心市街地(康生地区)～ まちゼミ&店舗 見学 3～4店舗への現場見学
	18:00-	交流会 講師、受講生の意見・情報交換
6/18 (日)	9:00-10:30	講義「まちゼミ実践編&応用編」、意見交換
	10:30-12:00	講義・ディスカッション 「地域に必要とされるまちづくり会社とは ～民間100%まちづくり会社の事業と収益体制～」
	12:00-13:00	昼休憩
	13:00-15:00	講義・ディスカッション 「事業主としてまちづくり会社が行うべき事 ～「人材育成・経済向上・自立収益」新戦略構築法～」
	15:00-17:00	現地ヒアリング&ディスカッション 「地域サポーターとの意見交換会」
	17:00-18:00	ディスカッション 「受講生の地域が抱える課題への対応策について」
6/19 (月)	9:00-10:30	アクションプラン作成
	10:30-12:00	研修のふりかえり ※講師を交えて意見交換
	11:30-12:00	修了証の授与

参加者コメント

- 「まちゼミ」が地域にもたらす効果や必要条件について、講義や実際の参加店舗へのヒアリングにより、具体的に学ぶことができた。「まちゼミ」の実行にむけては、各参加店舗への勉強会の開催など、ノウハウの学習と参加店舗数(講座数)の確保など、超えるべきハードルがまだまだあるが、企画・立案にむけた初動については具体的にイメージを掴むことができた。
- 岡崎市へ赴き、現地視察をすることで得られる効果は大きかった。『まちゼミ』の開催、実施することが目的にならないようにし、手段として活用する。また、継続して行うことと重要性がわかった。
- 研修で知り得た「まち歩き特化型ガイドブック事業」について、当社でも大いに参考にしたい。

受入先コメント

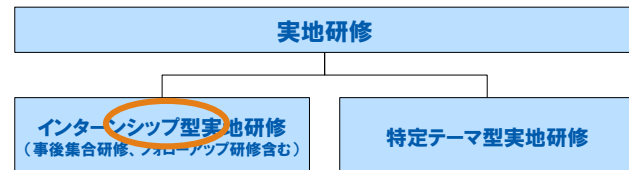
- 現在まちゼミを実施している人、これから1回目を実施する人、今後まちゼミの検討を始めた人など、様々な立場の人が集まり、多様性のある研修となった。
- 今回の研修が、まちゼミに限らず今後の取組の機会になるとよい。要望があればぜひフォローアップを行いたい。

事務局コメント

- まちゼミについて、初歩的な手法・考え方だけでなく、どのように個店を巻き込むかなどの運営面でのアドバイスを含めた講習となった。
- まちゼミだけでなく、まちゼミを発端とした商店街での取組(創業支援、地域におけるイベント等)についても包括的に学ぶことができた。
- 受講生の地域が抱える課題についても議論することで、フォローアップを含めて、次のアクションに向けたきっかけづくりとなったと考えられる。

実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(三原)



プログラム

日程	時間	内容
10/14 (土)	13:00-	集合
	13:00-14:30	活動の全体像の説明
	14:30-16:00	空き家見学ツアー(創業促進事業)
	16:00-18:00	三原市の中心市街地活性化 まちづくり三原の事業
	18:00-	交流会
10/15 (日)	9:30-12:00	農業及び、道の駅見学ツアー ※街中と農業の関係、地域資源の磨き上げなど、三原の新しい取組について学ぶ
	13:00-17:30	企画立案 (ワークショップ)
	18:00-	交流会
10/16 (月)	9:30-10:00	これまでの振り返り・質疑応答
	10:00-13:00	プレゼン・総評

参加者コメント

- 研修中に企画立案まで行ったことが非常に良かった。研修中に学んだことを企画立案という形でアウトプットするのはもちろんのこと、ほかの研修生のアウトプットも聞くことで、より多くの学びを得ることができた。
- 地元の方に実際の声を聞き、課題を見つけて具体的な解決策を考えることができたのは良い経験になった。
- 懇親会でも良いので、個々人の思いなど、もっと地元の人々の声を聞きたかった。
- 対象となった地元の方のフィードバックも含め、プレゼンに関してもう少し具体的に内容を指導してほしい。

受入先コメント

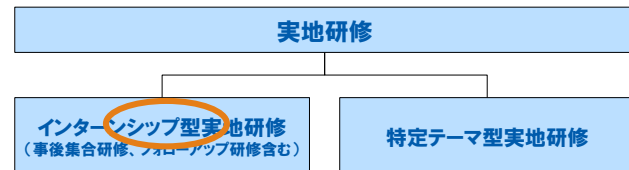
- 受講者に考えてもらった企画が、各自の知識を活かして作成されており、短時間で作ったとは思えないほどよくできており、大変面白かった。
- 主体をどこに設定するといったのか、人・情報・金・ものを誰が提供するかを考えてまちづくりをやってほしい。
- まちづくりは学業で勉強するものでも無く、プロというものがない。人それぞれ、得意分野があり、それを活かしてまちづくりを進めてほしい。

事務局コメント

- 受講者のプレゼンテーションが、短期間で作ったとは思えないほど、よくできていた。今回の研修で実際に見聞きしたことを、各受講者のバックボーンの知識を活かし案を作っていた。
- 三原市起業化促進連携協議会主催「第2回空き店舗・空き家見学ツアー」への同行、道の駅や農家への訪問により、様々な地元の人から実際に話を聞くことができたことは良かった。ただ、もっと話が聞きたいという声があり、来年度以降の検討課題である。

実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(飯田)



プログラム

日程	時間	内容
10/30 (月)	11:30-13:00	集合、昼食、自己紹介
	13:00-16:30	関係者紹介 飯田まちづくりカンパニーの活動内容レクチャー りんご並木エコハウス視察 街中視察
	16:30-18:00	建物管理業務の説明
	18:00-	交流会
10/31 (火)	9:30-10:00	昨日の振り返り・質疑応答
	10:00-11:30	川本人形美術館見学
	13:00-16:50	りんご並木まちづくりネットワークの活動について いいだウェーブの活動について まいかみの活動について 区分所有管理組合の業務について
	17:00-18:00	飯田市の公民館活動について
11/1 (水)	9:30-10:00	昨日の振り返り・質疑応答
	10:15-12:00	中活計画及び官民協働について
	13:00-14:00	並木横丁いこいこ事業スキームの説明
	14:10-15:30	飯田商工会議所の取組
	16:00-17:30	おひさま進歩エネルギーの取組について
11/2 (木)	9:30-10:00	昨日の振り返り・質疑応答
	10:15-11:00	NPOアイデア、五平もち楽会、国際りんご・シードル振興会の活動について
	11:00-12:00	最終レクチャー
	13:00-15:00	とりまとめのディスカッション
11/3 (金)	11:00-16:00	第11回「丘のまちフェスティバル」(自由参加)

参加者コメント

- 不動産事業に関わる場合の課題や条件、リスクについて学ぶことができた。特にまちづくり会社という立場上、使命感や地域からのニーズにより取り組む事業が多く、その場合でも会社としての継続性を意識していないと、収支の合わない事業を引き受けざるをえなかったり、関係団体との連携や役割分担についても一方的になったりという関係が築けなくなることが理解できた。
- 飯田市は、公民館を住民の社会教育の場としている。他にも公民館活動を住民自治のまちづくりに位置づけている自治体があると聞くので、公民館をキーワードにまちづくり＝地域コミュニティ再生に取り組んでいる自治体に学びたいと思うようになった。また、目先を変えるだけでは、実質的な意味でまちは変わらない。ということがわかった。
- 3泊4日という長さが逆に、まちの日常を見る、知ることに繋がった。

受入先コメント

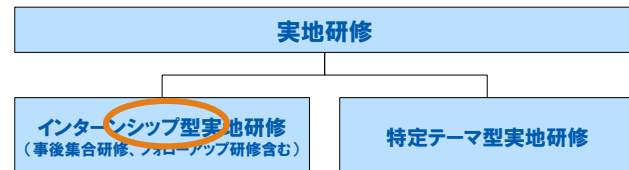
- せっかく来ていただけたということで、4日間の中に相当のプログラムを盛り込んだ。飯田は色んな取組が進められているため、じっくりと学んでほしい。
- 要望を受けてフォローアップを行いたい。

事務局コメント

- まちづくり会社で再開発に取り組む必要のある受講生もあり、実務的な情報が役に立ったと考えられる。
- 飯田市の取組のベースに、公民館活動に根ざした地道なコミュニティ形成の取組が行われていることについても説明があり、理解が深まった。

実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(金沢)



プログラム

日程	時間	内容
11/7 (火)	13:00-	集合・自己紹介・ガイダンス
	13:15-15:30	講義「金沢商業活性化センターの取組について」
	15:30-17:30	中心市街地フィールドワーク
	18:30-	交流会①(自由参加) ※講師、受講生の意見・情報交換
11/8 (水)	9:00-9:30	昨日の研修についての質問など
	9:30-12:00	講義「具体的な業務内容①」 ・事業計画・事業スキームの立案、事業運営のポイントとリスクマネジメント、関係主体との連携
	12:00-13:00	昼食休憩
	13:00-17:00	講義「具体的な業務内容②」 ・中堅社員の役割、後継人材の育成 等
	18:30	交流会②(自由参加) ※講師、受講生の意見・情報交換
11/9 (木)	9:30-12:00	研修のふりかえり ・質問、講師を交えての意見交換 (受講生の地域における課題等についての相談等)

参加者コメント

- 具体的な事業の進め方、そして何よりその前段の考え方、組織としての役割の明確化がしっかり出来ている部分が大変参考になった。
- まち歩きは、ちょっと疲れたがリアルな状況を見ることが出来、参考になった。
- 都市における街づくり会社の活動を知ることができるいい機会であった。また、他都市の問題や、皆さんとの意見交換等、普段ではなかなかできない体験をできた。

受入先コメント

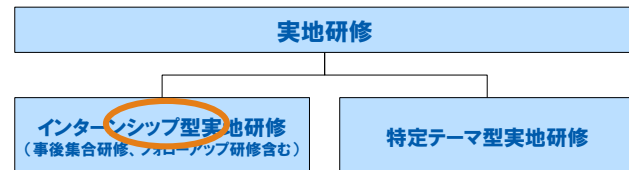
- まちづくり会社は、行政や会議所、民間事業者が推進している事業の主体になるべきでは無く、エリアの課題を解決するための事業を中長期計画を見据えた計画づくりからの事業化をすべきである。
- 不動産会社は、紹介時に手数料収入が入る仕組みであり、空き店舗が出る方が収益になるため、不動産会社はまちづくりのニーズと一致しない。しかし、彼らを巻き込むことが必要である。
- 入社したばかりの新人から、商工会議所のベテラン、まちづくりのベテランまで参加者のスキルの差が大きかった。

事務局コメント

- 北陸新幹線の金沢開業により、近江町市場やひがし茶屋街などの観光地はかなりの賑わいを見せていた。しかし、地元の人が利用する商店街は観光地の近辺にもかかわらず衰退傾向にあった。
- それぞれの地区や関係者の思惑をどのように調整するのか参考になった。
- 今回参加者のスキルの差が大きく、講師の苦勞が感じられた。効率的な研修のためにも参加者のレベルをどうコントロールしていくかが今後の課題である。

実地研修

インターンシップ型実地研修 実施結果(佐久)



プログラム

日程	時間	内容
11/20 (月)	13:00-	集合
	13:00-13:30	オリエンテーション 参加者自己紹介
	13:30-15:30	岩村田商店街のこれまでの歴史と活動の成り立ち
	15:30-17:30	岩村田商店街・まちあるき
	17:30-18:00	振り返り
	18:00-	交流会
11/21 (火)	9:30-12:00	個別活動の紹介① ・子育て村 ・岩村田寺子屋塾 ・子育てお助け村 ・つどいの館こてさんね等
	13:00-18:00	個別活動の紹介② ・佐久っ子WAONカード ・三月九日青春食堂 ・本町おかず市場 ・本町手仕事村等
	18:00-	交流会
11/22 (水)	9:30-12:00	これまでの振り返り 質疑応答 参加者との意見交換
	12:00-	終了

参加者コメント

- 商店街振興組合として組織がしっかりと作られており、理念を共有し存続していくため収益事業と地域貢献事業を理事の方々を中心にしっかりと考え、実行していくことが重要だと感じた。
- 環境変化に対し、現実を直視し、組織を一新、儲かる仕組みを勉強し、ステークホルダの意見を聞いて、方向性を決め、力を合わせて活動してゆくことの重要性は、企業でも商工会でも同じだと感じた。
- 新幹線/自動車道の利便性向上による大型店舗の進出に際し、若い世代が移り住むことによる人口増を機会として捉え、地域密着コミュニティ型の商店街に舵を切った。人に愛される街を作ってゆくことによる繁栄を目指すアプローチは、街づくりの様々な局面で生かされると思う。

受入先コメント

- 企業を定年で退職した人が移住してまちづくりに取り組みようになれば、経験を生かすことによって、いろいろな可能性が生まれると考えられる。
- 今後、フォローアップ研修の依頼があれば前向きに対応したい。

事務局コメント

- 商店街振興に当たっても、明確なビジョンのもとでPDCAをまわすという経営の視点が大切なことを再確認できる研修となっていた。
- 商店街としての取組から、市全体としての取組の移行に取り組んでいるカード事業について、考え方、仕組みを学ぶことができた。
- 講師の話と、受講生の抱えている問題をすり合わせるために、受講生の地域が抱えている課題を地図に書いてもらってディスカッションを行うなど、事務局サイドで適宜運営を支援したことも有効だった。

インターンシップ型実地研修の様子

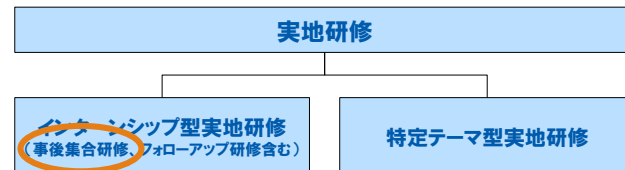
[illegible]

A photograph showing the interior of a bakery or cafe. On the left, a dark metal spiral staircase with wooden steps leads upwards. In the center, a man in a dark jacket and cap stands near a counter, looking at something in his hands. To the right, two women are standing near a display case; one is wearing a blue denim jumpsuit and a white cap, and the other is wearing a dark coat and a white cap. The background features shelves stocked with various baked goods, including breads and pastries. The lighting is warm and focused on the counter area.

A group of five people are standing outside a modern building. The building features large glass windows and a wooden balcony. The group consists of four men and one woman, all dressed in business attire. They are standing on a paved area in front of the building, which has a stone step leading up to the entrance. The building's facade is a mix of wood and light-colored panels.

インターンシップ型実地研修
(事後集合研修、フォローアップ研修含む)

特定テーマ型実地研修



■ 事後集合研修のねらい

- 受講者が実地研修のことを振り返ることで、その成果を着実に身に付けていただくことをねらいとして、受講者と各地域の講師が一同に介して成果発表と講評を行う研修である。
- 受講者同士、あるいは受講者と講師間の人的ネットワークを強固にすることもねらいとしている。

■ 実施概要

- 平成29年2月21日(土)10:00～14:00
- 場所 :TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原 2階ホールB
- 参加者:受講生、インターンシップ型実地研修受入先講師、経済産業省等

■ 研修プログラム

時間	内容
10:00-10:05	あいさつ(経済産業省)
10:05-10:30	① XXXX (一般社団法人XX)
10:30-10:55	② XXXX (XX株式会社)
10:55-11:20	③ XXXX (株式会社XX)
11:35-12:00	④ XXXX (特定非営利活動法人XX)
12:00-12:25	⑤ XXXX (XX市役所)
12:25-12:40	⑥ XXXX (XX商工会議所)
12:55-13:20	⑦ XXXX (株式会社XX)
13:20-13:45	⑧ XXXX (一般社団法人XX)
13:45-13:55	スキルマップについて
13:55-14:00	修了証授与・総評

インターンシップ型実地研修 事後集合研修の実施

【出席者】

■ 講師

- 阿部 真一 岩村田本町商店街振興組合 理事長
- 高本 泰輔 株式会社金沢商業活性化センター ゼネラルマネージャー
- 原田 弘子 株式会社まちづくり三原 タウンマネージャー
- 細川 保英 岩村田本町商店街振興組合 専務理事
- 松井 洋一郎 株式会社まちづくり岡崎 代表取締役
- 三石 秀樹 株式会社飯田まちづくりカンパニー 取締役事業部長

実地研修

インターンシップ型実地研修を受けての変化(抜粋)

実地研修

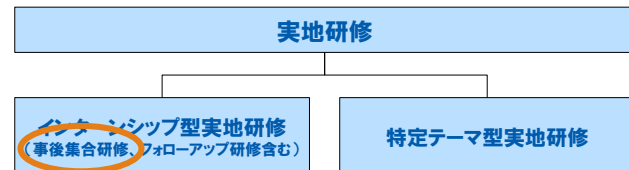
インターンシップ型実地研修
(事後集合研修、フォローアップ研修含む)

特定テーマ型実地研修

項目	研修参加前	研修参加後	地域
目標設定、ビジョン	具体的な数字を含め地域の目標を知り、地域の現状を把握してその差を埋めていく	まずは地域の方々の話を聞き、最終的にどこを目指されているのかと、それに伴う現状および課題を把握して共有する	三原
	・事業実施に向けての説明が活動内容に割かれている。 ・活動内容よりもどのようなまちにしたいのかのビジョンを視覚化できるようにまとめる	・事業実施に向けての説明が活動内容に割かれている。 ・活動内容よりもどのようなまちにしたいのかのビジョンを視覚化できるようにまとめる	飯田
	・何をどう決めればいいのか、どの段階をもって成功とするのかの疑問があった。	・街全体としての、独自の資源をしっかり保存しつつブラッシュアップを進め、その上に開発行為があるという流れで、街なかへの資本投下が全国から行われているということでの完成形を認識することが出来た	金沢
まちづくり会社の役割、事業	地域に還元しながら、収益を生む事業、かつ人件費を賄えるまでの手法を探るが、なかなか光明を見出せない。	人のつながりと活力が集結できれば、地域で必要とされる事業を発見し、かつ人材の活用も出来ることが分かった。容易なことではないが、心に留め、今後も事業構築を計りたい。	岡崎
	既存の収益事業の継続	既存の事業の拡大と新規事業を収益事業へ転換する。受託事業を行う。	岡崎
	中活の事業遂行を目的に作られたまちづくり会社と不動産の開発、運用を目的にされる会社の業務、財務(資金繰り)等について、整理できなかった。	不動産事業に取り組むには、宅建関係の専門知識だけでなく地域のニーズも読む見識が必要であり、こういったノウハウ、知見を外部調達と内部資源で組み立てる必要があるとわかった。	飯田
	・人件費を賄えるまでの収益を街づくりに関連したところにつくることの困難さを考えていた。	・初期～中期～成熟期と整理して考えることで、まずは安定させるための収益構造を考えるべく行政との連携をさらに強化すること、そのために市からの出資を得ることと理解できた。	金沢
エリアマネジメント	短期間のうちに出来ることばかりを考えていた	創業1～3年程度は指定管理、事業受託等市からの委託事業を中心に事業を行い、4年以降独自での会社経営が成り立つ仕組みを考える期間であることを学んだ。ハード事業を視野に入れて増資等会社に体力をつけさせることを検討する。	金沢
	各エリアの特徴を踏まえ、権利者のタイミングを合わせながら、進めていくというイメージのなか、権利者の意向や全体計画における機能配置の調整など、時間がかかる課題でストップしがちな取り組みであった。	具体的な事例を見聞きできて、しっかりとイメージすることができた。地域の都合を踏まえ、権利者、関係者の意向と全体計画との調整を図る必要があるが、別の提案なども行うことでまちの更新を行うことの必要性も理解することができた。	飯田
まちづくりコーディネーターの仕事	成功事例を参考に、対象地域の人を導く	成功事例はあくまでも参考とし、対象地域の人と一緒に一から作り上げていく	三原
	どことなく、自身に割り当てられた仕事の範囲内だけで済ませていた。	街づくり社員として自覚を持ち、街をどう良くしていくのかを考えて行動する。	金沢
事業化	事業主体になりえそうな人に、どうアプローチすればよいか具体的な手法がなかった。	「インセンティブをみつける」という考え方を持つことで、事業主体(候補者)との対話方法が変わった。事業主体の動機を中心市街地とどのように結び付けられるか(中心市街地ならこういったことが実現できる、といった提案)。	三原
	商店街全体で取組めるような朝市等の有効な集客イベント等の提案。	実際に行動を起こすのはそこで商売をする事業主の意識が主体的なものに変化していかなければ難しいと感じた。そのきっかけづくりを考えなければならない。	佐久

実地研修

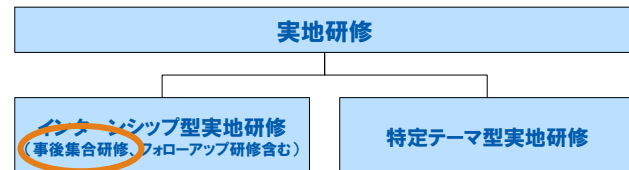
インターンシップ型実地研修を受けての変化(抜粋)



項目	研修参加前	研修参加後	地域
事業者のコミュニティづくり	会合、集会を設定するも、なかなか参加者が集まらない。総論賛成、各論(実行)に消極となる状況を打破できない。	日頃のコミュニケーションの場の延長が、集会の場となるように、小さな輪を少しずつ大きく、横に広げるようサポートに努める。	岡崎
	商店街として一本化する方向で調整する	参画意識の高い方々のコミュニティを形成する	岡崎
まちゼミ、商店街の活性化	代表者グループのまちゼミに対する理解は十分であると評価しているが、継続と応用展開を進めるには、代表者以外の学習や反省検証作業が不十分であった。	反省検証作業、PDCAのサイクルを意識したスケジュール計画を確実に実践したい。	岡崎
	まちゼミの実施により、地域が活性化し、店舗の顧客獲得のチャンスとなる。	まちゼミ自体はまちづくり会社の収益とはならない。参加店舗にとってもすぐに顧客獲得や売上げアップの効果は期待できないが、見込み可能客を見込み客にする効果がある。	岡崎
	業種業態のバランスを考え、集客を目指す	物販の限界をある程度受け入れ、飲食中心の誘致を図る新しい担い手の発掘を目指し、以下の3点を行う ①イメージ改善 …イベント ②情報発信 …PR ③ワンストップサービス …相談	三原
	過去の成功体験や、新しい売り方への抵抗感から、世代が変わらない限り変革は難しいのではないかな？	下克上により商店街の活性化を図った熱意に感心するとともに、「できる人から始める」という姿勢を学ぶ。	佐久
	車で送迎や配達サービスなど、商店街の魅力を知っているお年寄りが利用しやすくなることが、商店街の活性化につながるのではないかな？	まず、徒歩圏(300m以内)を対象に地域密着型商店街に変えることが優先され、送迎などのサービスはあくまで施策の一つであることを学ぶ。	佐久
イベント	賑わい創出を目的とし、集客につなげる	街のイメージ改善、新たな担い手の発掘、事業の初動など、明確な目標のもと、戦略的な事業を展開する	三原

実地研修

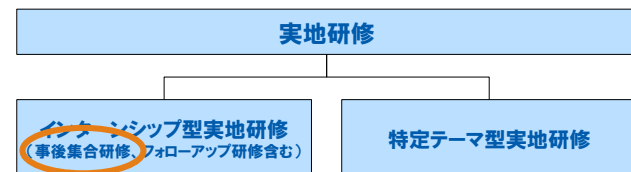
インターンシップ型実地研修を受けての変化(抜粋)



項目	研修参加前	研修参加後	地域
空き店舗対策、廃業問題	空き店舗をマッチングすることで、賑わいが生まれ、まちが活性化する。	空き店舗のマッチングでは街は活性化しないが、マッチングを行った店主はまちづくりへの協力者となってくれる。	岡崎
	高齢化、後継者不足、顧客の購買スタイルの変化など、避けられない理由があるのではないかな？	商店街が自ら新しい取り組みを行うスペースとして有効活用していることを学ぶ。	佐久
	事業者の高齢化、後継者不足についてそれぞれ個別に対応しなければならない。	後継者不足による潜在的な廃業候補に対し、個店問題ではなく、商店街として問題意識が持たなければならない。もちろん非常にデリケートな問題のため個店対応が必要となる。	佐久
	近隣の空き地について、有志で現在の形に合ったまちの使い方の模索を始めた。	仲間になってくれた方々と、まちを見直し、まちの将来ビジョンからまちの良い所を話し合い、課題解決を住民自らが率先して行っていけるようになってはと思うようになった。	飯田
住民参加、多様な主体との連携	幅広い世代に呼びかけ、オープンな住民参加の場を設ける	事業のターゲット(ステークホルダー)を明確にし、ピンポイントで参画を促す	三原
	主催者である当社がある程度の予算を持ち、イベントを実施する場合、市民団体の関わり方が有償の場合やボランティアに近いかわりなど、その時々によって違っており、当社も市民団体も間に入る運営組織もやりにくいことがあった。	まちづくり会社としてのスタンスをはっきりさせ、市民団体側に自主的な取り組みが出るように関わっていくことが、長続きさせる関係だと理解できた。	飯田
	・まちづくりに長く携わる人と一定の距離を取る。	・緩やかに繋がることを意識する。	飯田
情報発信	まちづくり会社が地域の店舗を紹介し、まちづくり会社と関わってもらうことで、今後のまちづくり活動に参加していただく機運を醸成する。	「まち歩き特化型ガイドブック事業」Corinは、店舗と市民とのつながりを構築するだけでなく、店舗同士の結びつきを強化し、さらにまちづくり会社の収益ともなりうる。	岡崎

実地研修

インターンシップ型実地研修 事後集合研修の様子



平成29年度「中小企業等支援人材育成事業（中心市街地活性化普及促進事業）」
インターンシップ型実地研修レポート

研修地域	所属	氏名
愛知県岡崎市 (株)まちづくり岡崎		

1. 研修参加当初の問題意識

研修参加当初の問題意識として、本研修に応募された背景、ご自身が活動される地域において対応すべき課題等について記述してください。

地域の魅力や特徴を引き出し、活性化にむけた収益事業に結びつける戦略やアプローチについて学ぶことを目的として参加しました。

私は設計実務を通して、多数の意見を調整し具体的なカタチに導くことについては実績がある一方で、具体的な事業計画の取りまとめについては、経験が不足しています。本研修では自主継続するまちづくりの中での人材育成のノウハウを、実務の一端を現地で実体験できることもあり、私が直面している課題解決にむけて、効果的に学習することができると考えました。

具体的には、岡崎市の「まちゼミ」の取組み内容から、10年以上に亘って継続できたコツや、個店や商店街の活性化とまちづくり会社の事業性・収益性の確保の手法について学びたいと考えていました。特に、まちづくり会社の自立的収益の確保については、まちづくり府中の株式会社化に向けては必要不可欠な条件となり、二日目の「民間100%まちづくり会社の事業と収益体制」や、「人材育成・経済向上・自立収益」新戦略構築法についての講義・ディスカッションのテーマは、私とまちづくり会社が直面している切実な課題の参考になると考えており、本研修に参加することでの学びを府中市のまちづくりに活かしたいと考えていました。

2. 研修における活動内容

研修期間中の活動について紹介し、所感・ご自分の地域のまちづくりにおいて参考とすべき点などについて記述してください。日誌の記録等を元に、写真や図版を活用して、とりまとめをお願いいたします。(2・3ページ程度)

■まちゼミの今

「まちゼミ」は買い手・売り手・世間の三方よしのバランスのとれた「みんなが得する街のゼミナール」で、短期的な利益ではなく、長期的視点に立って「まちゼミ」活動を行っていることを学びました。参加店主は皆、参加とのコミュニケーションのきっかけとなったことを成果としており、店主自身が商品や専門性を磨く自己研鑽の場ともなっていることがわかりました。



■松井氏による講義の様相

また、「まちゼミ」は一過性のイベントではなく継続的な「運動」であり、「個店の繁栄・継続」と「まちの価値向上」を目的とし、新規顧客との出会いもさることながら、離店客の防止が重要であるとの視点が新鮮でした。「本業を大切にする。本業を基礎とした活動を前提とすべき」という考えが一貫しており、民間100%のまちづくり会社であり、本業をする傍らまちづくり会社の事業を展開している「まちづくり岡崎」の特徴をよく表していると感じました。



■Kyphy インタビュー

一方、まちゼミ成功のための参加店舗最低20店舗を集めることが一つのハードルとなっており、研修参加の自治体においても苦労している事がわかりました。4、5人集まっても20人集めるまでに心が折れてしまう店主の方々に対して、実現までの道のりを共に超えてもらうことが大切となることを学びました。



■高木薬局インタビュー

まち歩き特化型ガイドブック事業 corin は、まちづくり会社の収益になるだけでなく、まちづくり会社が個店とつながるキッカケとなり、府中市においても早速実現にむけて取り組みたいと強く思いました。

また、空き店舗のマッチングだけでは街は活性化しないが、まちづくりに協力してくれるメンバーは増えるという点も認識を新たにすることが出来ました。



■宝金堂インタビュー

最後に、継続のためにいかに店舗の後継者を見つけていくか。という個店が直面する課題が、店と客をつなぐ以上に大切なことであり、コミュニティの担い手としての人材確保にまちづくり会社が関わることの重要性を学べました。



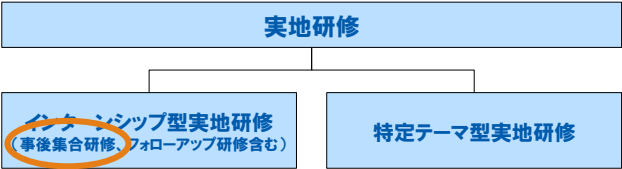
■おおがやインタビュー



■スギウラメガネインタビュー



■竹内文具インタビュー



3. 研修の成果

研修参加前と参加後のまちづくりに対する考え方や取組の姿勢の変化について、できるだけ具体的に記述してください。また、研修を通して得られた知見・スキル等について、できるだけ具体的に記述してください。

（記載例）

- 【項目】多様な主体の参画促進
- 【研修前】事業実施に向けて、まちの方々の合意形成に向けて説得する
- 【研修後】多様な方々に、主体的に参画して頂くための仕掛けを検討しながら効率的に推進する

1) まちづくりに対する考え方・取組の姿勢の変化

項目	研修参加前	研修参加後
まちゼミの実施	まちゼミの実施により、地域が活性化し、店舗の顧客獲得のチャンスとなる。	まちゼミ自体はまちづくり会社の収益とはならない。参加店舗にとってもすぐに顧客獲得や売上げアップの効果は期待できないが、見込み可能客を見込み客にする効果がある。
空き店舗対策	空き店舗をマッチングすることで、賑わいが生まれ、まちが活性化する。	空き店舗のマッチングでは街は活性化しないが、マッチングを行った店主とまちづくりへの協力者となってくれる。
まちづくり活動の情報発信	まちづくり会社が地域の店舗を紹介し、まちづくり会社と関わってもらうことで、今後のまちづくり活動に参加していただく機運を醸成する。	「まち歩き特化型ガイドブック事業」Corinは、店舗と市民とのつながりを構築するだけでなく、店舗同士の結びつきを強化し、さらにまちづくり会社の収益ともなりうる。

2) 得られた知見・スキル

「まちゼミ」が地域にもたらす効果や必要条件について、講義や実際の参加店舗へのヒアリングにより、具体的に学ぶことができた。「まちゼミ」の実行にむけては、各参加店舗への勉強会の開催など、ノウハウの学習と参加店舗数（講座数）の確保など、超えるべきハードルがまだまだあるが、企画・立案にむけた初動については具体的にイメージを掴むことができた。

「まち歩き特化型ガイドブック事業」Corinは、まちづくり会社の収益事業になりうる点が新鮮であり、是非実行に移していきたいと考えている。

そして、何より、まちづくりに参加する店舗自体が楽しみながら「運動」に参加するに至るまちづくり会社と店舗や、店舗と市民との信頼関係の構築の流れを具体的に知ることが出来た。

4. 研修成果の今後の活用方向

研修を終えて、1年後、3年後、どのような取組を実施して、どのようなことを達成したいか（現状のまちの姿をどのように変えていくか、どういう取組を導入するか等）について、できるだけ具体的に記述してください。

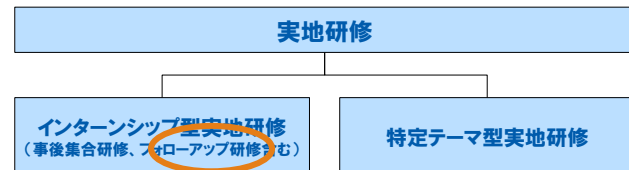
1) 1年後

具体的なアクション	取組により期待される成果
中心市街地の13商店街と地元の大学生達が、まちづくり会社と共にまちづくりに参加するきっかけづくりのために、地元の大学生による店主へのインタビューをコーディネートし、まちづくり会社のホームページで公開する。市内全域の活性化にむけ、順次中心市街地外の店舗も紹介していく。	出来たばかりのまちづくり会社がまちづくりの担い手として、13の商店街と地元の大学生達のまちづくり活動を支えるプラットフォームとなり、市民に認知される。その上でCorinのような「まち歩き特化型ガイドブック事業」のように、情報発信を行いつつ、店舗と市民とのつながりを構築するだけでなく、店舗同士の結びつきを強化し、さらにまちづくり会社の収益ともなりうる事業を展開する土壌を醸成できる

2) 3年後

具体的なアクション	取組により期待される成果
Corinのような「まち歩き特化型ガイドブック事業」を定期的に発行できる体制と協力店舗とのネットワークを構築する。また、「まちゼミ」のように定期的に店舗が主体的に活動する「運動」を継続できる体制を構築するために、最低参加店舗20店舗の協力を得る。	まちづくり会社の活動への協力者が増え、株式会社化にむけて、行政からの委託事業に頼らず、独自の収益事業を構築する。

インターンシップ型実地研修 フォローアップ研修の実施



■ フォローアップ研修のねらい

- 受講者による地域の取組の具体化をねらいとして、研修受講生の地域に講師が訪問し、課題解決を図りつつ、当該地域に関わる人材の育成を図る伴走型の研修である。
- 受講生が地域に戻ってからの研修成果の関係者との共有、課題解決に向けたアクションを推進するための機会提供の支援方策として実施した。

■ フォローアップ研修の実施概要

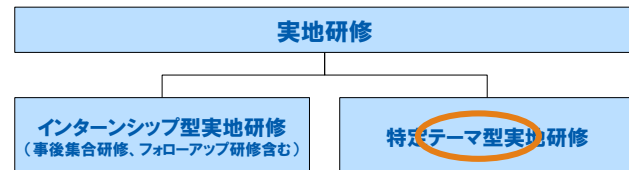
日程	実施地域	受入機関及び研修講師	主な内容
10月1日(日) -2日(月)	滋賀県 東近江市	株式会社まちづくり岡崎 代表取締役 松井 洋一郎 氏	【1日目】 ・開催趣旨説明と報告及び問題提起(福間)(10分) ・講演「街のブランド化～価値創造型の取組み「まちゼミ」&地域に必要とされる新たな事業の可能性」 松井洋一郎 氏 (30分) ・トークセッション (40分) ・交流会 【2日目】 ・八日市のまちづくりの現状と課題に関するディスカッション ・八日市まちづくり公社(副代表理事・職員)、松井氏、経済産業省、街元気事務局
2月13日(月)	東京都 府中市	株式会社まちづくり岡崎 代表取締役 松井 洋一郎 氏	・講師、研修生、街元気事務局による事前ミーティング ・あいさつ ・講演(60分) ・府中市におけるまちゼミの取組に関するディスカッション(30分)

インターンシップ型実地研修 フォローアップ研修の実施



	東近江市	府中市
成果	- インターンシップ型研修をきっかけにして、商店街組織、公社のあり方等を議論するよい機会となった。 - 研修生が取り組むべき課題の明確化にも寄与。	- まちづくり府中理事を中心とする参加者からよい場をもてたとの評価 - インターンシップ型研修をきっかけにして、関係者にもまちゼミの有効性を伝えることができ、実施に向けた機運が高まった。 - まちづくり府中の位置づけ、理事(店舗集め)や廣瀬さん(事務)の役割が明確になった。
課題	関係者の拡大とリーダー育成に向けて、商店街関係者と今回の研修生以外のまちづくり会社社員の研修への参加などについても検討することが望まれる。	- 実施に向けた店舗集め(30店)などの準備を推進 - 欠席理事(キーパーソンの一人)への説明
今後のフォローアップ研修実施への示唆	今後の研修生の役割の明確化、活動につなげるという意味で、2日目にまちづくり会社関係者による自由なディスカッションの場を取ることが効果的であることを再確認した(まちづくり会社内の情報共有、課題の明確に寄与)。	- 今回の会議の目的を明確化するための打ち合わせ時間をとることで、出席理事に対して、まちゼミの実施には、まちづくり会社だけでなく、商業者の参加が必要なことを伝えることが可能となった。 - フォローアップ研修を実施する際は、事前打ち合わせで、会議のねらいを明確にすることを徹底すべき

特定テーマ型実地研修の実施



■ 特定テーマ型研修のねらい

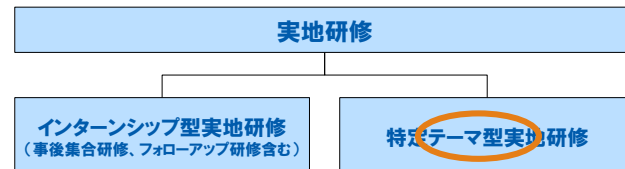
- まちづくりの先進地域において、取組を牽引するまちづくりリーダー等のもと、現地視察等を通じ、取組の内容やノウハウを習得する。

■ 特定テーマ型実地研修の実施概要

日程	受入地域 開催場所	テーマ／受入機関及び研修講師	参加人数
11月30日(木) -12月1日(金)	宮崎県 日南市	「まちづくりのためのチームづくり～応援の連鎖がまちを変える～」 株式会社油津応援団 取締役 木藤 亮太 氏	17名
1月12日(金)	静岡県 富士宮市	「持続性のある地域ブランド形成～まちとともに稼ぎ続ける富士宮やきそばの仕組みに学ぶ～」 富士宮やきそば学会会長・(社)愛Bリーグ本部代表理事 渡邊 英彦 氏	11名
2月1日(木) -2日(金)	愛媛県 松山市	「補助金に依存しない商業活性化と事業推進の基盤となる組織づくり」 まちづくり松山 代表取締役社長 加戸 慎太郎 氏	8名
3月10日(土) -11日(日)	福岡県 久留米市	「まちづくり新三本の矢を起点とした中心市街地活性化への挑戦 一元氣な商業者を結び・繋ぎ・育み、地域内の互惠を生み出す～」 久留米商工会議所 中小企業相談所 商業振興課長 行徳 和弘 氏 久留米市中心市街地活性化協議会 タウンマネージャー 久保 森住光 氏	26名

実地研修

特定テーマ型実地研修の研修プログラム



日南

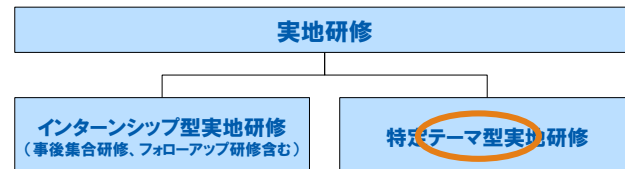
日時	内容
11/30 (木)	13:00-13:10 集合・ガイダンス
	13:10-14:10 講義「日南市による地方創生の取り組み」
	14:10-15:10 油津商店街の散策・案内
	15:10-16:30 講義「商店街再生事業の全体像について」
	16:30- ディスカッション ・再生事業に関わった人(まちの応援団)たちを含めた ディスカッション
	17:30 終了
	18:00 懇親会(自由参加、会費制)
12/1 (金)	9:00 集合
	9:00-10:00 グループワーク 「4年間でサポマネ木藤は何をしたのか？」
	10:00-11:00 テーブルトーク 「研修を経て自分に何ができるかを考える」
	11:00-12:00 ふりかえり 発表／修了式
	12:00-12:10 ※ アンケート記入 終了・解散

富士宮

日時	内容
1/12 (金)	12:00-13:30 現地視察のための集合・ガイダンス 現地視察(商店街と路地裏、世界遺産センター、浅間神社・お宮横丁等) お宮横丁周辺視察(自由行動)
	13:30 集合
	13:30-15:00 【第1部 富士宮市における地域資源の発見と活用】 講義「焼きそば活用によるまちづくりー埋もれた資源の見つけ方、活かし方ー」 講義「今後のまちづくりの展開ー世界遺産のまちづくり構想と食ー」
	15:00-15:15 質疑・休憩
	15:15-16:45 【第2部 知財活用による地域ビジネスモデル】 講義「地域における商標登録の仕組みー」 講義「富士宮、B-1グランプリにおける知財活用によるビジネスモデルー」
	16:45-17:00 質疑・休憩
	17:00-18:00 ふりかえり・意見交換 「地域資源を用いた地域ブランドづくりのあり方」
	18:00-18:15 修了式 アンケート記入後、終了
	18:30 懇親会(自由参加、会費制)

実地研修

特定テーマ型実地研修の研修プログラム



松山

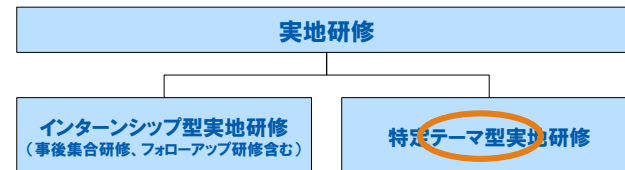
日時	内容
2/1 (木)	13:00-13:10 集合・ガイダンス
	13:10-14:00 イントロダクション「まちとは、まちづくりとは」
	14:10-15:45 講義「まちづくり松山の取組①」 ・公共空間での情報発信 ・拠点駐車場・駐車サービス券 ・まちなかコミュニティスポット「てくるん」 ・目安箱・掲示板 など
	16:00-17:00 まちあるき
	17:00-18:00 質疑・ディスカッション
	18:30 懇親会(自由参加、会費制)
2/2 (金)	09:00-10:15 講義「まちづくり松山の取組②」 ・広域連携イベント ・マツアツ・まちゼミ・地域ポイント など
	10:30-11:30 質疑・ディスカッション ・参加者の地域における課題をもとに講師・参加者として意見交換を実施
	11:30-12:00 ふりかえり
	12:00-12:10 終了・解散

久留米

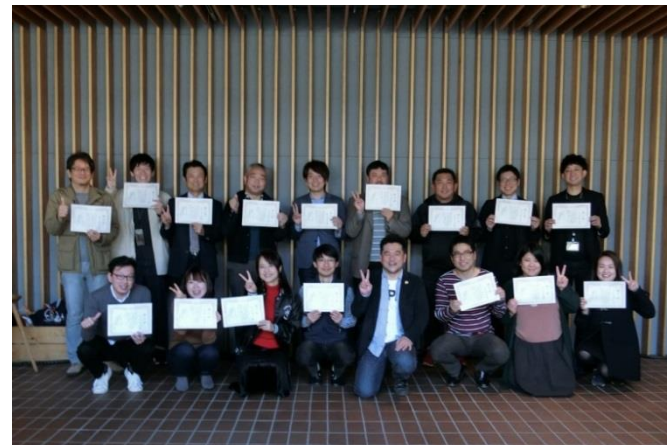
日時	内容
3/10 (土)	13:00-13:30 集合・ガイダンス・自己紹介
	13:30-15:30 講義・ディスカッション 「久留米街元氣プロジェクトの現況や効果(前編)」 ① 久留米市の中心市街地を取り巻く内部・外部環境 「同質競争はしない街づくり」(行徳和弘氏) ② 街なか起業家サポート事業 「繁盛店になるまでサポートし続ける」(久保森住光氏) ③ 久留米流まちゼミ 戦略×戦術(行徳和弘氏) ④ 商店街繁盛店ネットワーク事業(久保森住光氏)
	15:30-17:00 講義「よそ者が仕掛けたまちゼミの挑戦」
	17:00-18:30 講義「これからのまちゼミ、さあ商いを楽しもう」
	18:30- 交流会(会費制)
3/11 (日)	09:00-11:00 講義・ディスカッション 「久留米街元氣プロジェクトの現況や効果(後編)」 ① 子どもパワーで商店街を変える！コストをかけないWINWINビジネス！ ② プランと連動した空かない店舗対策(久保森住光氏) ③ 久留米まちゼミと商店街繁盛店ネットワーク事業の素敵な面々 元氣おかみ2名 ☆ まちゼミのスピノフ企画「ハトヤゼミ」(化粧品店)。商店街繁盛店ネットワークで売上120%を達成
	11:00-12:00 現地視察「シティプラザ、中心市街地商店街視察研究」 (まちゼミ実施店舗案内も含む)
	12:00-13:00 昼休憩
	13:00-14:00 ディスカッション 受講生の地域が抱える課題への対応策について
	14:00-14:30 研修のふりかえり・修了証の授与 ※講師を交えて意見交換

実地研修

特定テーマ型実地研修の様子



日南

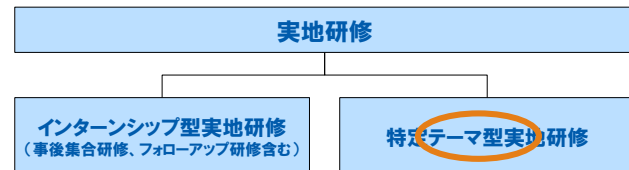


富士宮



実地研修

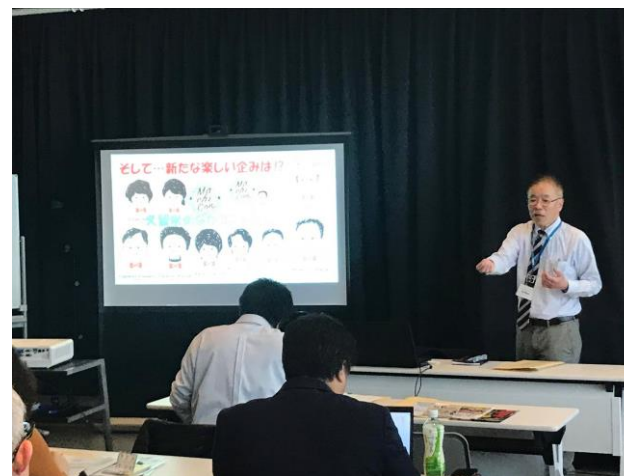
特定テーマ型実地研修の様子

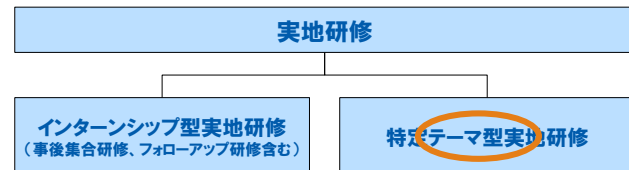


松山

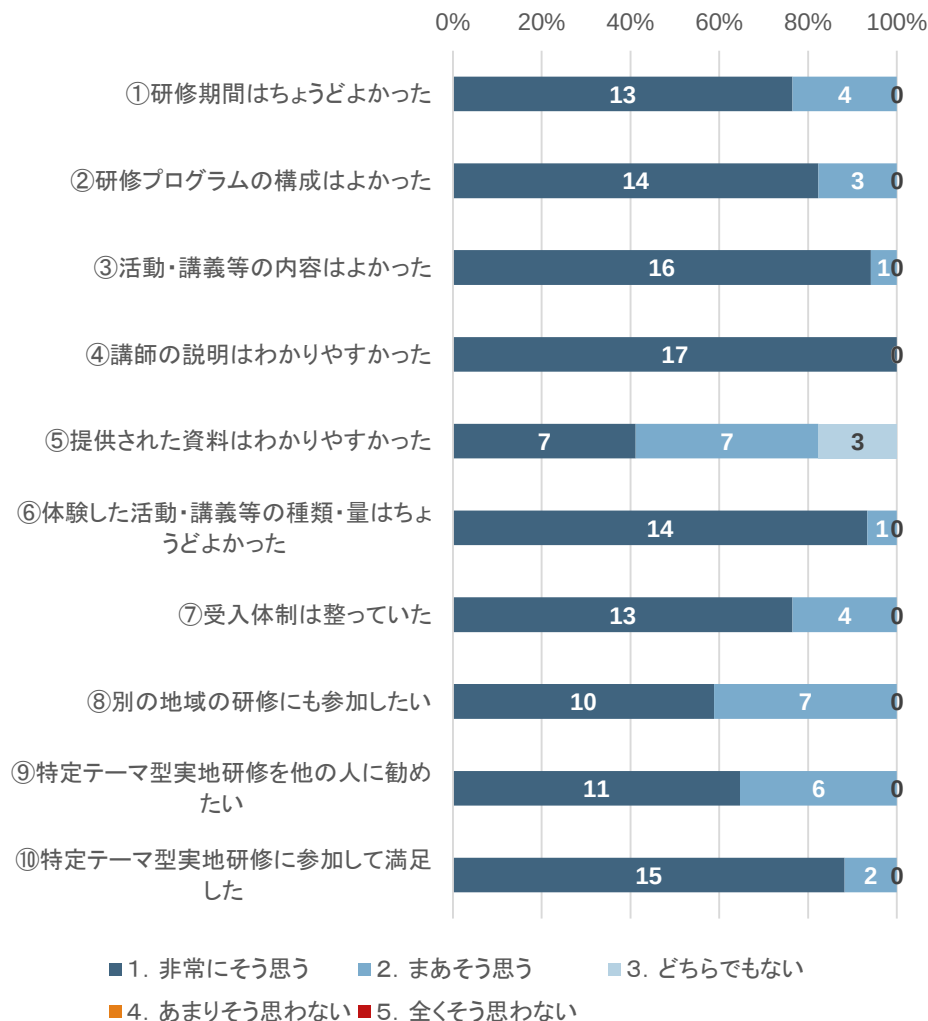


久留米



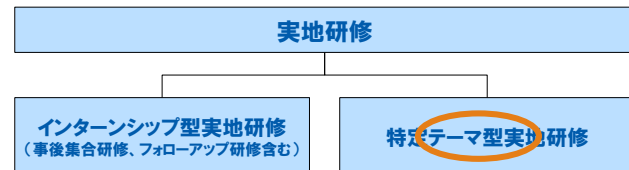


研修に対する評価・満足度



特によかった点

- 田鹿氏の解説によって、「求人」や「人口分析」によって再生の定義が明確になり、日南市が実践した戦略の意味が理解できた。
- 油津コーヒーの売上推移などを通じて現実の事業の厳しさとたゆまぬ創意工夫の現状を開示頂いたこと。
- 懇親会の時間を利用して、ご当地アイドルのコンサートがあったり、地元のストリート雑誌の編集長の来訪があったり、地域の方々と触れ合う機会を多く設けて頂き理解が深まった。
- 木藤さん以外の人の声も聞けたこと
- 関係者の顔、声を聞くことができたこと。講話だけでなく、実感を得ることができました。2日目のグループワークなど、予定以外に研修内容や課題を整理しなおすことができました。
- 日南のまちづくりに対する想いや姿勢を感じることができました。あとはマーケティングの重要性。そして周りの人をどう巻き込むか、どうまちづくりの当事者にしていくか、参考になった。
- 地元の様々な方とコミュニケーションできた点
- 油津商店街の方々の本音が聞けたこと。田鹿さん、木藤さんの話
- 商店街の見学
- 実際に商店街の人の生の話を聞けたこと
- 木藤さんとの交流。木藤さんと商店街店主のよい関係がみれたこと
- 組織体制や予算、現状等、表面的でない情報を多く吸収できたこと
- マイナスの点、課題まで含めて聞けたこと
- 大変充実した研修でした。みなさんとのご縁に。また！
- 実地研修ということで街の空気感や人など、肌を通じて油津の事例を学べたことがとてもよかったです。もし、自分が行った場合、というイメージを湧かせることができるようになりました。いままで商店街の活性化は不可能だと思っていたが。とても有意義な時間でした。
- 会場の雰囲気(木のぬくもり)
- 木藤さんが油津商店街で取り組まれたことと苦労。まちの人のリアルな声がかけたこと
- 実際に講義で話を聞いた企業や店に行き、話を聞けたこと。講義がとてもわかりやすかった。

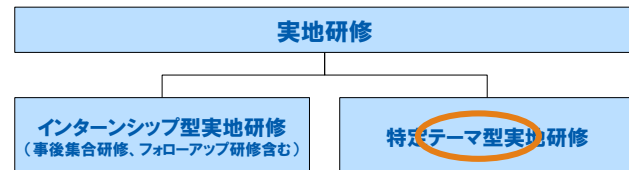


特に改善すべきこと

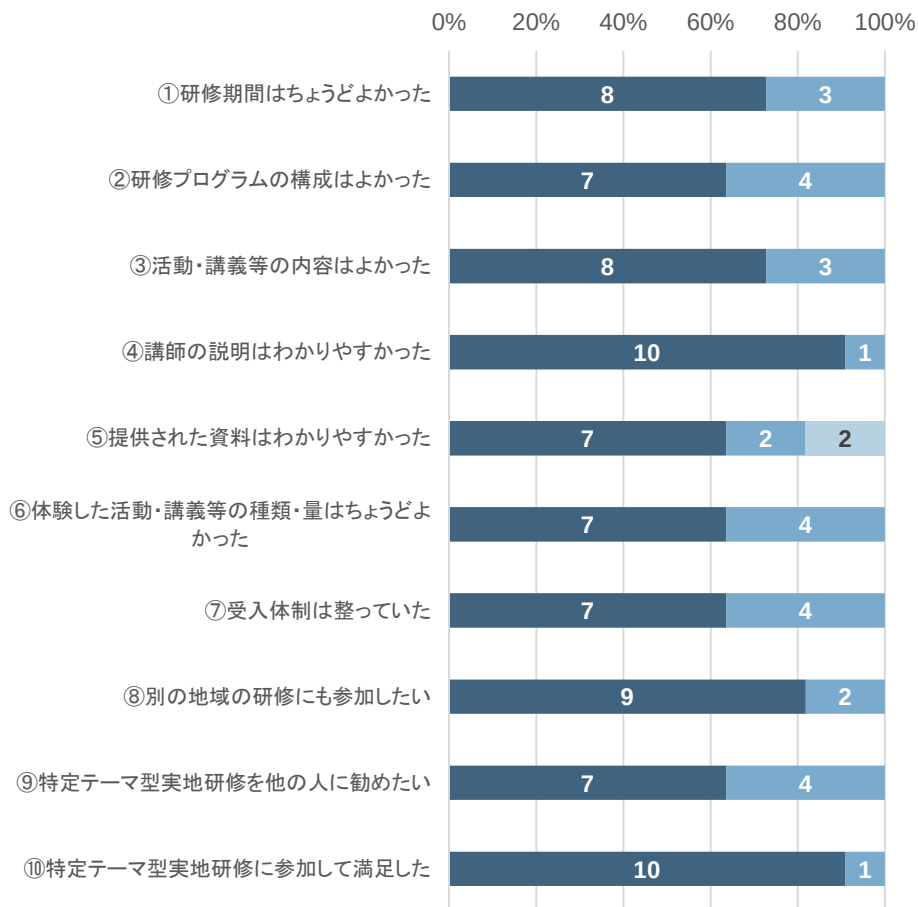
- ・ 講師のプレゼン資料は配布していただけるとよりよかったです。参加者の名簿も配布していただけるとよかったです。
- ・ ワークショップの時間はもっと短くてよいと思います。アウトプットよりもインプットを重視したほうがよいと思います。
- ・ 講演時に用いられたスクリーン上の資料、もし事前に準備していただけたら、配布資料にしていただけるとありがたいです。皆さん写真を撮っていましたから。
- ・ 地元の人(商店街の人)のいろいろな声も聞きたかった。マイナスな意見も聞きたかった。
- ・ 現地の方ともう少し話を聞ける時間があればよかった。
- ・ 事前アンケートをもう少し活かしていただけるとよかったです。
- ・ 私は企業の人間なので、IT企業関連の話はもっとききたかったです。
- ・ 参加者の自己紹介やアイスブレイクがあるととってもいいかもです。

その他

- ・ (皆さんの記入を含め)申し込み時に記入したアンケートが、どのように研修に反映されているのか、少し気になっています。
- ・ 久しぶりに参加しました。大きな収穫と満足感を得ることができました。ありがとうございました。
- ・ 木藤さんと田鹿さんに直接役所に来ていただいて、レクチャーしていただくような研修があるとよいと思いました。
- ・ 油津商店街の人たちに気持ちよく対応していただいてよかったです。
- ・ 今後とも野村総研、経産省とも密に連携していきたいです。



研修に対する評価・満足度



■ 1. 非常にそう思う ■ 2. まあそう思う ■ 3. どちらでもない
■ 4. あまりそう思わない ■ 5. 全くそう思わない

特によかった点

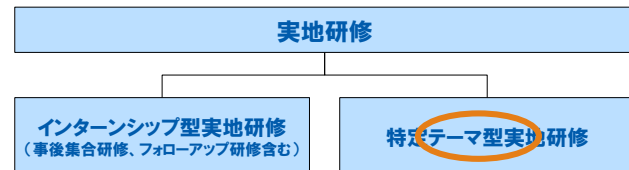
- 新たな気づきが多くあった。
- 渡邊会長の情報発信、情報管理の考え方、取組が大変勉強になりました。
- 久しぶりに渡邊会長のお話を聞くことができました。新たな課題もありましたが、何度聞いても飽きない刺激のあるお話で今回もいい勉強になりました。
- 一番のキーマンの方の形式ばらないお話、体験談が聞けたこと。商標、知財の使い方、メリットが聞けたこと
- 焼きそば以外の取組も様々行われていることが大変参考になった。
- 具体的な内容でこれからB1グルメを通じて、まちおこしをしたい。大変よくわかりました。ありがとうございます。
- まち歩きをしてから講義に入ったことで、イメージが湧きやすく、聞きやすかったです。
- 食べ歩きというか最初に、まちを見れたこと。講師の話がわかりやすく、理解しやすかった。
- 知的財産権の使い方。全てよかったです！
- とてもわかりやすかった。

改善すべき点

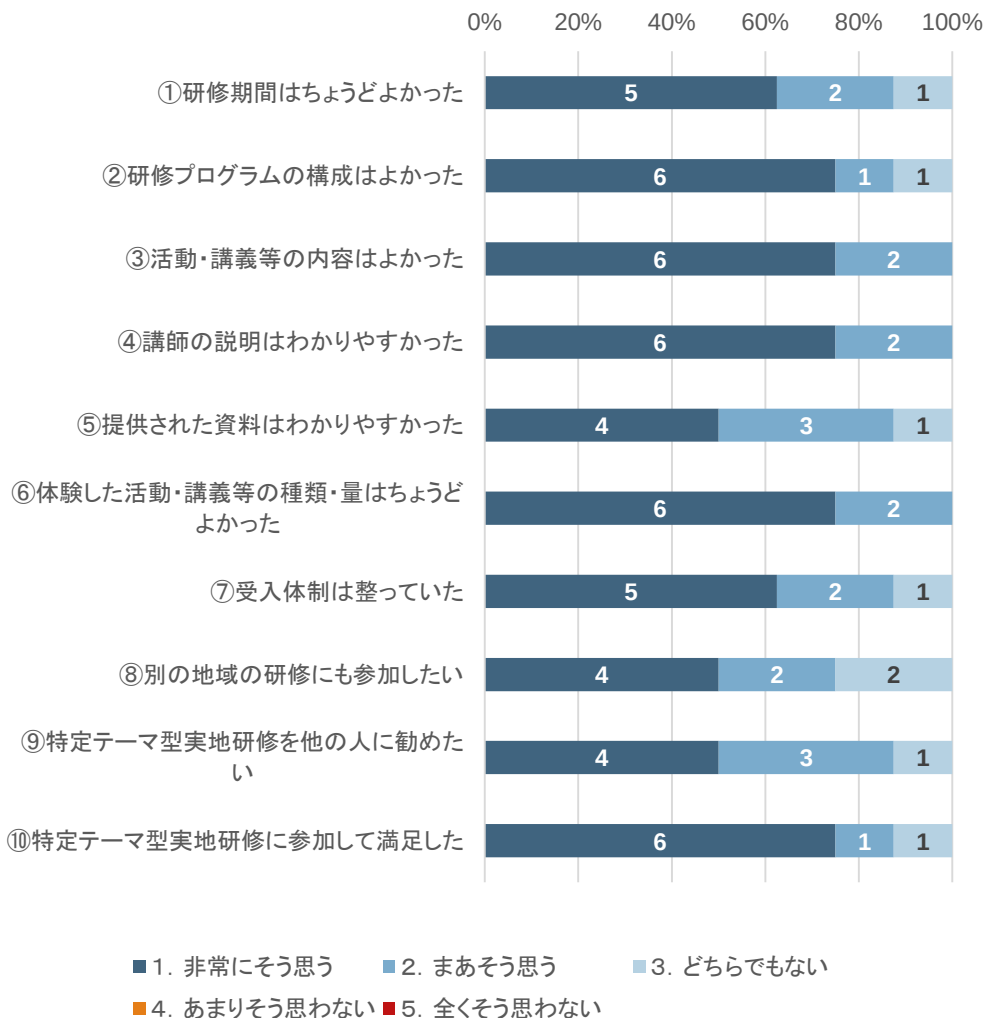
- もっと大勢でもよいのかなと感じた
- 行政の方のお話がまとまっていなくて、資料の説明で終わってしまったことが残念でした。
- 講義内容の資料が少ない。

その他

- 事務局のきめ細かな配慮を頂き、ありがとうございました。



研修に対する評価・満足度



特によかった点

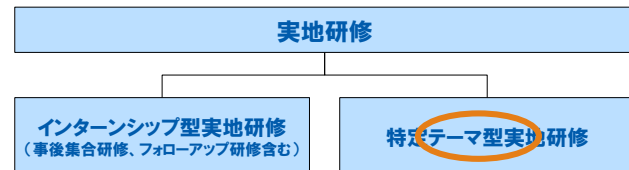
- ・ 地元では感じられない熱量の空間にとっても励まされました。
- ・ 泊まり日程なのがお良かったです。
- ・ 現場で活躍・実践されている加戸さんの話が聞けて良かったです。ポイント、テクニックなど、ぜひ活用したいと思います。
- ・ まちづくりの現場での担当者から行政等、すべての方が参加して実りのある研修だと感じました。日中の研修も良いですが、夜の部でも様々な話が聞け、本当に良かったです。
- ・ 活動の経緯、想いを聞くことができた点。単独で歩いてはわからない商店街の裏事情を知ることができた点。
- ・ 小規模での実施により、細かな点まで質問・確認ができる点は良い。少々想像と相違する内容であった(これは自分のミスなのですが)。
- ・ まちづくりの根幹部分(人材・組織・連携等)のお話が聞けたのが非常に良かったです。
- ・ まちづくりのノウハウを学べてよかった。特に思い出づくりを全員の共通テーマにして、商店街の人達をまとめたという話に共感した。

改善すべき点

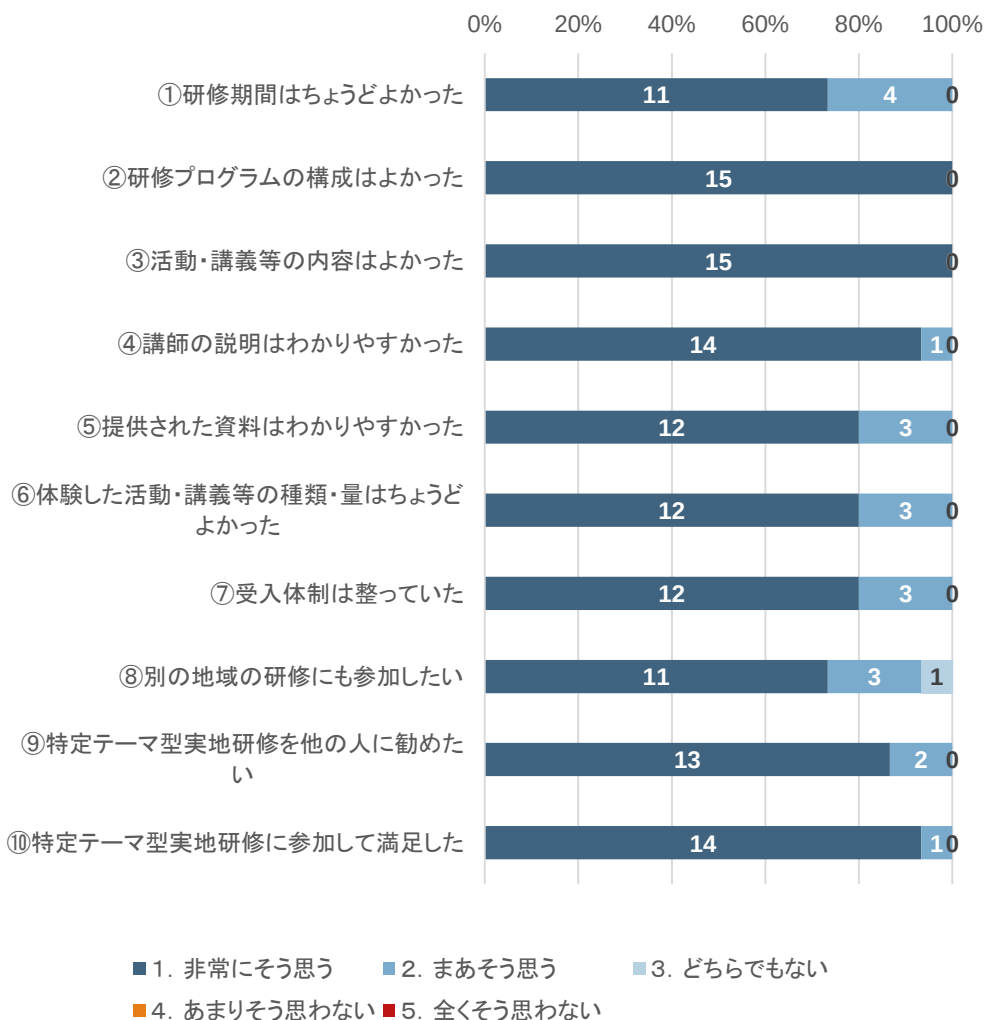
- ・ なし

その他

- ・ 今日頂いた知恵をもとに、戻ってからやるべきことが明確になったように思います。明日からが楽しみとなりました。もちろん課題は違いますが、やる気(想い)が全てだと・・・。
- ・ 大街道・銀天街の商店街の規模・にぎわいに驚きました。
- ・ 行政が携わり、特定のエリアではない支援を行うにあたり、地元のしがらみに直接縛られないからこそその支援ができないのかを考えてみたいと思います。
- ・ 働いていく上で、自立した人材になれるよう、今後も今の気持ちを忘れず業務に取り組みたいです。
- ・ 聞きづらい質問にも答えてもらえてよかった。参加者同士の交流ができてよかった。東京資本の事業に対するイメージの改善に気をつけたいと感じた。



研修に対する評価・満足度



特によかった点

- ・ ある程度全参加者が情報を持っていたテーマを掘り下げることで、有意義な（実の面的にも）ものとなったと思う。
- ・ 事例が聞けるという事が非常にありがたかった。また、意見を交換し合える研修というのは非常に私自身勉強になった。
- ・ 自らの抱える課題に直結する気付きが得られた。（創業支援など）
- ・ 現地に入り実際の熱を感じながらできた。また今回、実施店の生の声が聞けた事は本当によかった。
- ・ 参加者の熱意を感じた。高校生の視点に今後の商店街のキーワードを感じられ、商店街の未来に具体的行動のヒントが多数あった。
- ・ 2日間、みなさんが心から地域を愛し、楽しまれている様子が励みになりました。
- ・ まちゼミ関係者だけではなく金融機関の方々、色々な職種の方々が参加してたくさんの意見交換ができてよかったです。まちをあげてまちゼミの支援がこれからもまだまだできそうなので、久留米のまちゼミまだまだ成長できるぞって思えて嬉しかったです。
- ・ 概念的な話でなく、講師の方の生の話を聞けて非常に有意義な研修でした。
- ・ 2日間にぎゅっとつめこまれた研修で、遠方からの参加組は助かります。たくさん勉強する事ができて良かったです。みなさんの熱量があついでの研修で刺激になりました。

改善すべき点

- ・ お昼のマップが欲しい。ランチ難民になる。
- ・ 朝の入時間を30分前くらいにしてもらえるとありがたいです。
- ・ 平日開催にさせていただくとありがたいです。

その他

- ・ 次は仲間と共に参加したいと思いましたし、いつかはこのプログラムを実施したいと強く感じました。
- ・ またこういう研修を九州で開催バンバンしてほしい。
- ・ とても勉強になりました。さっそく実践したいと思います。
- ・ ぜひ継続して、地域力を向上させる人材プログラムを開催して頂きたいと思います。久留米から地元へ良いお土産を持って帰る事ができます。

(2)まちづくりオープン会議

まちづくりオープン会議のねらい・実施背景

■ まちづくりオープン会議の位置づけ

- まちづくりオープン会議は、まちづくり関係者の裾野の拡大をねらいとして開催している、まちづくりの初心者(学生等の若手、主婦、シニア等)や実務経験者など、広範囲を対象としたセミナーである。
- 今年度は、まちづくりの現場に関心が高い2つのテーマで開催した。

■ 今年度のテーマ

① 「これからのまちの集客交流施設整備のあり方ーまちのストックの活用ー」

- 空き店舗や空地为単体の空間として捉えるのではなく、まちのストック(資産)の価値を顕在化させる場として活用するという観点から、まちの集客交流の核となる施設整備の場として、空き店舗・空地を活用し、まち全体の求心力を向上させることに成功した取組等に着目した。
- 基調講和、事例報告・パネルディスカッションを通じて、こうした取組の成功要因を学ぶことによって、これからの集客交流施設整備におけるまちのストック活用の着眼点や、今後のまちづくりのあり方を考えた。

② 「中心市街地における新しい場ーまちの魅力を向上させるための機能ー」

- ゲストハウス、フューチャーセンター、コワーキングスペース、ものづくり工房、シェアオフィスなど、中心市街地にこれまでになかった機能が付加されることで、中心市街地の役割は変化し、まちに来る人、まちの使われ方も徐々に変化していく兆しが見られる。
- そこで、こうした先進的な事例を作ってこられた方々から活動をご紹介いただくとともに、パネルディスカッションを実施した。参加者の地域にどの新しい機能を付加することが最適なのか、一緒に考える場を提供した。

概要

項目	内容
名称	平成29年度まちづくりオープン会議 これからのまちの集客交流施設整備のあり方ーまちのストックの活用ー
日時	平成29年2月7日(水)13:00～16:30(16:45～18:15交流会)
会場	ビジョンセンター田町4階401(交流会404) https://www.visioncenter.jp/tamachi/access/
web情報	https://www.machigenki.go.jp/content/blogsection/34/412/
主催	経済産業省
参加者	事前登録者118名、最終参加者94名(関係者15名は含まない) 交流会参加数44人(受講者34名、関係者10名)

当日スケジュール

時間	内容
12:30～13:00	開場・受付開始
13:00～13:10(10分)	■開会挨拶(コメンテーター紹介) 経済産業省 地域経済産業グループ 中心市街地活性化室長 松原 浩司 氏
13:10～14:00(50分)	■基調講話 「つながりの拠点の創造ーコミュニティデザインの視点からー」 山崎 亮 氏(株式会社 studio-L代表)
14:00～14:15(15分)	休憩
14:15～16:00(105分)	報告＋パネルディスカッション 「集客交流施設整備におけるまちのストックの活かし方」 ◇コーディネータ 足立 基浩 氏(和歌山大学経済学部教授) ◇パネリスト(順不同) 「百貨店撤退を機にした『ユナイトメントストア』の創造」 玉川 恵 氏(城山観光株式会社常務取締役) 「まちへの誇りがまちを動かす ～八戸ポータルミュージアム はっち～」 風張 知子 氏(株式会社デーリー東北新聞社取締役経営企画室長、はっち初代館長) 「アオーレ長岡の整備と連鎖型再開発による中心市街地活性化」 樋口 秀 氏(長岡技術科学大学大学院准教授、NPOまちなか考房副代表)
16:00～16:30(30分)	質疑応答 会場からの質問、意見
16:30～16:45(15分)	休憩・移動(404へ)
16:45～18:15(90分)	交流会(会費制・自由参加)

当日の報告概要と様子

基調講話「つながりの拠点の創造ーコミュニティデザインの視点からー」

山崎亮氏(株式会社studio-L代表)



中心市街地活性化と商店街活性化は同じではないという問題提起のもと、まち全体の交流の場としての、中心市街地の活性化のあり方や、その実現に向けた様々な関係者の参加のあり方について、マルヤガーデンズ、観音寺まちなか再生プロジェクト、ノベオカノマドハウス等の事例紹介を交えて話して頂いた。

報告+パネルディスカッション「集客交流施設整備におけるまちのストックの活かし方」

◇コーディネータ:

足立 基浩 氏(和歌山大学経済学部教授)

◇パネリスト:

玉川 恵 氏(城山観光株式会社常務取締役)

風張 知子 氏(株式会社デーリー東北新聞社取締役経営企画室長、はっち初代館長)

樋口 秀 氏(長岡技術科学大学大学院准教授、NPOまちなか考房副代表)



足立基浩和歌山大学教授のコーディネートのもとで、玉川氏(マルヤガーデンズ)、風張氏(はっち)、樋口氏(アオーレ長岡)から、取組をご報告頂いた上で、パネルディスカッションを行った。会場からの質問に対しても対応した。

当日の報告概要と様子

「百貨店撤退を機にした『ユナイトメントストア』の創造」玉川 恵 氏



鹿児島市のショッピングセンター「マルヤガーデンズ」において、百貨店の撤退を機にコミュニティスペースを導入するようになった取組の経緯と、事業にリスクをとる必要がある民間事業者として取組の考え方を中心に話して頂いた。

「まちへの誇りがまちを動かす～八戸ポータルミュージアム はっち～」風張 知子 氏



八戸市のポータルミュージアム「はっち」について、市民が郷土に対する誇りを持てるようになり、何度も訪れたくなる、市民の発表の場としての博物館の整備に至った経緯や、整備を通じた集客、周辺開発の促進等の効果について話して頂いた。

「アオーレ長岡の整備と連鎖型再開発による中心市街地活性化」樋口 秀 氏



長岡市において、市役所・議場・屋根付広場等から構成される複合型公共施設として、「アオーレ長岡」が整備されるようになった経緯と、「ナカドマ」における様々な市民イベントの開催、周辺開発の進展、地価の上昇による固定資産税の確保などの整備効果等について話して頂いた。

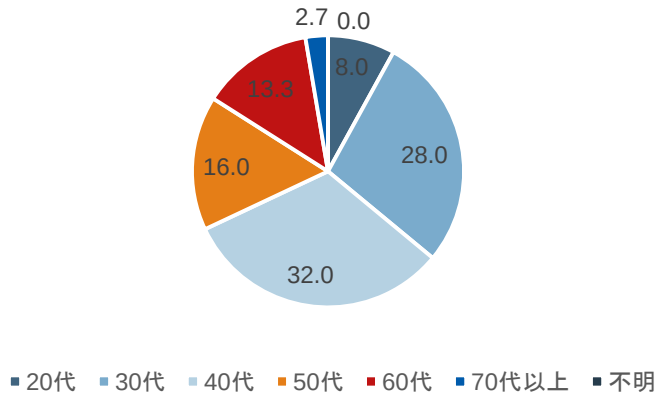
「総括」足立 基浩 氏



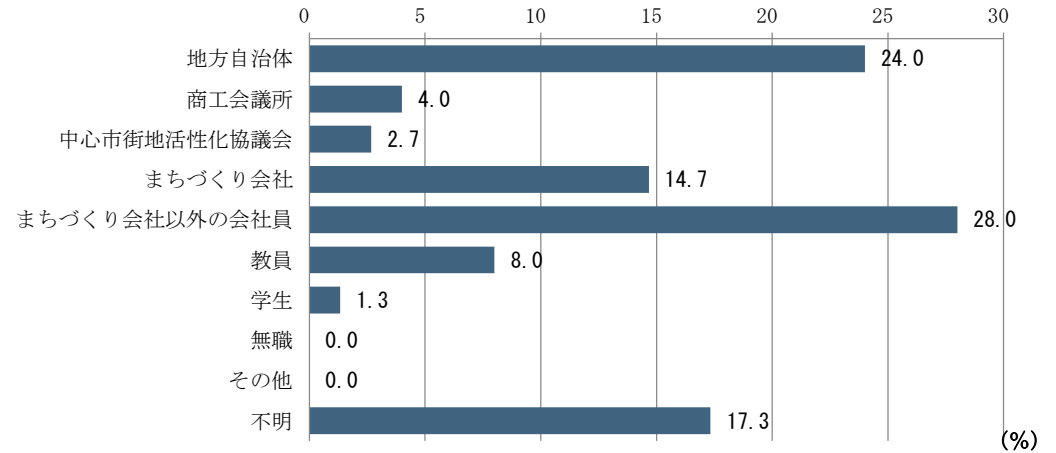
パネリストの報告に対する質問を通じて、報告内容を掘り下げるとともに、和歌山の学生による取組についても報告して頂いた。総括として、①新しい集いの空間(Party Place)、②住民が参加しやすい空間(Participation)、③今ある特別なものを再利用した空間(Particular Place)の必要性和、実現に向けた創造的破壊の必要性を提起して頂いた。

30～40代、男性を中心に、民間企業、自治体関係者など、多様な属性の参加者を 集客、街元気サイト42.7%、事務局からの告知16.0%が中心

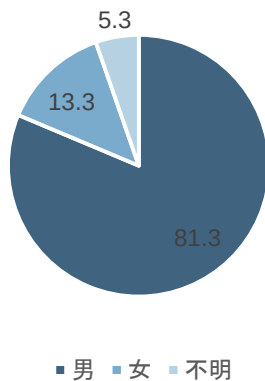
回答者の年齢(N=75)



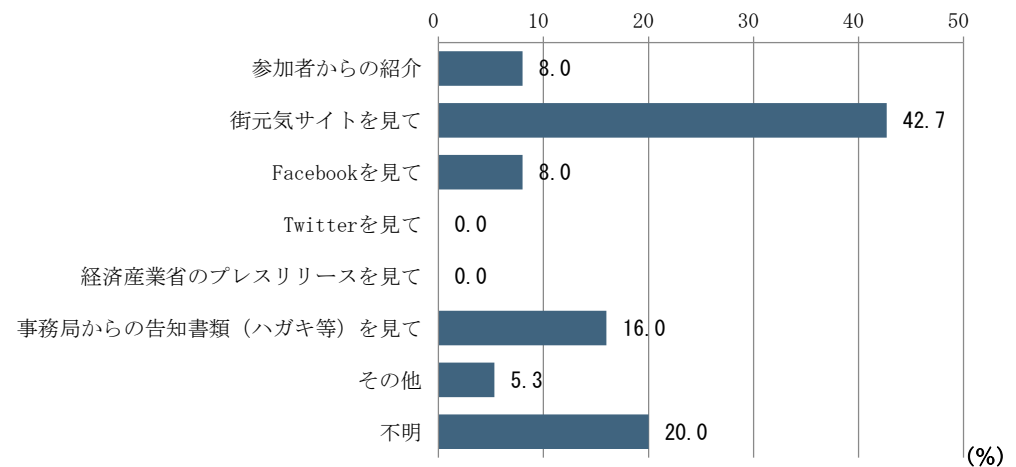
回答者の職業(N=75)



回答者の性別(N=75)

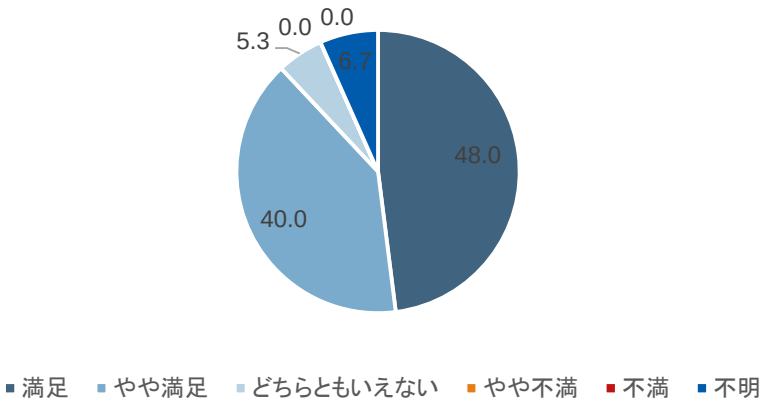


オープン会議に参加したきっかけ(N=75)

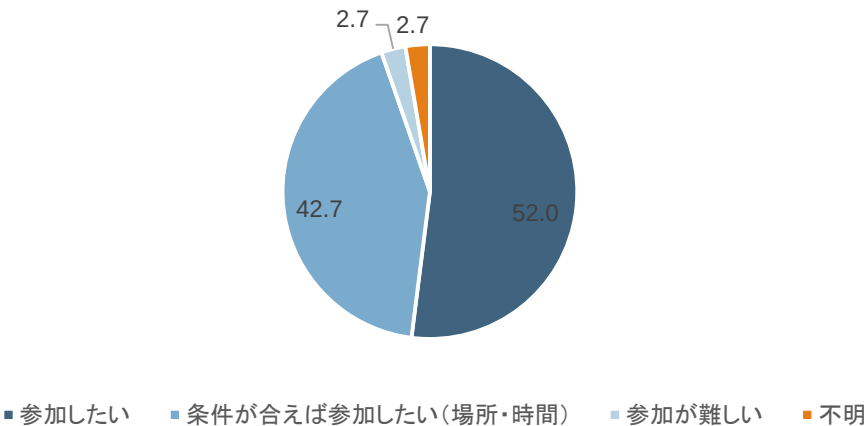


参加者の満足度はきわめて高く、今後の参加意向も大きい。
会場が、受講者数に比べて、やや狭かったことが課題

今回のオープン会議に対する満足度 (N=75)



来年度以降のオープン会議への参加意向 (N=75)



■【Q5-1】発表者数の妥当性 <SA>

	全 体	少ない	適当	多い	不明
件 数	75	0	72	2	1
%	100.0	0.0	96.0	2.7	1.3

■【Q5-2】会議全体の時間 <SA>

	全 体	短い	適切	長い	不明
件 数	75	4	60	9	2
%	100.0	5.3	80.0	12.0	2.7

■【Q5-3】報告の時間 <SA>

	全 体	短い	適切	長い	不明
件 数	75	16	54	4	1
%	100.0	21.3	72.0	5.3	1.3

■【Q5-4】コメント・質疑の時間 <SA>

	全 体	短い	適切	長い	不明
件 数	75	4	66	2	3
%	100.0	5.3	88.0	2.7	4.0

■【Q5-5】会場の大きさ <SA>

	全 体	狭すぎる	適切	広すぎる	不明
件 数	75	36	38	0	1
%	100.0	48.0	50.7	0.0	1.3

今後希望するテーマとしては、事例、組織、制度などがあげられた。 農業、福祉などとの連携等へ関心をもつ人も存在

項目	内容
成功事例、失敗事例	・ 同じテーマでまちづくりをしている事例（成功と失敗例）（歴史・作家/漫画家etc.） ・ 民間のNPOが取り組んでいるまちづくり事例（今回のものより小規模で） ・ 「まちづくり」施策における失敗事例 ・海外での事例や取り組み ・ 「成功事例」と「失敗から学ぶ」 きっと多くの失敗があったもしくはあると思うけど何が失敗か、どんな点を注意すべきかを聞きたい。 ・ まちづくりの気運が高い自治体、エリアをどんどん紹介して下さい。
まちづくり関連制度	・ 建築基準法等、法令の壁があり事業化できないことが多く、それらの解決方法について、事例紹介。 ・ 宿泊施設との協業 ・ シェアリングエコノミーと共助。特定不動産法改正と街づくりへの効果
まちづくり組織	・ まちづくり会社のあり方 ・ 商店街の組織はどんどん崩壊しています。BID的法制もできましたが、タウン(エリア)マネジメント組織を再考すべきではないかと思います。 ・ 中心市街地活性化の担い手 ・ 実際に空き店舗などに出店して成果、効果をあげておられる店主からの情報提供や体験談を伺いたいです。
過疎地の町おこし	・ 過疎化の進んだ地方の市街地ではない地域の町おこし。中心ではない、地域や人口減少で年寄ばかりの地域、まちの復興の取り組み事例の紹介など

今後希望するテーマとしては、事例、組織、制度などがあげられた。 農業、福祉などとの連携等へ関心をもつ人も存在

項目	内容
まちの遊休不動産活用	- 大規模施設の再開発ではなく、まちの遊休不動産(空き店舗)の活用について、テーマがあるといいと思いました。 - 新たな施設を造ったり、大きな施設をリノベーションすることも大事だが、まちなかに点在する小さな空店舗、空家・空地の再利用をどの様にすれば良いかをもっと知りたい。 - 中活認定を受けているような大きい事業だけではなく、小さい団体やまちづくり会社でも取り組みはじめることが可能な事例を紹介してほしいです。
農業とまちづくりの関係	- 農業とまちづくりとの関係について、具体的にまちづくり活動を実践している方のお話がうかがえればと考えています - マルシェの例
福祉とまちづくり	- 福祉(高齢者・障がい者・子育て)を前向きに捕らえて成功してるまちづくりについて。※社会的弱者と言われる人達が普通に暮らすまちについて、国内外問わず事例を知りたいです。 - CCRCの成功事例 ・再開発事業のすすめ方
プレイスメイキング	プレイスメイキング、個々の活動を大きなエリアのまちづくりにつなげていく活動
リノベーション	リノベーション
その他	- まちづくりや商店街活性化について、継続していくためのエッセンスを取り上げてほしいと思います。 - 市民と関わっていくなかでの課題について - 能力・実績・知名度が無い状態から参画・企画が出来るか否か。又、その場合は何を最初にしたか。

まちづくりオープン会議 | テーマ2 | 「中心市街地における新しい場 ―まちの魅力を向上させるための機能―」

概要

項目	内容
名称	平成29年度まちづくりオープン会議 中心市街地における新しい場 ―まちの魅力を向上させるための機能―
日時	平成30年3月19日(月)13:00～15:30
会場	3331 Arts Chiyoda 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 http://www.3331.jp/access/
web情報	https://www.machigenki.go.jp/content/blogsection/34/412/
主催	経済産業省
参加者	事前登録者51名、最終参加者46名(関係者13名は含まない)

当日スケジュール

時間	内容
時間	内容
13:00-13:05	挨拶
13:05-13:25	取組①コワーキングスペース
13:25-13:45	取組②ゲストハウス
13:45-14:05	取組③フューチャーセンター
14:05-14:25	取組④ものづくり工房
14:40-15:25	パネルディスカッション ・中心市街地で活動を行う上での課題、悩み、工夫 ・中心市街地での活動の展望
15:25-15:30	閉会

当日の報告概要と様子

取組紹介: コワーキングスペース「ツクルバ」中村 真広 氏



株式会社ツクルバの事業の内、中心市街地活性化に関連する会員制シェアードワークプレイス「co-ba(コーバ)」などの取組をご紹介頂き、今後事業展開予定の創業期の会社向けのオフィス賃貸サービスについてもお話し頂いた。

取組紹介: ゲストハウス「コザまち社中」崎原 徹 氏



沖縄市に2017年5月にオープンしたゲストハウス「Arcade Resort Okinawa HOTEL&CAFE」について、事業に取り組まれたきっかけや実際に進めていく上での課題などをお話し頂いた。

取組紹介: フューチャーセンター「キネマフューチャーセンター」菊地 真紀子 氏



東京都大田区蒲田にあるキネマ通り商店街に作られた、空き店舗にコミュニティスペースを兼ね備えた民設民営のフューチャーセンターの取組について話して頂いた。

取組紹介: ものづくり工房「Makers' Base」松田 純平 氏



東京に2013年にオープンした会員制工房Makers' Base Tokyoを立ち上げたきっかけや、機器の使用だけでなく「ワークショップ」による収益化などの取組をお話し頂いた。

当日の報告概要と様子

パネルディスカッション

◇コーディネータ:

原田 弘子 氏(マネジメントオフィスHARADA代表)

◇パネリスト:

中村 真広 氏(ツクルバ)

崎原 徹 氏(コザまち社中)

菊地 真紀子 氏(キネマフューチャーセンター)

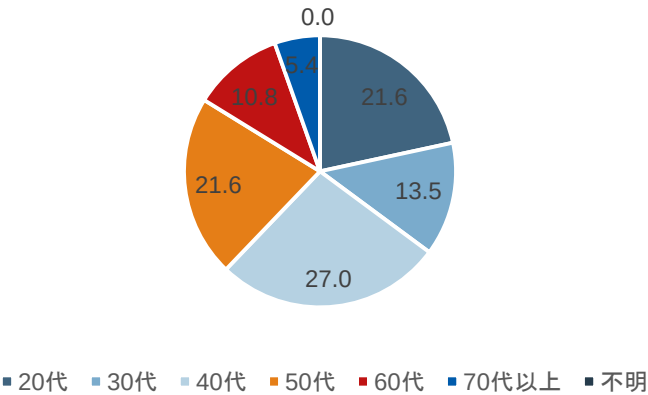
松田 純平 氏(Makers' Base)



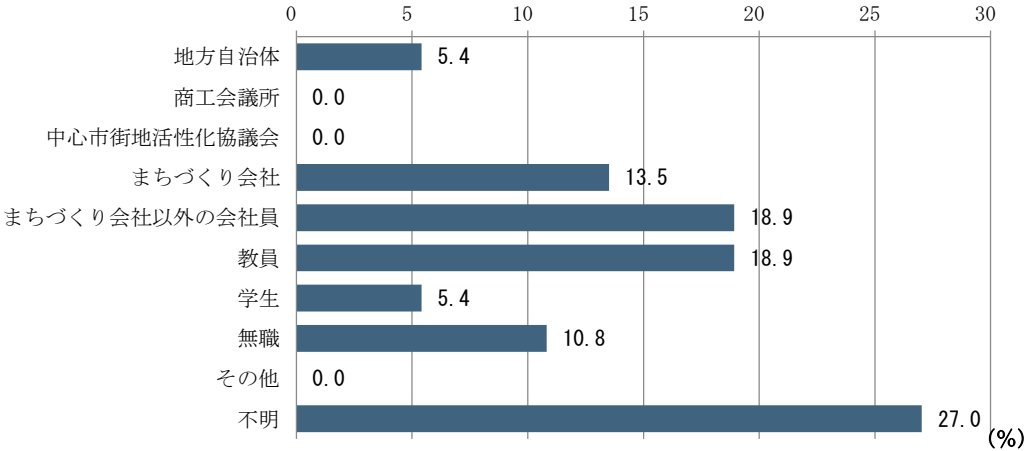
原田氏コーディネートのもと、中村氏(ツクルバ)、崎原氏(コザまち社中)、菊池氏(キネマフューチャーセンター)、松田氏(Makers' Base)から、取組の深掘りや収益目的などのパネルディスカッションを行った。

年代・性別ともに幅広い層から、民間企業、教員など、多様な属性の参加者を集客 街元気サイト40.5%、参加者からの紹介やFacebook16.2%が中心

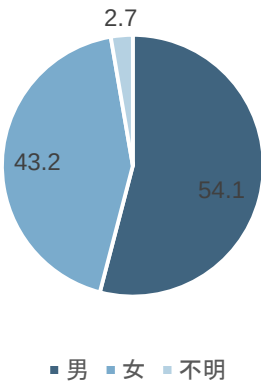
回答者の年齢(N=37)



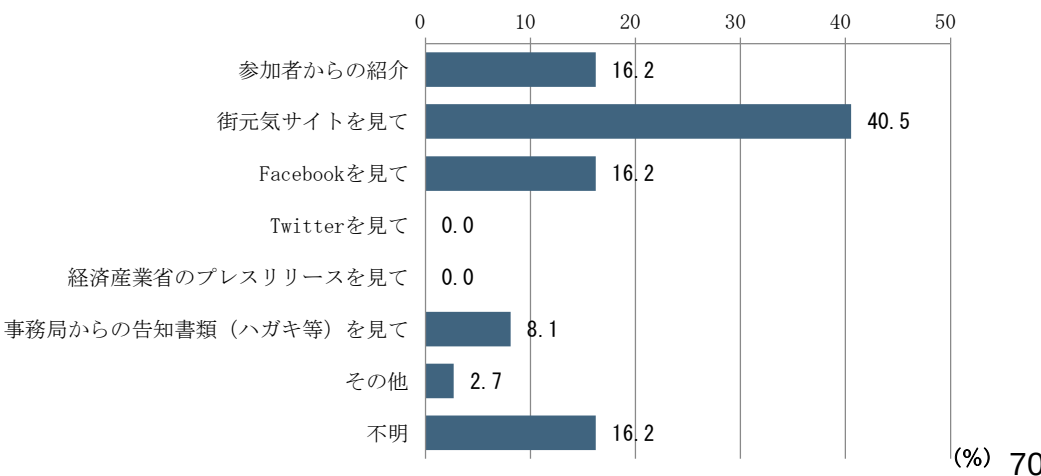
回答者の職業(N=37)



回答者の性別(N=37)

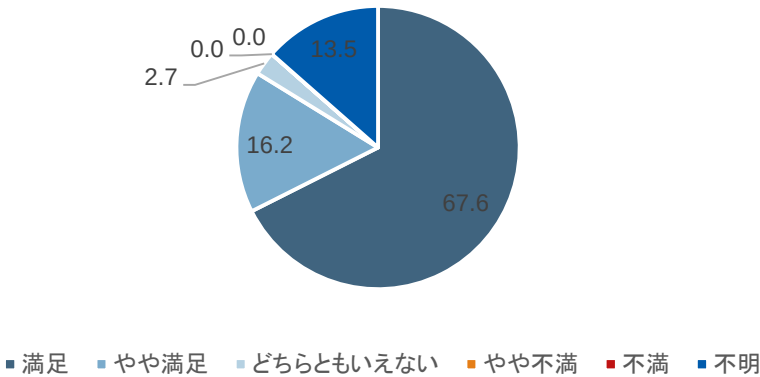


オープン会議に参加したきっかけ(N=37)

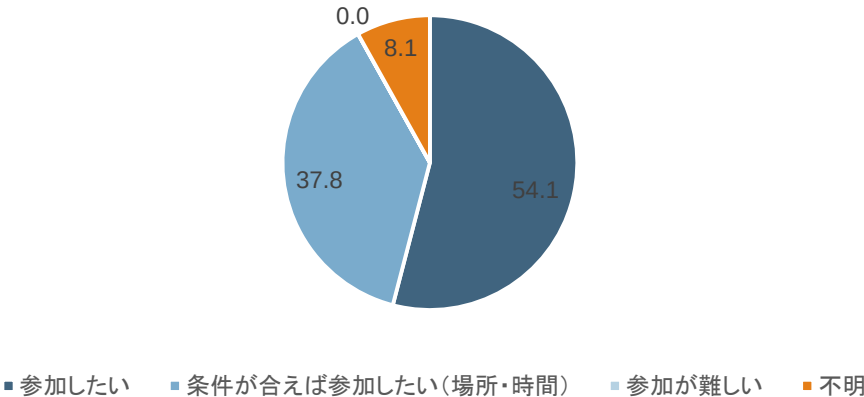


参加者の満足度は高く、今後の参加意向も高い。

今回のオープン会議に対する満足度 (N=37)



来年度以降のオープン会議への参加意向 (N=37)



■【Q5-1】発表者数の妥当性 <SA>

	全 体	少ない	適当	多い	不明
件 数	37	0	32	2	3
%	100.0	0.0	86.5	5.4	8.1

■【Q5-2】会議全体の時間 <SA>

	全 体	短い	適切	長い	不明
件 数	37	4	29	2	2
%	100.0	10.8	78.4	5.4	5.4

■【Q5-3】報告の時間 <SA>

	全 体	短い	適切	長い	不明
件 数	37	5	27	0	5
%	100.0	13.5	73.0	0.0	13.5

■【Q5-4】コメント・質疑の時間 <SA>

	全 体	短い	適切	長い	不明
件 数	37	6	17	1	13
%	100.0	16.2	45.9	2.7	35.1

■【Q5-5】会場の大きさ <SA>

	全 体	狭すぎる	適切	広すぎる	不明
件 数	37	2	29	1	5
%	100.0	5.4	78.4	2.7	13.5

(3)委員会の開催

人材育成委員会 実施概要

項目	内容		
名称	第1回人材育成委員会	第2回人材育成委員会	第3回人材育成委員会
日時	平成29年7月3日(月) 14:00～16:00	平成29年12月13日(水) 10:00～12:00	平成30年3月15日(木) 15:00～17:00
会場	TKP新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム5H	TKP新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム5H	TKP新橋カンファレンスセンター ミーティングルーム4H
議事次第	1. 開会 2. 挨拶 3. 委員紹介・座長選出 4. 議事 (1)資料説明 (2)意見交換 ①平成29年度事業について ②まちづくり人材育成スキルマップについて (3)タウンプロデューサーについて (4)その他 5. 閉会	1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 (1)平成29年度研修の実施状況からみるスキルマップの整理の報告 (2)スキルマップと今後の研修について ①まちづくりに関わる人材育成のあり方について ②まちづくりに必要なスキルとは ③本事業の研修で取り扱うべき(強化すべき)スキルとは (3)タウンプロデューサーについて (4)その他 4. 閉会	1. 開会 2. 挨拶 3. 議事 (1)資料説明 (2)意見交換 ①座学研修 ②実地研修 ③まちづくりオープン会議 ④まちづくり次世代会議 ⑤スキルマップ ⑥ポータルサイト(街元気サイト)の維持・管理・運営 ⑦事業の広報及び追加実施事項 (3)その他 4. 閉会

委員名簿

■ 以下の委員にご参加頂いた。

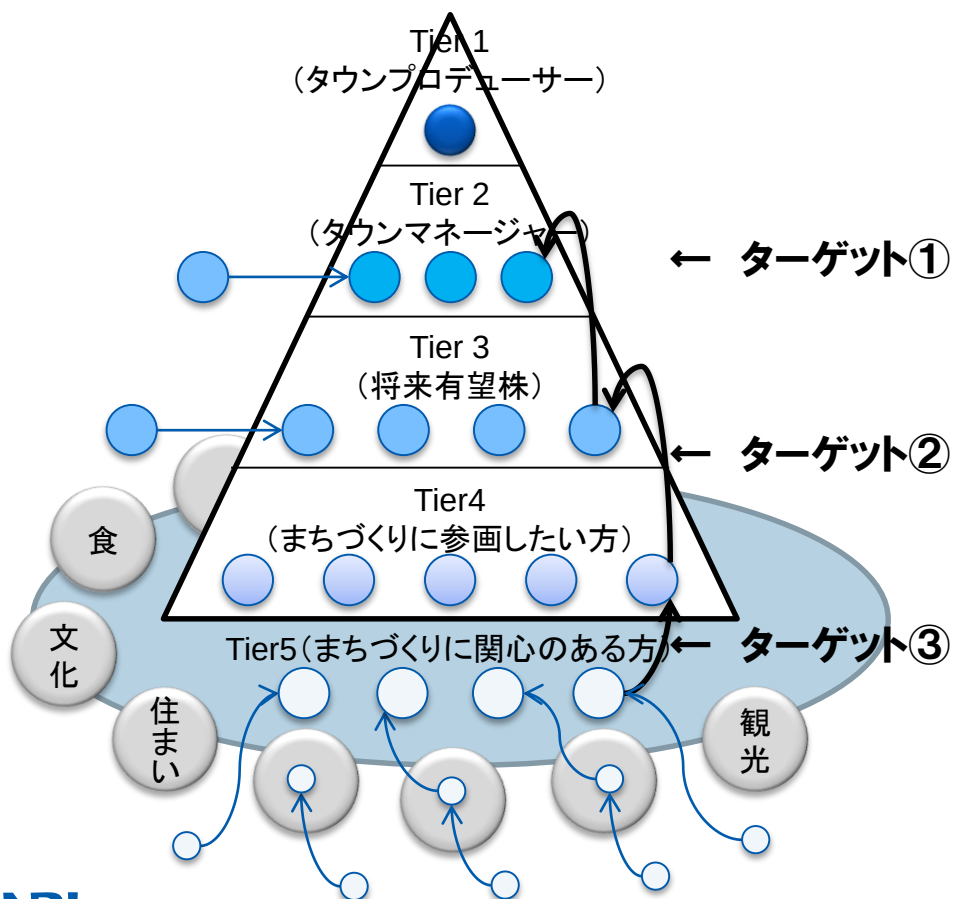
- 足立 基浩 和歌山大学経済学部 教授
- 加藤 博 青森新町商店街振興組合 副理事長
- 木下 斉 一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス 代表理事
- 杉谷 第士郎 オフィスコモンズ代表
- 関 幸子 株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
- 高本 泰輔 株式会社金沢商業活性化センター ゼネラルマネージャー
- 細野 助博 中央大学総合政策学部 教授
- 村木 美貴 千葉大学大学院工学研究院 教授
- 渡辺 達朗 専修大学商学部 教授（委員長）

（敬称略、五十音順）

(参考)スキルマップについて(委員会での検討事項)

スキルマップ作成の目的

- これまで、研修事業の充実を図り、タウンマネージャー等の育成を進めてきたところ。
- 今後は、人材育成の原点に立ち返り、“どこの地域で学ぶか?”ではなく、“どのスキルを向上できる研修か?”を明らかにし、より効果的な研修に発展させていくことを目指す。



	H27年度実績	H28年度実績
インターン型実地研修	17人(5地域)	14人(6地域)
フォローアップ研修	6人(4地域)	5人(4地域)
まちげんきフェス	16地域	20地域
次世代会議	-	10人
特定テーマ型研修	50人(6地域)	65人(4地域)
座学研修	283人(2地域)	268人(2地域)
オープン会議	130人(1地域)	95人(1地域)
会員数	5,732人	5,900人
Twitterフォロワー	1,130人	1,274人
HP月間訪問数	3.5万人 (PV:17.3万)	3.5万人 (PV:19.3万)
FBいいね!(全体)	1,302人	2,181人
FBいいね!(オープン会議)	1,076人	1,235人

インターンシップ型研修講師から集約したご意見

■ 本年度実施したインターンシップ型研修講師にもスキルマップの内容について意見を頂いた。

● なお、本年度の研修担当講師は以下となる。

- 岡崎市(松井TP)
- 三原市(原田TP)
- 金沢市(高本TP)
- 飯田市(三石TP)
- 佐久市(阿部TP)

● 右記の用紙を送付し、スキルマップで追加すべきスキルの有無および、ある場合はその理由を把握した。

● また、今回の研修で向上を目指したスキルおよび、該当する研修内容も把握した。

項目は、まちづくり人材の方が身につけるべきスキルの一覧として整理しております。(1)の項目以外に、まちづくり人材が身につけるべきスキルとして考えられるものがありましたら、以下にご記入くださいませ。

スキル名：

上記スキルを挙げていただいた理由：

今回担当された研修ではどのスキルを身につけることを目的とした内容でしたか。該当するものすべての()内に○をご記入いただき、該当する研修内容、ならびに、研修を通じて身につけられるスキルの内容や程度について自由にご記入頂けますでしょうか。

記入例

(○) 財務会計

研修内容：資本構成が民間 100%のまちづくり会社にあつて、安定的に収益を生み出し続ける事業を創り出すことが極めて重要である。実際実施している事業を紹介しつつ、まちづくり会社全体としてどのような収益構造となっているのか、その財務を学ぶ講義形式の研修を実施。

スキル程度：レベル3から4程度を想定して実施。
(別添のスキルマップをご参照くださいませ)

【事業】

() 業務遂行

研修内容：
スキル程度：

() オペレーション・マネジメント

研修内容：
スキル程度：

() 業務改善

研修内容：
スキル程度：

() 管理会計(事業評価)

研修内容：
スキル程度：

まちに存在する多種多様な人物と関わり、効果的な取組を実現していくために必要な人に依拠する基本的なスキル

【まちづくり会社の事業を進める上で、具備しておくべきスキル】

■ コミュニケーションスキル

- まちづくりに関わる組織・人の意思・感情・思考情報に傾聴し、言葉や身振り・手振り、表情など（言語／非言語）を通じ、他人と十分な意思の疎通を行うことができるか。

■ ロジカルシンキング

- フレームなどを適宜活用し、情報を整理・分析し、複雑なものごとの因果関係を明快に把握したり、問題に対する有効な解決策を導き出したりすることができるか。また、そのことをわかりやすく他人に伝えることができるか。

■ フォロワーシップ

- 明確な目標・ビジョンの達成に向けて、リーダーを補助（フォロー）していくことができるか。指示に従って成果を上げるだけでなく、自発的に意見を述べたり、リーダーの誤りを修正できるか。

■ スピード

- 時間を意識し、機を逸しないよう、素早い意思決定と行動ができるか。

まちに存在する多種多様な人物と関わり、効果的な取組を実現していくために必要な人に依拠する基本的なスキル

【まちづくり会社の事業の経験とともに、強化されうるスキル】

■ ファシリテーション力

- ミーティングの場で、参加者に発言や参加を促し、参加者間の認識をすり合わせ、合意形成や相互理解をサポートし、組織や参加者の活性化、協働を促進させることができるか。

■ コーチング力

- 対話によって、関係者の意向や目的を引き出し、モチベーションを高め、関係者の自己実現や関係者・組織の目標達成を図ることができるか。

■ リーダーシップ

- 明確な目標・ビジョンを掲げ、関係者を巻き込み、そのビジョンの実現に向けて関係者がモチベーションを保てるように励まし、支え、ビジョン実現への課題をチーム全体で解決できるか。

■ 交渉力

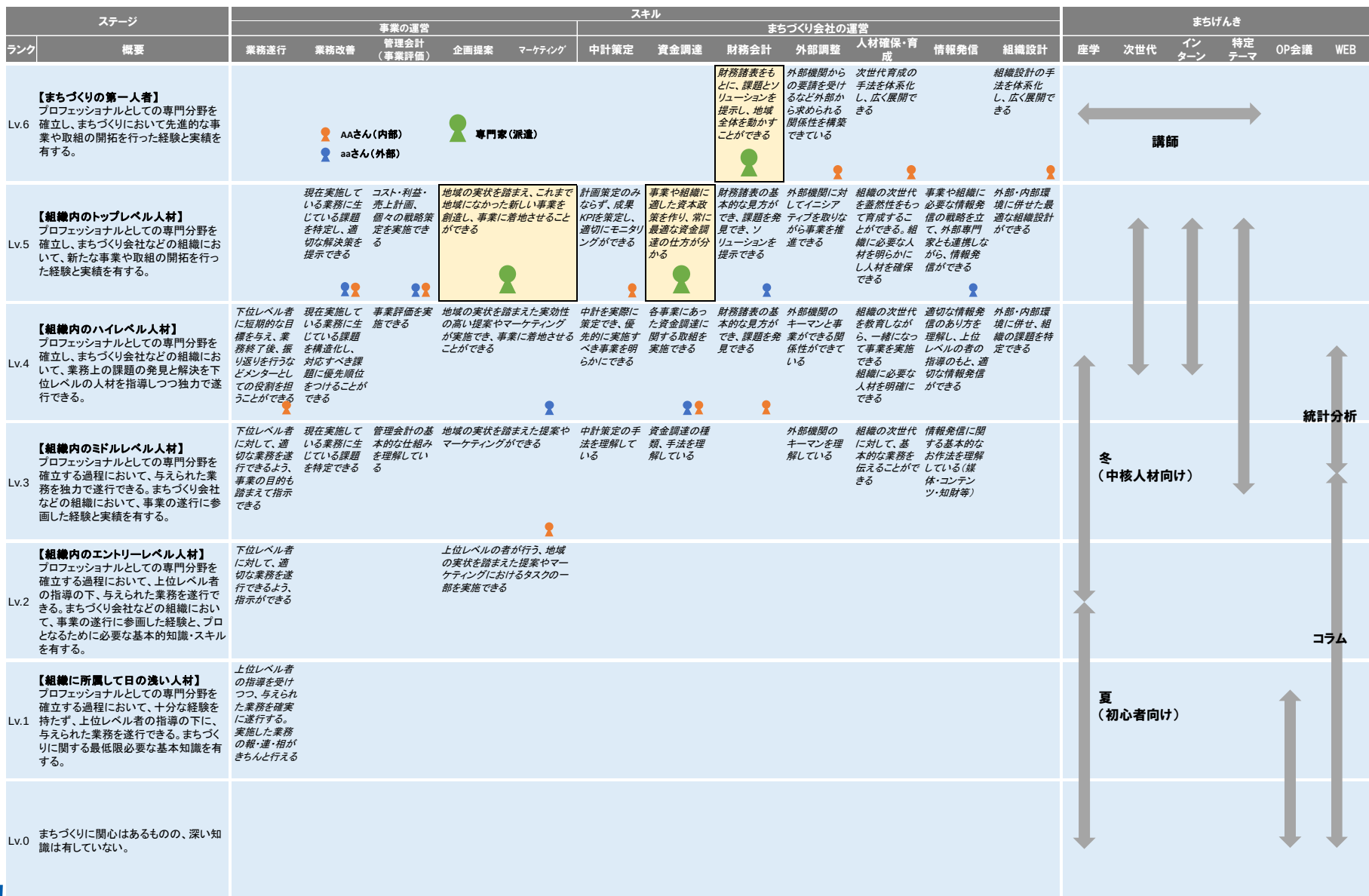
- 自分たちの立ち位置（強み・弱み）、事業環境（機会・脅威）のみならず、取引先となる相手の立ち位置や事業環境を踏まえながら、最適な解決策を見つけ、取りまとめることができるか。

地域全体で求められる人材スキル

まちづくり会社の社員のみならず、まちに存在する多種多様な人物が保有するスキルを組み合わせ、地域全体のスキルマップを作ることを目指す

ステージ		スキル										まちげんき						
ランク	概要	事業の運営				まちづくり会社の運営						座学	次世代	イン ターン	特定 テーマ	OP会議	WEB	
		業務遂行	業務改善	管理会計 （事業評価）	企画提案	マーケティング	中計策定	資金調達	財務会計	外部調整	人材確保・育 成							情報発信
Lv.6	【まちづくりの第一人者】 プロフェッショナルとしての専門分野を確立し、まちづくりに関して先進的な事業や取組の開拓を行った経験と実績を有する。							財務諸表をもとに、課題とソリューションを提示し、地域全体を動かすことができる	外部機関からの要請を受け、外部から求められる関係性を構築できている	次世代育成の手法を体系化し、広く展開できる	組織設計の手法を体系化し、広く展開できる	講師						
Lv.5	【組織内のトップレベル人材】 プロフェッショナルとしての専門分野を確立し、まちづくり会社などの組織において、新たな事業や取組の開拓を行った経験と実績を有する。	現在実施している業務に生じている課題を特定し、適切な解決策を提示できる	コスト・利益・売上計画、個々の戦略策定を実施できる	地域の実状を踏まえ、これまでの地域になかった新しい事業を創造し、事業に着地させることができる	計画策定のみならず、成果KPIを策定し、適切にモニタリングができる	事業や組織に適した資本政策を作り、常に最適な資金調達の仕方が分かる	財務諸表の基本的な見方ができ、課題を発見でき、ソリューションを提示できる	外部機関に対してイニシアティブを取りながら事業を推進できる	組織の次世代を蓋然性をもって育成することができる。組織に必要な人材を明らかにし、人材を確保できる	事業や組織に必要な情報発信の戦略を立て、外部専門家と連携しながら、情報発信ができる	外部・内部環境に併せた最適な組織設計ができる							
Lv.4	【組織内のハイレベル人材】 プロフェッショナルとしての専門分野を確立し、まちづくり会社などの組織において、業務上の課題の発見と解決を下位レベルの人材を指導しつつ独力で遂行できる。	下位レベル者に短期的な目標を与え、業務終了後、振り返りを行うなどメンターとしての役割を担うことができる	現在実施している業務に生じている課題を構造化し、対応すべき課題に優先順位をつけることができる	事業評価を実施できる	地域の実状を踏まえた実効性の高い提案やマーケティングが実施でき、事業に着地させることができる	中計を実際に策定でき、優先的に実施すべき事業を明らかにできる	各事業にあった資金調達に関する取組を実施できる	財務諸表の基本的な見方ができ、課題を発見できる	外部機関のキーマンと事業ができる関係性ができている	組織の次世代を教育しながら、一緒に事業を実施できる。組織に必要な人材を明確にできる	適切な情報発信のあり方を理解し、上位レベルの者の指導のもと、適切な情報発信ができる	外部・内部環境に併せ、組織の課題を特定できる	統計分析					
Lv.3	【組織内のミドルレベル人材】 プロフェッショナルとしての専門分野を確立する過程において、与えられた業務を独力で遂行できる。まちづくり会社などの組織において、事業の遂行に参画した経験と実績を有する。	下位レベル者に対して、適切な業務を遂行できるよう、事業の目的も踏まえて指示できる	現在実施している業務に生じている課題を特定できる	管理会計の基本的な仕組みを理解している	地域の実状を踏まえた提案やマーケティングができる	中計策定の手法を理解している	資金調達の種類、手法を理解している		外部機関のキーマンを理解している	組織の次世代に対して、基本的な業務を伝えることができる	情報発信に関する基本的なお作法を理解している（媒体・コンテンツ・知財等）	冬 （中核人材向け）						
Lv.2	【組織内のエントリーレベル人材】 プロフェッショナルとしての専門分野を確立する過程において、上位レベル者の指導の下、与えられた業務を遂行できる。まちづくり会社などの組織において、事業の遂行に参画した経験と、プロとなるために必要な基本的知識・スキルを有する。	下位レベル者に対して、適切な業務を遂行できるよう、指示ができる			上位レベルの者が行う、地域の実状を踏まえた提案やマーケティングにおけるタスクの一部を実施できる							コラム						
Lv.1	【組織に所属して日の浅い人材】 プロフェッショナルとしての専門分野を確立する過程において、十分な経験を持たず、上位レベル者の指導の下に、与えられた業務を遂行できる。まちづくりに関する最低限必要な基本知識を有する。	上位レベル者の指導を受けつつ、与えられた業務を確実に遂行する。実施した業務の報・連・相がきちんとして行える										夏 （初心者向け）						
Lv.0	まちづくりに関心はあるものの、深い知識は有していない。																	

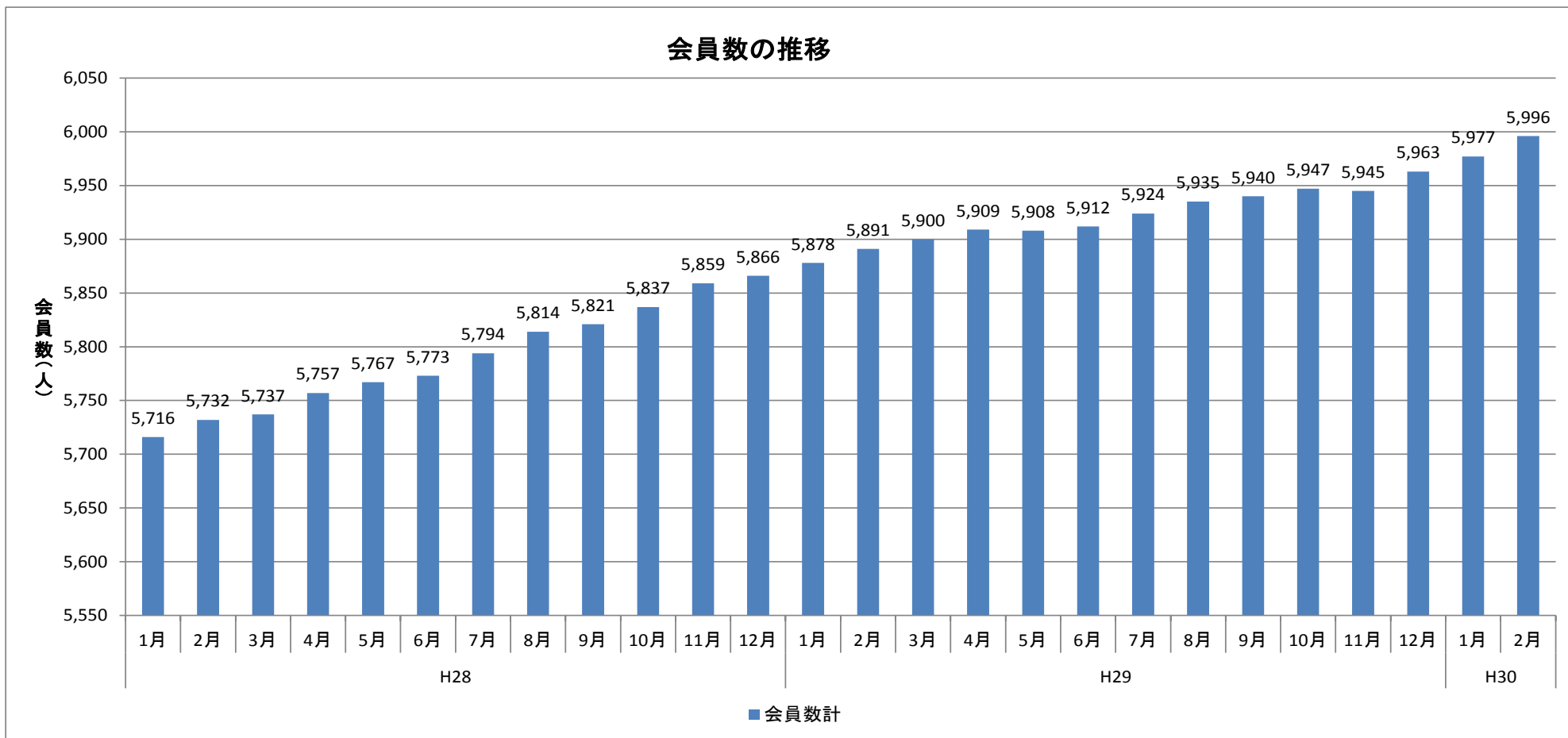
スキルマップ活用イメージ



ポータルサイトの運営／維持・管理

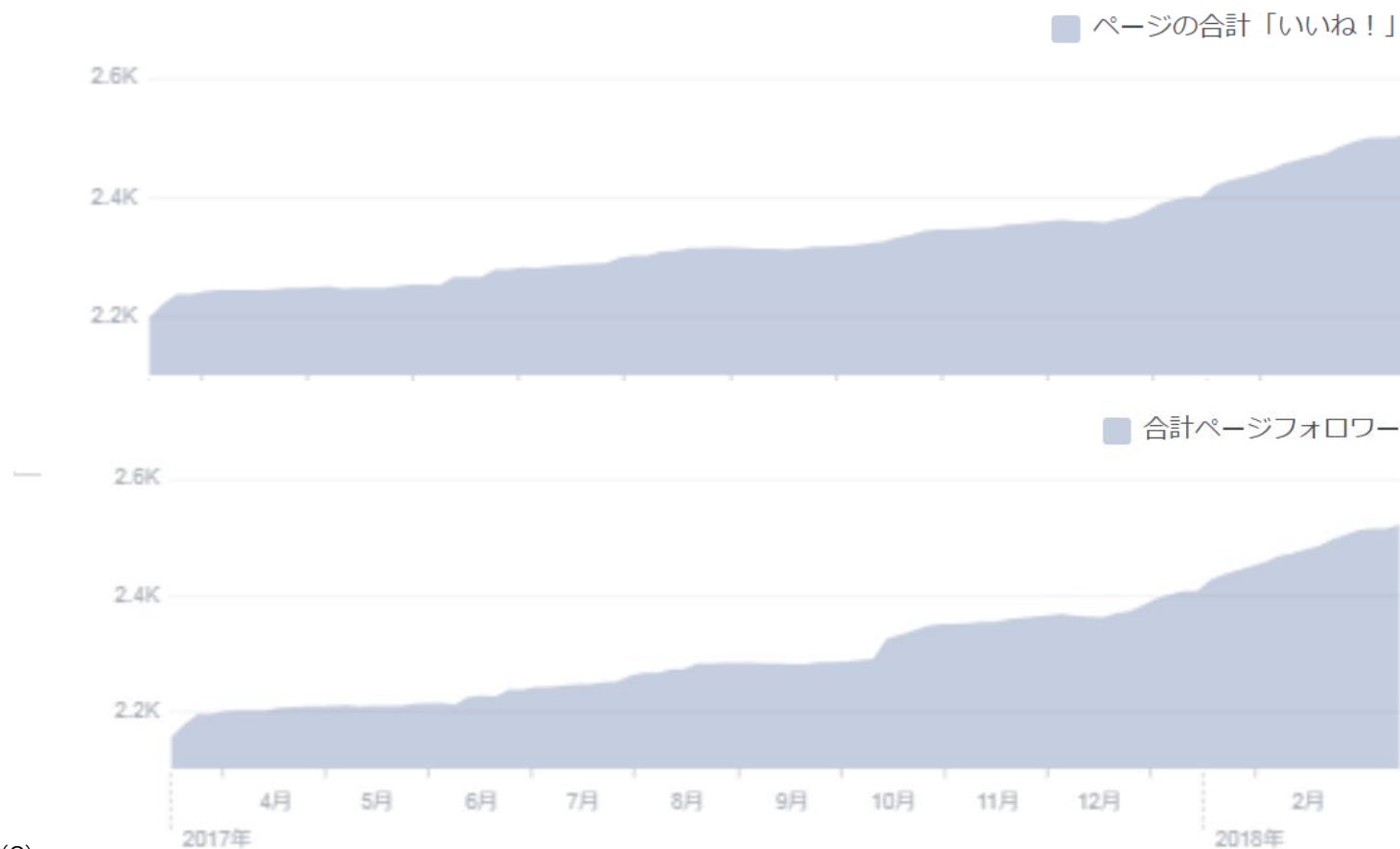
平成29年度の運営状況(会員登録状況)

- 2017年3月1日～2018年2月末の新規登録会員数は105名で、前年の159名と比較すると会員数の増加数が少なくなっている。
- 同期間にTwitterのフォロワーは122名増加で、発信した情報の受け手が増えている。



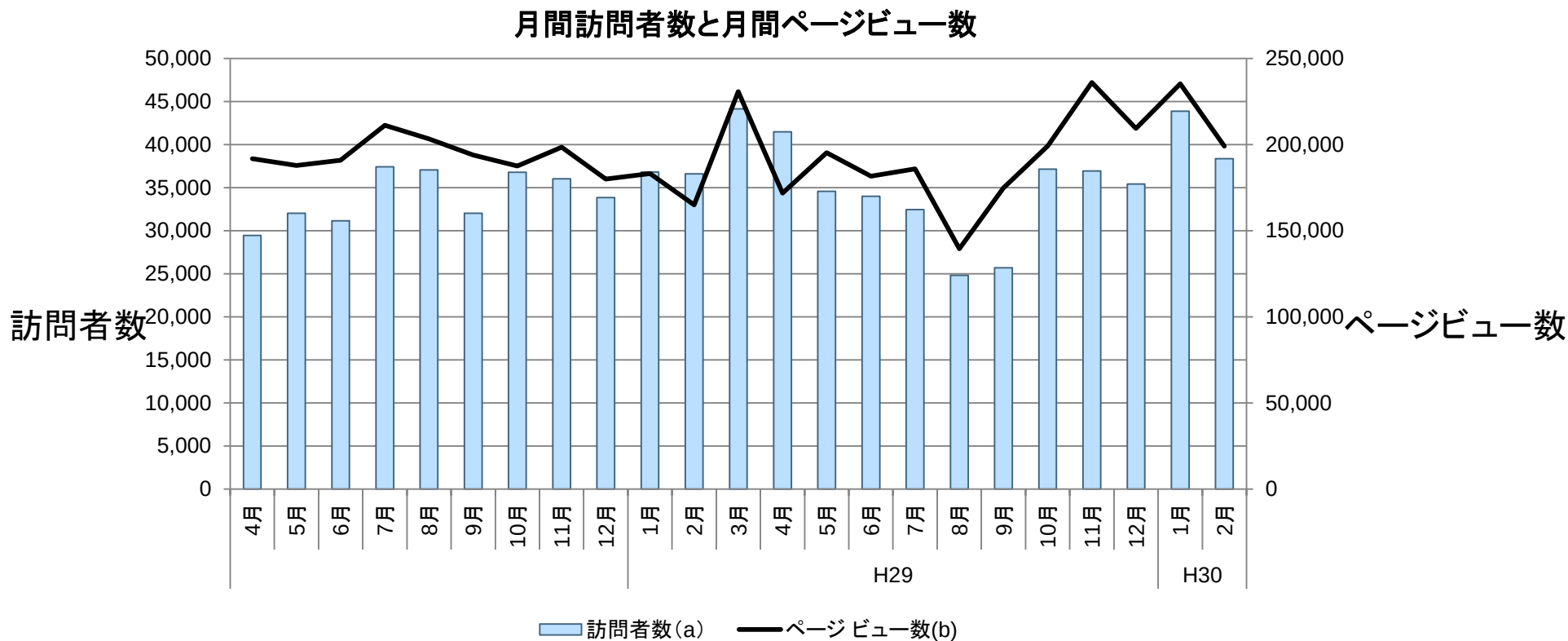
平成29年度の運営状況(SNSの状況)

- 2017年3月1日～2018年3月1日の街元気Facebookページでの「いいね！」数は310で累計2,506名、フォロワーの増加数は416名で累計フォロワー数2,571名となっている。
- 街元気会員へのメルマガに加えて、情報伝達の手段としてFacebookによる伝達が、有効に働きはじめていると考えられる。



今年度の運営状況(訪問者数・ページビュー数)

- 訪問者数は、4月以降一旦減少したが、8月以降回復し、1月時点では前年度の訪問者数やページビュー数の最高値を超える水準まで回復している。
- 8月以降は、インターンシップ研修、特定テーマ研修、オープン会議などの開催告知の時期と重なっており、サイトへの訪問者が増えたと考えられる。



街元気サイトの確実な管理運営

■ サイトを構成するソフトウェアのセキュリティ維持

- 街元気サイトの継続的なセキュリティ確保を行うため、継続的にセキュリティパッチの適用を行うほか、街元気サイトの構築に使用しているCMS(コンテンツマネジメントシステム)ソフトウェアのサポート期限に対応し、Joomla!のバージョンアップ(Ver.3.6→Ver3.7)を実施した。
- バージョンが大きく変わることにより、従来のコンテンツが支障なく動作するよう、修正を加えサイトの外観が変化しないように対処した上でバージョンアップを行った。

■ 月次のアクセス状況の報告

■ サイトのセキュリティ対策・脆弱性対策

- 毎月プラットフォーム診断(脆弱性検査)を実施し、新たな脆弱性が発生していれば修正対応を行う。

検索順位対策

- Googleの検索順位の仕様が変更されたため、検索語「まちづくり」で、街元気サイトが検索結果に表示されにくくなった。街元気サイトのTOP画面の表示語の追加等の対処を実施、これまで行ってきた対策では、効果があまりない発現していないため、試行中。

まちげんきはまちづくりの〇〇したいに応えます



「街元気」は、経済産業省が中心市街地活性化のために運営するまちづくり人材育成プロジェクトです。まちづくり情報サイト「街元気」(まちげんき)では、国が行う中心市街地活性化のための様々な支援、各種調査の情報、まちづくりの秘訣や、まちづくり事例など、様々なまちづくりに関する情報を提供いたします。「街元気」プロジェクトでは、まちをもっと元気にしようとしてまちづくりに頑張る人を応援します。そのために用意しているのが、全国各地のまちづくりの現場を舞台にした研修と、まちづくりのヒントにつながる情報を集めたサイトです。まちづくりの現場でおこなう実地研修では地元に着いてまちづくりに取り組む「まちづくり関係者」の姿勢や熱意に直接触れながら、現場でしかわからないノウハウやコツを学びます。また、研修では、研修受講者同士の情報交換やネットワークづくりもできます。まちづくり情報サイト「街元気」では、まちづくりの現場で行われる各種研修のご案内や、研修で得られたヒントを解説した教材の提供、全国のまちづくりに役立つ情報の提供とともに、会員の皆様からの情報もメールマガジンで発信していきます。

「まちづくり」等のキーワードを含むサイトの説明文をTOP下部に表示

[よくあるご質問](#) [サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [リンク・バナーについて](#) [ご利用規約](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [個人情報保護方針](#)

フッターから、METI、NRIのHPへのリンク追加

経済産業省 (法人番号 4000012090001)
主催/経済産業政策局 中心市街地活性化室 事務局/株式会社 野村総合研究所
Copyright © Ministry of Economy, Trade and Industry.

SNS広告の活用

SNSの広告活用について

- 毎月のアクセスログ集計の結果から、概ね3割程度のユーザがモバイル・タブレットを使用して街元気サイトにアクセスしている。
- TwitterやFacebookを活用して事業全般（インターンシップ研修・特定テーマ研修・オープン会議・座学研修の募集）やマチイベ登録イベントのお知らせを実施。
- 研修・オープン会議については、街元気Facebookページへのイベントとして登録し、研修等の現場から研修状況などの投稿を行った。さらに、街元気サイトで募集を開始した際に、Twitterへの投稿によるお知らせと、Facebookに近況として投稿を行った

Facebookの広告活用

- Facebookの有償広告を利用してサイトの宣伝を実施した。
 - 「まちづくり」「中心市街地活性化」「都市計画」に関心を持つ日本国内のユーザに対して広告が配信されるように設定。
 - 薄い青が広告に由来しないいいね！で、濃い青が有償広告に由来するいいね！で、研修募集を行った際に増えている。



事業の広報

- 本事業の参加者を拡大するため、またサイトの存在を知ってもらうため、事業内容をPRするためのポスター等を作成し、全国の自治体、商工会議所、まちづくり関係団体等に配布する。
- 2017年度は問合せが2件(新宿区、世田谷区)あったが、ポスター作成までは至っていない。

ポータルサイトの運営／維持・管理 ①研修、シンポジウム等の情報発信

まちづくりに関する各種情報提供

■ 研修・セミナーの募集掲載

- 座学研修、特定テーマ型実地研修、インターンシップ型実地研修、まちづくりオープン会議、次世代会議の参加者募集を掲載

■ 経産省からのお知らせの掲載

経産省からのお知らせ

- ① システムメンテナンスのお知らせ
- ② 中心市街地で活用できる低利融資制度のご案内
- ③ 平成29年度地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業で（第3次募集）
- ④ 平成28年度補正予算「地域未来投資促進事業費補助金（まちなか集客力向上支援事業について（第2次募集）
- ⑤ 平成27年度補正予算「商店街・まちなかインバウンド促進支援事業（中心市街地活公募について（三次募集）

研修・応募

平成29年度 座学研修

「まちづくりに必要な知識を学べる機会を充実して欲しい」、「まちづくり関係者とのネットワークを広げたい」という全国からのご要望にお応えすべく、本年度も座学研修を実施いたします。

本研修は、まちづくりの第一線で活躍する講師から、まちの現状分析・課題の発見、事業戦略・事業計画の立案、ハード・ソフト事業の実行支援、まちづくり会社の財務会計等、まちづくりに関する様々なノウハウを広く体系的に学ぶことができる内容となっております。

まちづくりに関する学習の機会、講師を含む全国のまちづくり関係者との交流の機会として、ご利用ください。

下記内容をご確認の上、お申し込みください。

日程	場所	テーマ/講師	募集人数	詳細申し込み
平成30年 2月20日（火）	TKPガーデンシティPREMIUM 秋葉原 2階ホール2B	まちづくり事業の作り方① 事業化のための市場・事業環境の見方、事業構築のポイント（仮） 株式会社事業開発推進機構 代表取締役 土肥 健夫 氏	50名 程度	受付 終了
		まちづくり事業の作り方② データから興す地域に求められる事業づくり（仮）		
		まちづくりプラン研究所 代表 牧 昭市 氏 まちづくり会社の経営①		

SNSを活用した情報提供(1/2)

- 新着情報を発信する際、街元気サイトのTOPへの新着情報掲載に併せて、TwitterとFacebookページにもトピックとして掲載するようにし、FacebookやTwitterのフォロワーに対して、情報が到達する運用を行った。

Twitterでの情報発信

- 街元気サイトの更新内容についてTwitterで情報発信を行っており、その画面例を次に示す。
- Twitterでの情報発信に関する2018年3月5日時点での累積ツイート1,308、フォロー1,131、フォロワー1,392で、フォロワーは昨年3月7日時点の1,270から122名増加した。
- 3月5日時点の直近28日間で24回のツイートに対して、表示件数8,839件、プロフィールへのアクセス数428件、フォロワー数1,392人という状況である。



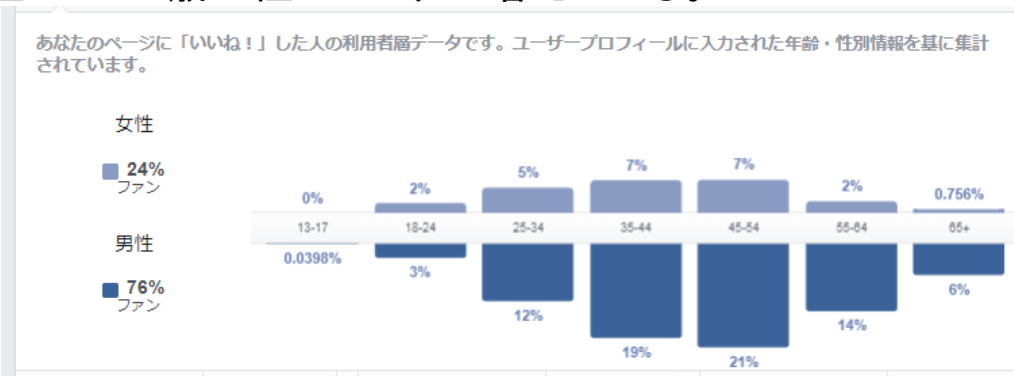
SNSを活用した情報提供(2/2)

Facebookページでの情報発信

- FacebookページにてTwitterと同様に街元気サイトの更新のお知らせや、研修参加者、オープン会議参加者、次世代会議参加者を募集するための告知を行った。
- 2016年4月以降、順調にいいね！数は増加している(2018年3月27日時点で2,546)。



- いいね！の年齢・性別の分布は以下の通りで、45-54歳男性の占める割合が最も多い状況は昨年と変わらない。55-64歳男性と45-55歳女性が1%ずつ増えている。



ポータルサイトの運営／維持・管理 ②まちづくり関係者のインタビュー記事の掲載

コラムの掲載

■ 先進的なまちづくり事例や、コラム、インタビュー記事等を掲載した。

- 新たなコンテンツを追加する際は、外部の関連情報や、街元気サイト内の関連情報へのリンクを設け、訪問者がより多くの情報に連鎖的に到達できるようにし、アクセス数を伸ばす取組も実施した。

■ なお、コラムはまちづくりに漠然と関心を有する層をターゲットにしている。

■ 掲載コラムは以下のとおり。

- みんなでまちを楽しむ！ ―旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり―（前・後）
- これからの地域におけるインバウンド戦略―日本最大級の訪日外国人観光客向けWebマガジンの展開を通じて―（前・後）
- 地域×クラウドソーシングの可能性（前・後）
- 「ものづくり」が生む地域の絆 ―FabLab Kamakura―（前・後）
- 古くて新しいまちの再生 ―昭和の商店街の土地建物をすべて買い取り一体経営―（前・後）
- 仕事体験を通じて地域の関係人口を増やす

みんなでまちを楽しむ！ ―旧グッゲンハイム邸を拠点とする神戸塩屋のまちづくり―（前編） 森本アリさん

いいね！ 17 シェア ツイート



森本アリ（もりもと・あり）

1996年 Ecole de recherche graphique（ベルギー/ブリュッセル）卒。音楽家。神戸、塩屋の築105年の西洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人として、企業や行政とは一味違った管理運営を行う。音楽家として、「三田村管打回?」「ベ・ド・グ」「音遊びの会」などで活動する傍らソロ演奏やワークショップ等も行っている。また、「シオヤプロジェクト」（シオプロ）を主宰し、「塩屋まちづくり推進会」「塩屋商店会」等で、まちづくりに関する活動も行っている。著書に「旧グッゲンハイム邸物語 未来に生きる建築と、小さな町の豊かな暮らし」がある。

神戸市の西部に位置する塩屋は、山と海に挟まれた坂の多い、かつて多くの洋館が建ち並んだ、小さいながらも風光明媚なまちです。

ここでは、毎年11月に「しおさい」という、商店会主催のまちのお祭りが約1ヶ月にわたり開催されています。「しおさい」のフィナーレは、公園、崖の上、路地、橋からビルの屋上や人の家の庭やバルコニーなど、まち全体をステージに見立て、塩屋ゆかりの音楽家たち30組以上がまちの中で音楽を奏でる「しおや歩き回り音楽会」。音楽界の後は、老若男女、まちのみんなで楽しむ打ち上げが「あとの祭り」というのも洒落ています。

塩屋におけるユニークなまちづくりの推進役となっている森本アリさんにお話をお伺いしました。



ポータルサイトの運営／維持・管理 ③まちづくりに関する各種政策等の情報提供

まちづくりに関する各種政策等の情報提供

■ まちづくりに関する各種政策等の情報提供を
サイトに掲載し、メールマガジンやSNSでの情報発信
を行い、まちづくり関係者への各種政策の通知に努めた。

平成29年度地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）の公募について（第3次募集）

地域・まちなか商業活性化支援事業（中心市街地再興戦略事業）は、中心市街地の活性化に資する調査、先導的・実証的な商業施設等の整備及び専門人材の招聘に対して重点的支援を行うことにより、まちなかの商機能の活性化・維持を図り、市町村が目指す「コンパクトでにぎわいあふれるまちづくり」を推進するものです。

今回、本補助金の対象となる事業を実施する事業者を次の要領で募集いたします。

詳しくは、所轄の経済産業局又は内閣府沖縄総合事務局（以下、「経済産業局等」という。）までお問い合わせください。（公募要領又はこのページ下の問い合わせ先をご覧ください。）

詳しくは、リンク先をご参照ください。

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k170608001.html>

登録日 2017年6月09日（金曜）00:00

中心市街地で活用できる低利融資制度のご案内

中心市街地で商業を営む方がご利用いただける低利融資制度をご紹介します。
中心市街地活性化法に基づき計画が内閣総理大臣認定された区域内では、より低利での融資を受けることができます。

内容

■貸付機関

株式会社日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫

■貸付限度額

【中小企業事業】（中小企業向け長期事業資金）

設備資金：7億2,000万円 運転資金：2億5,000万円

【国民生活事業】（個人企業・小規模企業向け事業資金）

設備資金 7,200万円 運転資金 4,800万円

■資金使途

- ①合理化、共同化等を図るための設備の取得 ②セルフサービス店の取得
- ③集配センターの取得（中小企業事業のみ） ④ショッピングセンターへの入居
- ⑤販売促進、人材確保（運転資金のみ）
- ⑥新分野への進出

対象者

【中小企業事業】

- ①中小企業者であり、中心市街地関連地域（※）において卸売業、小売業、飲食サービス業及びサービス業のいずれかの事業を営む方
- ②中小企業者であり、中心市街地関連地域において不動産賃貸業を営んでいる「まちづくり会社」
- ③中心市街地活性化法第50条第4項に規定する特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の認定に基づき、同法第7条第13項に規定する中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業又は同

ポータルサイトの運営／維持・管理 ④マチイベへの登録

マチイベ(街のイベント情報)の登録・公開

■ マチイベに掲載するイベントについては、恒常的にサイトでの受付を行っている。

- マチイベとは、全国各地のまちづくりに関するイベントを一元的に登録・集約し、WEBを通じて、当該イベントに関する情報を検索することができる機能である。
- また、昨年の掲載情報の更新を確認し、継続的にイベントの更新登録を行っている。
 - 2017年度の掲載件数は269件(3/27日時点)

■ 掲載したイベントについては、メルマガ、Twitter, Facebookに掲載してお知らせしている。

■ さらに、開催機関の指定による検索、イベント名による検索、都道府県を指定しての検索など検索性を向上させるための工夫を行なっている。

■ 過去分については、イベントの主催者側で、事後に情報が削除・変更されることもあることから、毎年度末に前年度分を削除する運用としている。

マチイベ！(街のイベント)

開催期間を指定して検索

開催期間 2018/03/05 ~

検索

☐ カレンダーを表示する

イベント名を指定して検索

検索

都道府県を指定して検索

開催期間 2018/03/05 ~

検索

☐ 都道府県を表示する

開催期間	イベント名	場所	概要
平成30年2月19日(月)~3月30日(金)	第9回 中野家セザミ	長野県 中野市 各店舗	2月19日~3月30日までの期間で、通する街のセザミ...
平成30年2月10日(土)~3月10日(土)	第3回 とよかわまちセザミ	愛知県 豊川市 各店舗	毎週木曜日の「とよかわ通る街のセザミナール」...
2018年3月7日(水)	NEW 安城ごまそう天国「ごま天、HOP」	愛知県 安城市 安城市内一円	市内30店舗参加！安城グルメ、はしご食い、NE...
2018/1/27, 2018/2/10, 2018/2/24, 2018/3/10	【愛媛生大募集！】UDCKまちづくりスクール2017後期 みんなで街に新たな風景を創ろう まちなか活用プロジェクト(募集前申込)	千葉県 柏市若葉178-4 柏の葉キャンパス148-4 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト108	UDCKで毎年2回開催している、まちづくりのアイ...
毎月第2・第4日曜日	フ・マッサ工場の日	青森県 青森市安方1-1-1 青森市文化観光交流施設	◆金魚ねぶた・ねぶた監りえうねわ ◆ミニ金魚...
平成30年3月17日(土)~4月14日(土)	那珂川町の博多南駅前ビル リニューアルオープン 企画『PLAY! ナカイデ』開催!	福岡県 筑紫郡那珂川町中原2丁目120番 博多南駅前ビル及び駅前公園	リニューアルした新たな博多南駅前ビル(愛称:ナカイ)...
毎月第3土曜日(7・8月は除く) 18:00~21:00	下町夜市	群馬県 館林市 館林駅東口前交差点から南の商店街	下町夜市は、群馬県館林市下町通り商店街で毎月第3...
毎月第3土曜日	三木通こいやあ	三重県 尾鷲市三木浦町2-7 3-7 三木浦魚市場	毎月、第3土曜日は「三木浦こいやあ」の日です!...
2018年3月16日(日)	ANIMAN〜響の宴2018〜	愛知県 東海市大田町後田52 名鉄太田川駅周辺一帯	今年も開催決定! 東海市太田川駅前がサブカルチャ...
毎月第3日曜日	猪苗の朝市	福井県 敦賀市相生町 博物館通り	新鮮な野菜や果物、魚介類をはじめ、さまざまなお店...

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(4月)

4/7(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

4/12(水)

- ・マチイベデータを8件登録した。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・街元気サーバの点検を行った。

4/14(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

4/17(月)

- ・統計資料(H21、H26の経済センサスの集計データ)のコンテンツを公開した。
- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信停止設定を行った。
- ・過去のマチイベデータの整理(2015年以前データの削除)を行った。

4/18(火)

- ・事例集のPDFの差し替えを行った。
- ・マチイベデータを1件登録した。

4/20(木)

- ・マチイベデータを9件登録した。
- ・2018年の祝日のデータを登録した。

4/21(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

4/25(火)

- ・マチイベデータを4件登録した。

4/27(木)

- ・WEBサーバのバックアップ方式を変更した。

4/28(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(5月)

5/2(金)

- ・セキュリティ対策を行った(TLS暗号に対する誕生日攻撃等)。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・街元気サーバの点検を行った。

5/12(金)

- ・マチイベデータを4件登録した。
- ・インターンシップ型研修(岡崎市)のコンテンツを公開した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

5/15(月)

- ・ユーザーの依頼によりメルマガの配信停止設定を行った。

5/19(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

5/24(水)

- ・マチイベデータを4件登録した。

5/26(金)

- ・phpmailerのバージョンアップを行った。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

5/31(火)

- ・マチイベデータを2件登録した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(6月)

6/2(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

6/7(水)

- ・metaタグの[keyword]を変更した。
- ・マチイベデータを4件登録した。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・街元気サーバの点検を行った。

6/9(金)

- ・経産省からのお知らせのコンテンツを公開した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

6/13(火)

- ・マチイベデータを4件登録した。
- ・インターンシップ型研修(岡崎市)の募集を終了した。

6/16(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

6/19(月)

- ・マチイベデータを1件登録した。

6/23(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

6/29(木)

- ・マチイベデータを4件登録した。
- ・座学研修(東京)のコンテンツを公開した。

6/30(金)

- ・マチイベのデータを2件修正した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(7月)

7/5(水)

- ・マチイベデータを3件登録した。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。

7/6(木)

- ・座学研修(東京)のコンテンツを更新した。

7/7(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

7/11(火)

- ・経産省からのお知らせのコンテンツを公開した。

7/12(水)

- ・マチイベデータを4件登録した。
- ・マチイベ入カフォーマットファイルのリンク切れを修正した

7/14(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容、旧ドメイン廃止をメルマガで告知した。

7/19(水)

- ・マチイベデータを3件登録した。
- ・「machigenki.jp」ドメインを廃止した。

7/21(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、研修開催内容をメルマガで告知した。

7/24(月)

- ・座学研修(東京)のコンテンツを更新した。(テーマの確定)
- ・ユーザーの依頼によりメルマガ配信停止設定を行った。

7/25(火)

- ・座学研修募集の内容をメルマガで告知した。

7/28(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント内容をメルマガで告知した。

7/31(月)

- ・ユーザーの依頼によりメルマガ配信停止設定を行った。
- ・座学研修(東京)の募集を終了した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(8月)

8/2(水)

- ・マチイベデータを5件登録した。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。

8/4(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、低利融資制度等をメルマガで告知した。

8/8(水)

- ・マチイベデータを6件登録した。

8/10(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、低利融資制度等をメルマガで告知した。

8/16(水)

- ・マチイベデータを6件登録した。

8/18(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、低利融資制度等をメルマガで告知した。

8/23(水)

- ・マチイベデータを8件登録した。

8/25(金)

- ・SPFの設定を変更した
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、低利融資制度等をメルマガで告知した。

8/29(火)

- ・マチイベデータを6件登録した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(9月)

9/1(金)

- ・マチイベデータを1件更新した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、イベント、低利融資制度等をメルマガで告知した。

9/7(木)

- ・マチイベデータを4件登録、1件更新した。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。

9/8(金)

- ・インターンシップ型研修(三原市・飯田市)のコンテンツを公開した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

9/13(水)

- ・マチイベデータを13件登録した。

9/15(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

9/20(水)

- ・マチイベデータを10件登録した。

9/21(木)

- ・特定テーマ型研修(日南市)のコンテンツを公開した。

9/22(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、経済産業省からのご案内、マチイベ!等についてメルマガで告知した。

9/26(火)

- ・インターンシップ型研修(金沢市)のコンテンツを公開した。
- ・machigenki.jpのドメインを再登録した。

9/29(金)

- ・metaタグのkeywordとdescriptionを変更した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、経済産業省からのご案内、マチイベ!等についてメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(10月)

10/3(火)

- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・「machigenki.jp」の証明書を登録した。
- ・マチイベデータを5件登録した。

10/5(木)

- ・マチイベデータを2件登録した。

10/6(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

10/10(火)

- ・ユーザーの依頼により登録メールアドレスの変更を行った。

10/11(水)

- ・マチイベデータを7件登録した。

10/12(木)

- ・インターンシップ型研修(三原市)の募集を終了した。
- ・システムメンテナンスについてのお知らせコンテンツを掲載した。

10/13(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

10/18(水)

- ・Joomla!をバージョンアップした。(ver.3.7.4)
- ・マチイベデータを12件登録した。

10/20(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

10/24(火)

- ・ユーザーの依頼により登録メールアドレスの変更を行った。

10/25(水)

- ・マチイベデータを9件登録した。

10/27(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

10/31(火)

- ・インターンシップ型研修(佐久市)のコンテンツを公開した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(11月)

11/1(水)

- ・特定テーマ型研修(日南市)の募集を終了した。
- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・マチイベデータを12件登録した。

11/2(木)

- ・インターンシップ型研修(金沢市)の募集を終了した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

11/8(水)

- ・マチイベデータを10件登録した。

11/10(金)

- ・マチイベデータを1件登録した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

11/13(月)

- ・ユーザーの依頼により登録メールアドレスの変更を行った。

11/14(火)

- ・マチイベデータを11件登録した。

11/17(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

11/20(月)

- ・インターンシップ型研修(佐久市)の募集を終了した。
- ・データの整備を行った(SH404関連データ)
- ・マチイベデータを4件登録した。

11/22(水)

- ・ユーザーの依頼により登録メールアドレスの変更を行った。

11/24(金)

- ・マチイベデータを1件登録、1件更新した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

11/29(金)

- ・マチイベデータを7件登録した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

11/30(水)

- ・特定テーマ型研修(富士宮市)のコンテンツを公開した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(12月)

12/1(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

12/6(水)

・metaタグのkeywordとdescription等を修正した。
・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
・robots.txtファイルを更新した。
・マチイベデータを12件登録した。

12/7(木)

・「飛騨高山」タウンマネージャ募集のコンテンツを公開した。

12/8(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

12/13(水)

・マチイベデータを3件登録した。
・machigenki.go.jpのSSL証明書を更新した。

12/15(金)

・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

12/20(水)

・マチイベデータを2件登録した。
・次世代会議のコンテンツを公開した。

12/22(金)

・マチイベデータを1件登録した。
・オープン会議のコンテンツを公開した。
・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

12/28(火)

・特定テーマ型研修(富士宮市)の募集を終了した。
・次世代会議の募集を終了した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(1月)

1/5(金)

- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

1/10(水)

- ・マチイベデータを4件登録した。
- ・特定テーマ型研修(松山市)のコンテンツを公開した。

1/12(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

1/19(金)

- ・座学研修(東京・冬)のコンテンツを公開した。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

1/23(火)

- ・マチイベデータを6件登録した。
- ・オープン会議の募集を終了した。

1/26(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

1/30(火)

- ・マチイベデータを5件登録した。
- ・特定テーマ型研修(久留米市)のコンテンツを公開した。
- ・特定テーマ型研修(松山市)の募集を終了した

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容(2月)

2/2(金)

- ・街元気サイトのアクセスログ集計を行った。
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

2/7(水)

- ・マチイベデータを5件登録した。

2/9(金)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

2/14(水)

- ・座学研修(東京・冬)の締切日を変更した。
- ・マチイベデータを4件登録した。

2/16(金)

- ・ユーザーの依頼により会員登録の削除を行った
- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

2/19(月)

- ・座学研修(東京・冬)の募集を終了した。
- ・トップページのフッター部分にリンク追加等の修正を行った。

2/21(水)

- ・マチイベデータを7件登録した。

2/26(月)

- ・街元気サイト会員からの依頼内容、研修、制度、マチイベ!等について等をメルマガで告知した。

(参考)街元気サイトの主な保守・運用実施内容

■ 3月の主な保守・運用実施内容

- コラムの掲載(マチビト)

- これからの地域におけるインバウンド戦略ー日本最大級の訪日外国人観光客向けWebマガジンの展開を通じてー
- 地域×クラウドソーシングの可能性
- 「ものづくり」が生む地域の絆ーFabLab Kamakuraー
- 古くて新しいまちの再生ー昭和の商店街の土地建物をすべて買い取り一体経営ー
- 仕事体験を通じて地域の関係人口を増やす

- マチイベの登録

- オープン会議募集の掲載

- オープン会議開催時のSNS投稿

(5)事業の効果測定

実施概要

- 前年度研修会参加者に対して、アンケート調査を実施し、事業の効果・成果を把握した。
- 特に、現地研修参加者(まちげんきフェスを含む)については、過去数年間の参加者を対象とし、現在の活動状況等について追跡調査を実施した。

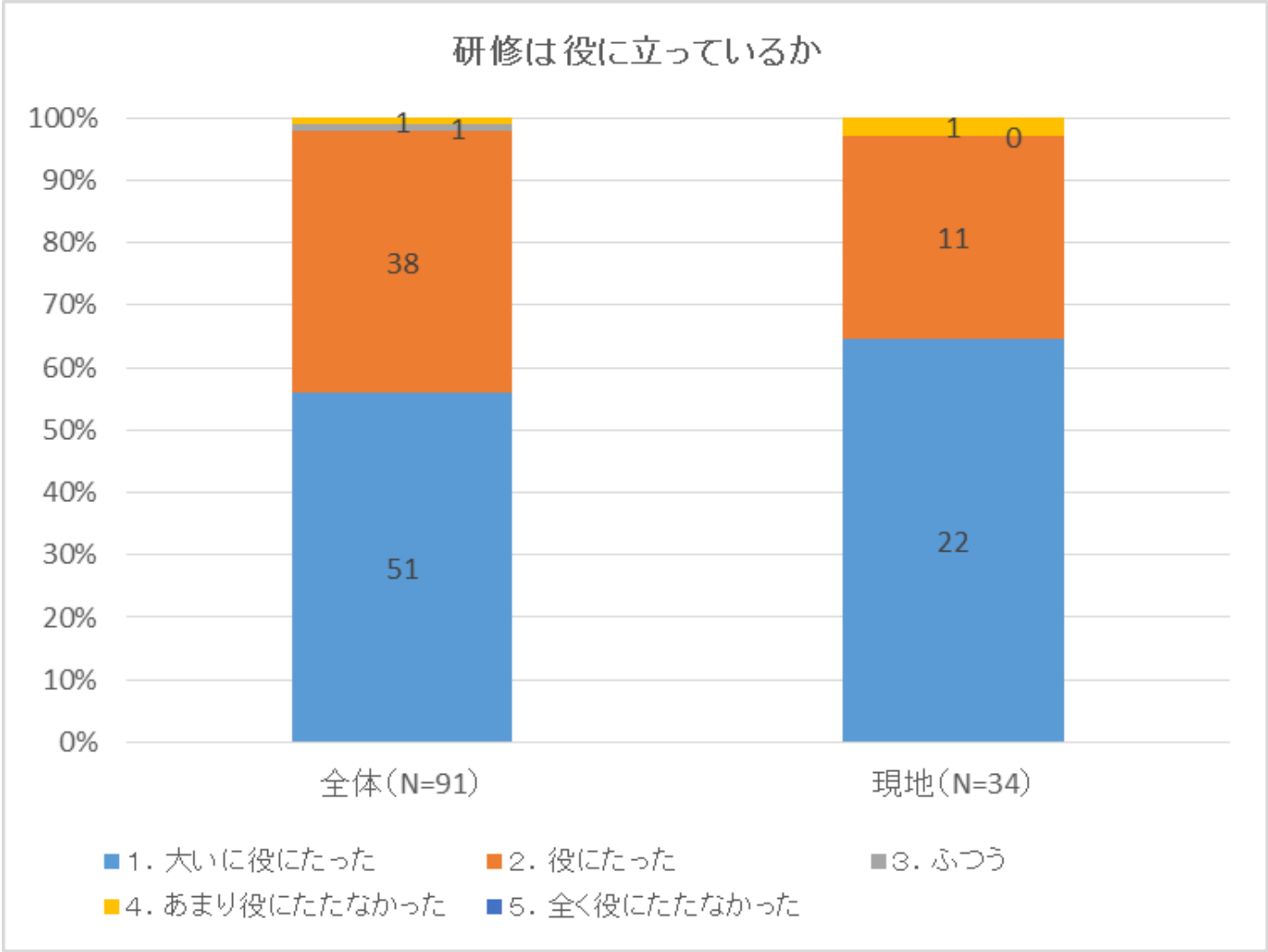
●【問1】現在のご自身のまちづくりへの関わり方

- 昨年度の研修参加時と現在で、ご自身の所属や主な業務・役割などまちづくりへの関わり方の変化についてご回答ください。
 - (1) 研修参加時のご所属・役職についてご記入ください。
 - (2) 現在のご所属・役職についてご記入ください。
 - (3) (1)と(2)で、ご所属・役職に変更があった方にお伺いします。
- 業務内容や役割がどのように変わったか、具体的にご記入ください。

●【問2】研修で得た知見等の実務への活用

- 研修で得た知見・気付きなどが、現在の実務において、どのように役立っているのかについてご回答ください。
 - (1) 研修でどのような知見や気付き、人脈などが得られましたか。具体的にご記入ください。
 - (2) 上記の知見などが、ご自身(所属する組織や関係機関を含む)の実務にどのように役立ちましたか。具体的にご記入ください。
 - (3) (2)の補足情報(写真・公開情報など参考となる情報)がありましたら、以下にご記入下さい。

研修の役立ち度



回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

街の活性化に対するハード(建物)、及びソフト(事業や人材)の内容や、これからの街の活性化に必要な先進事例や具体的な手法について勉強することができた。

地域商業との連携や、会社独自の事業への取組などをご教授いただきました。また、マネージャによる、事業へ考え方やマネージャとしての立ち位置などのご講義を通して、実践の中から学んだものを伝達していただき、現在の仕事に活かさせていただいております。

「まちゼミ」の説明を2日間に渡り、丁寧にさせていただきました。講師に直接話しを聞くことができ、大変参考になりました。また、自分たちの事業の連携体メンバーのXX市・XX商工会議所も参加したため、情報の共有がしやすく意思疎通がしやすくなりました。

実務への展開

参加した事業で人脈ができたことや、今後の市街地再開発施行に対して、ソフト面でのアプローチ方法のヒントを得たことや、街づくり手法に対する市民への説明など、多くの面で役に立った。

研修後、当地域に於きましては中心市街地活性化基本計画の認定をいただくことができ、基本計画記載事項の中の事業実施について、具体的手法などを研修先に電話でアドバイスを頂いたり、時には市役所職員をつれ伺ったりして事例紹介を頂いております。また、研修での知識を活かし、ハード系のプロジェクトに取り組み、講師にアドバイザーとして入っていただきました。

連携体メンバーで議論を重ね、XX市中央商店街連合会・XX市XX商店街振興組合が主体となり、全国商店街支援センターのまちゼミ講座を申し込みました。今後、事業所へ声掛けし参加店舗を広げていきますが、講師とも情報交換しながら、進めることができそうです。

回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

- ①研修以後、稼げる仕組みづくりをより強く意識するようになり、キーマンへのアプローチの仕方や伝え方など動機的设计をより丁寧に思考するように心がけている。
- ②俯瞰力もより強く意識しだし、ヒアリング時の「問い」の深さや広さが広がった(気がする)。
- ③行政押し売りのソフト事業のやりすぎから嫌悪感がでていたが、研修後は適切なソフト事業のあり方について再考している。
- ④FBでつながった方々の活動内容やその考え方、視点などを記事から参考にさせていただいている。今後も必要に応じ、コンタクトをとっていきたい。

講師とは当町の今年度事業に参加していただくことになりました。さらにXX商店街およびXX市には訪問をさせていただき、実際のまちづくりを体感してきました。今後も情報交換をさせていただき、当町のまちづくりに役立てていきたいと考えています。

実務への展開

- ①不動産の硬直化を防ぐため、終活事業を展開するNPO法人と連携を模索中。
 - ②③ルーチン化している当所主催のまちなか朝市を、来春の中核施設整備にあわせリニューアル予定。地域資源を活かし、ヒトモノコトカネをつなぐマーケットのあり方を企画検討中。
- 補足だが、当所も半官の身とはいえ自走型組織に変革していく必要があり、その点においても上記①・②の知見は非常に役に立っている。

当町の今年度事業「若者会議」事業に講師に参加していただき、事業推進をしていく予定です。当町のまちづくりに興味のある若者を募集して、今後のまちづくりの担い手となる人材育成事業となります。

回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

岡崎市の商店同士の繋がりが非常に強く感じました。今までの私の商店街の横の繋がりは希薄でした。これもまちゼミなどの取り組みを行い、だんだんと構築されてきたものだと思います。

Facebook上では研修に参加した皆さんと近況報告など連絡を取り合い、アドバイスを頂いたりしています。非常に助かっております。

以前からまちづくり活動は「人材育成」という信念をもっておりましたが、研修当日のディスカッションにてXX市のXXさんより「全ての事業を人材育成へ繋げる」というご意見にとっても共感でき、さらに自信を付けさせてもらいました。同じような信念を持ったまちづくり関係者との出会いは、非常に刺激的で、新たな人脈を作らせてもらったことにとっても感謝しております。

実務への展開

商店街が本気でまちゼミ開催へ動き出し、全国商店街支援センターへ協力を要請し、講師を呼べることになりました。これも街元気プロジェクトのフォローアップのおかげで、商店街の気持ちが一つになった気がします。本当にありがとうございました。これからもまちゼミを通して商店同士の繋がりを深め、地域住民との接点も増やして住み心地の良い街にしていきたいと思っております。

フォローアップを使って、40人近くの店主さん達が集まってくれ、驚きです！普段は総会でも6人くらいしか集まりません。しかも今回は商店街の枠を超えて、集まりました。

これからの展開と発展が本当に楽しみです。

追々、この有志で集まり、まちづくりに携わるような、そんな目標ができました。

現在他の地域からの依頼で、様々な事業プランの提案をさせてもらっております。どの地域においても大きな課題は「人材育成」「後継者問題」です。様々な事業プランを提示する際には、必ず「人材育成」へ繋げるような仕組みづくりをアドバイスさせてもらっております。勉強会を開く際でも、自分が実施してきた事業で「人材育成」が肝になっている事を自信をもって紹介させてもらっております。

回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

まちづくり初動期における活動、また、XX地域のまちづくりを推進する組織のあり方を検討する上での参考となった。

「まちづくりフェス」では、XX氏・XX氏にアドバイスをいただいたが、(元々、両氏ともにお会いしたことはありましたが、)3月にXX市、4月にXX市をそれぞれ訪問し、現地視察およびヒアリングを行った。

インキュベーション施設として運営していた点が参考になった。ただ施設を整備するだけでなく、経営指導もしている点がとくに参考になった。

話しやすい雰囲気づくり(拍手、アイスブレイクなど)は重要。楽しそうに活動していると人が集まり、何かにつながっていく可能性がある。

専門的な指導者のもと動き出す企画と、地元の会議所・市役所等の音頭で素人のみで運営するのでは、雲泥の差がある。研修の講師、他県のまちづくり会社の方との出会い。第1回研修で出会った方との再会。

実務への展開

XXエリアで最も歴史が古く、かつ最も衰退が著しい通りの遊休不動産の活用を目的としたイベントを開催するなどしながら、本年3月に地元商業者を中心とする「XXまちづくり合同会社」を設立した。また現在、住民(自治会など)を中心とした「XXまちづくり協議会」をNPO法人化する準備を進めている。

インキュベーション施設として運営していた点を参考にし、XX市ではH29年4月にNPO法人XXがチャレンジショップを開設。ビジネスプランコンテスト出場者が現在入居している。XX氏が経営指導にも携わっている点を参考にし、NPO法人の理事(会社経営者)が入居者の経営指導にあたっている。

講師には昨年の研修で初めてお会いし、講師の提案するマップ作りを地元で実現したいと思い、いろいろな働きかけをし、1年がかりになったが講師をお呼びしての研修会を今年2月実施。今年度は、実際の活動に入る予定。研修で一緒になった方々には、その後も様々な相談をお願いすることも。そのご縁もあり、商業部会の研修旅行先になったので、さらなる交流が期待される。

回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

空き家の有効活用を検討しており、XX市へのインターンシップ研修を通じて、町屋再生の事例を学びました。国や自治体との協力と、民間資金の活用必要性や、借主DIY型や第三者実施型など、所有者と利用者をつなぐ上で、多様な手法の可能性を知ることができました。

まちづくり会社の事業内容について、地域の実情に沿った課題解決に応えるものであることや、事業継続と人材育成のため自主財源の確保を最優先課題にする。
多様なまちづくり主体をつなぐ組織・人の重要性。まちづくり会社の役割として、多様なまちづくり主体が次のアクションを起こすための準備や手助けとなることが連携推進のヒントである。

実務への展開

地元であるXX市の「空家等対策計画」の策定支援を受託し、空き家に関する相談窓口として、まちづくり会社が、調査・分析、管理・改修、有効活用をワンストップセンターで受託する仕組みを構築しました。今後は「空き家バンク」の運営を通じて、空き家の利活用を進めていきます。

商店街振興組合で赤字運営だった「共通駐車券事業」を引き継ぎ、運営の見直しを図ることで黒字転換を果たし、自主財源確保につなげた。
商店街振興組合とまちづくり会社が事業主体となって交流拠点を整備し、まちづくり会社とNPO法人が運営委託を受けて行うことで、新たな担い手参画と財源確保につなげた。地域内の遊休不動産をリノベーションして、マーケット事業から新規開業の手助けを行った。

回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

- ・まちで、繁盛している店舗（特に若者に支持されている店舗）を見つけ、その店舗の経営者、従業員及びその店舗の設立に係わった人（店舗の内装業者、広告業者）を、まちづくりのプレイヤーとして、その人を中心に進めていくことが重要
- ・まちの活性化に理解があり、地代等を安価に設定してくれる、良い地権者を見つけ、まちづくりのプレイヤーと引き合わせて、まちなかにプレイヤーが係わる店舗を開設させることが重要
- ・市職員が係われることは、プレイヤーが店舗の開設及び経営等の際に必要な補助金等の支援制度の窓口を一手に引き受け、側面からサポートすることである。

- ・再開発事業を進めるにあたっての「感覚」を体験することによって、XX市の再開発事業の全体の流れをイメージできるようになった。
- 今後XXと繋がることによって、今後の再開発事業のご相談ができるようになった。

実務への展開

- ・得られた知見により、当時進めていた「まちなか居住支援センター事業（まちなかの遊休不動産情報を一元化する事業）」の重要性を再認識した。その結果、昨年度中に「まちなか居住支援センター事業」を立ち上げが出来、まちなかにおける地権者を見つける制度を構築できたと考えている。今後は、地権者とまちづくりのプレイヤーを引き合わせる作業が必要になってくると考えられる。

- ・XX市駅前地区の再開発の動きは、準備委員会を発足させるための「協議会」の活動に移った。再開発事業を検討している地権者に対して、協議会にて今後研修時の資料を活用していく予定。XX市での再開発の研修を活かせる段階ではないが、XX氏との繋がりにより、今後の再開発のコンサルタントなど、紹介して頂く機会が出てくるかもしれない。

回答の一例

研修で得た知見や気付き、人脈など

- ・事務員と事務局の違い。実りある会議の運営方法、席の座る位置ひとつから考え、強みを伸ばすために、会議の場で実行する物事を決める。傾聴やコンパクトにまとめることの重要性など。
- ・事業の迅速な展開に向けた事務局運営・立ち位置、組織形態、情報共有、大手との連携、財源の在り方について。さらにどのような人をどのように、多階層的に巻き込むべきかなど。
- ・その後も、SNSを通じて講師の方の行動や考え方、取り組みを都度参考にさせて頂いています。

- ・XXでお世話になりました。XX氏にいろんなことを教わった中で、商店街の不動産状況を知ることの大切さを学んだことと、まちづくり会社として、行政との関係性、市民との関係性などを学び、中間的立場で公益性とのバランスを学びました。

実務への展開

- ・オールXX(建築士、税理士、高校、商業者、デザイナー等)の組織により、スポーツタイプ自転車を活用して、市内の点在するごく普通のお店の食べ歩き、XXの豊かな自然、旧街道を楽しむ滞在型・体験型のローカル観光を提案している。スタンド・看板の設置だけでなく、サイクリングマップを作成し、実行委員会だけでなく、店舗に参加店が集まっていた会議、プロチームとの連携など広がりを見せている。
- ・パスタ未満そば以上、そば屋でランチを目指し市内のそば店に集まり、グループワーク形式の試食会を重ねたことで、13軒のお店で「XX」新メニューを開発、「何これ?」「どこで食べられるの?」見た方に疑問を持たせるポスターに加え、SNSによるクチコミ重視の情報発信、店頭にはのぼり、POP、スタンプラリー帳も兼ねた「XX図鑑」を配し、ローコストで様々な角度から地道にアプローチを進めている。

- ・上記より、弊社では、まず空き店舗調査を実施し、空き店舗数や状況の把握、物件オーナーの意図などを集計し、空き店舗マッチングに活かしています。また、会社運営を行う上で、行政に対する姿勢、民間に対する姿勢に役立てています。